

仕 様 書

三原市役所

事 業 名	災害復旧事業	年 度	令和2年度	番 号	—
工 事 名 称	林道災害復旧工事(野田線その1)	工 事 場 所	三原市本郷町船木		

仕様書

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、林道災害復旧工事(野田線その1) に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書(令和元年7月)広島県
 - ・令和元年度版 治山林道必携
 - ・その他関連規格類

第2節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第2章 施工条件

第1節 工程

- 1 関係機関との協議
協議内容 広島県広島水道事務所 沼田川事業所による水道管復旧工事を路床施工終了後に施工検討中。
範囲 復旧箇所を含め、全延長110mで水道管取替え予定。

第2節 盛土

- 1 流用土 (工事内流用)
本工事の施工により発生する土については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。
- 4 購入土(搬入) (新材料)
本工事では、270m³(ほぐし)の土砂購入を見込んでいる。
なお、新材料の購入土砂を見込んでいるが、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土(改良土を含む。)を使用することが可能である場合は、その使用に努めるものとする。
ただし、使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領(案)」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果(計量証明書)を提出するものとする。

第3節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

第3章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

本工事費	費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	備 考
その1			式		1	レベル1
道路土工			式		1	レベル2
作業土工			式		1	レベル3
床掘り			m3		301	レベル4
埋戻し			m3		127	レベル4
路肩盛土工		2m3	式		1	レベル3
流用土路肩盛土			m3		2	レベル4
路床盛土工		87m3	式		1	レベル3
流用土路床			m3		87	レベル4
法面整形工		43m2	式		1	レベル3
法面整形(盛土部)			m2		43	レベル4
法面工			式		1	レベル2
植生工		43.4m2	式		1	レベル3
植生シート		肥料袋無	m2		43.4	レベル4
擁壁工		アダムウォール	式		1	レベル2
補強土壁工		110.3m2	式		1	レベル3
アダムウォール		アダムウォール	m2		110.3	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量(前回)	数量(今回)	備考
排水構造物工		式		1	レベル2
側溝工		式		1	レベル3
プレキャストU型側溝	鉄筋コンクリートU型 300B	m		11.0	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
防護柵撤去工	一式	式		1	レベル3
防護柵撤去(ガードレール)		m		17.0	レベル4
標識撤去工		式		1	レベル3
標識撤去	カーブミラー	基		1	レベル4
構造物取壊し工		式		1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	無筋構造物	m3		26.9	レベル4
舗装版取壊し	AS版	m2		14.6	レベル4
舗装工		式		1	レベル2
アスファルト舗装工	83.0m2	式		1	レベル3
上層路盤	M-30 70mm	m2		83.0	レベル4
表層	再生密粒度AS 40mm	m2		83	レベル4
防護柵工		式		1	レベル2
路側防護柵工	23.0m2	式		1	レベル3
ガードレール	Gr-C-4E	m		23.0	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	備 考
道路付属施設工		式		1	レベル2
道路付属物工	1箇所	式		1	レベル3
視線誘導標	丸鏡 径 600×厚3mm 径 76.3×厚3.2×長4000mm 曲柱	本		1	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
仮設道	一式	式		1	レベル3
掘削工		m3		141	レベル4
盛土工		m3		87	レベル4
法面整形		式		50	レベル4
植生シート	肥料袋無	m2		50.6	レベル4
上層路盤	M-30 70mm	m2		17.3	レベル4
表層	密粒度AS 40mm	m2		17.3	レベル4
舗装版取壊し	AS版	m2		17.3	レベル4
L型側溝	L型再生利用撤去・設置	m		15.6	レベル4
その2		式		1	レベル1
道路土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
土砂掘削	340m3	m3		340	レベル4
法面整形工	168m2	式		1	レベル3

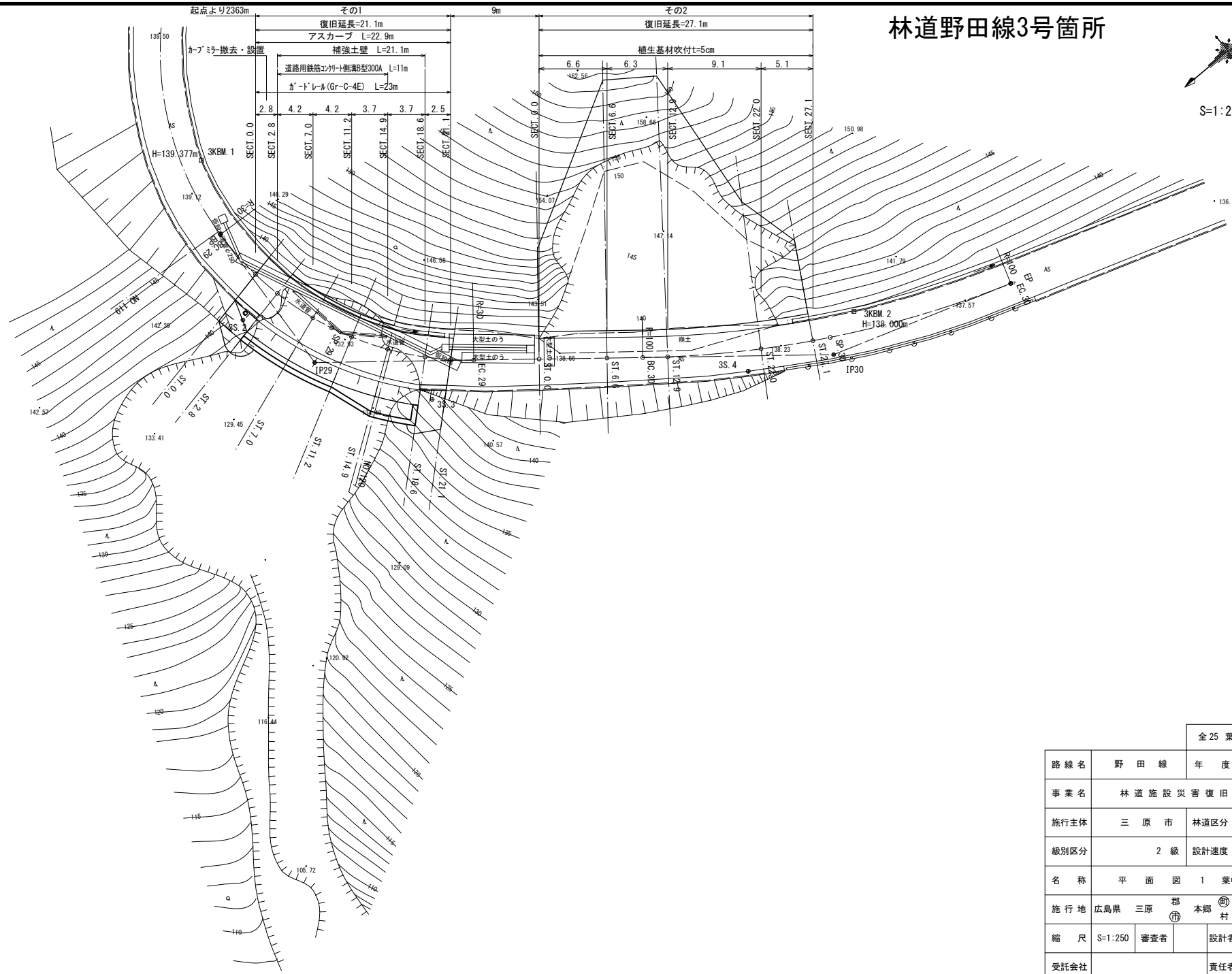
工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	備 考
法面整形(切土部)	礫質土	m2		168	レベル4
法面工		式		1	レベル2
植生工	639.5m2	式		1	レベル3
植生基材吹付	t=5cm	m2		639.5	レベル4
直接工事費					
準備費					
準備費		式		1	レベル2
準備費		式		1	レベル3
準備費(その1 仮設道)		式		1	レベル4
準備費(その2)		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
共通仮設費計					
(純工事費)					
現場管理費					
(工事原価)					
一般管理費率分等					
契約保証費					
一般管理費計					

林道野田線3号箇所



S=1:250



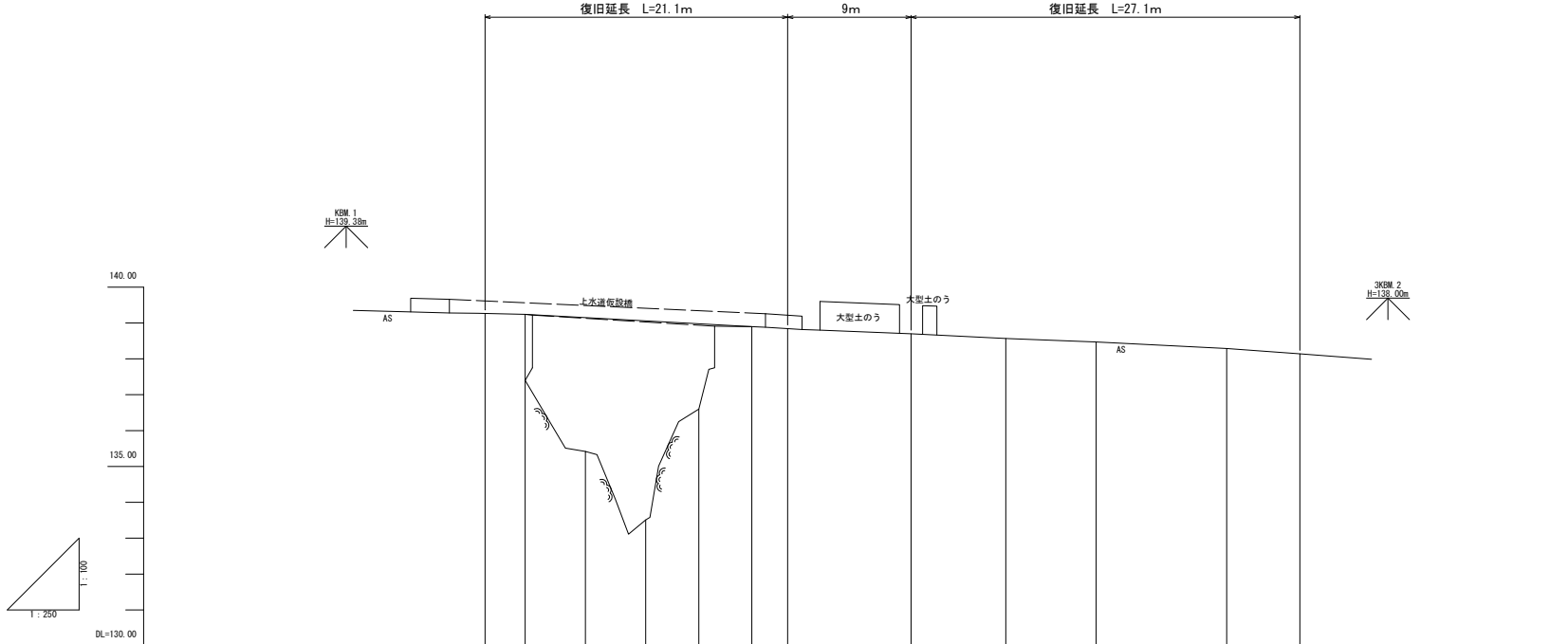
全 25 葉 中 1 番

路線名	野田線	年度	平成30年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2級	設計速度	20 km
名称	平面図 1 葉中 1 番		
施行地	広島県 三原郡 本郷村	大字	船木
縮尺	S=1:250	審査者	設計者
受託会社			責任者

縦断図 VS=1:100
HS=1:250

3号箇所(その1)
復旧延長 L=21.1m

3号箇所(その2)
復旧延長 L=27.1m



勾配															
盛土高				3.73		5.55		2.38							
切土高															
計画高															
地盤高															
追加距離															
単距離															
測点															
曲線															

3号箇所 その1 全 25 葉中 2 番

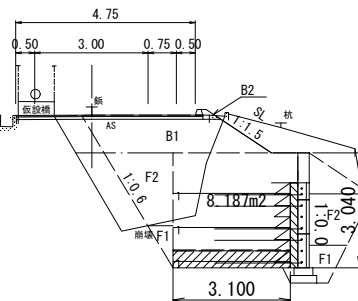
路線名	野田線	年度	平成30年度
事業名	林道災害査定測量設計業務委託(野田線)		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2級	設計速度	20 km
名称	縦断図		1 葉中 1 番
施行地	広島県 三原市 本郷	大字	船木
縮尺	図示	審査者	設計者
受託会社	責任者		

IP 29 TL=15.45
IA=54.30-33 CI=28.54
R=30.00 SL=3.75

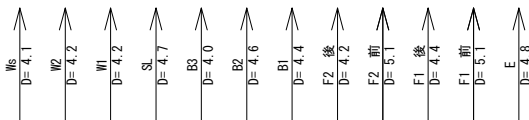
IP 30 TL=18.55
IA=21.00-47 CI=36.68
R=100.00 SL=1.71

D=4.2
ST. 2.8 (終点側)

GH=139.24
FH=139.24

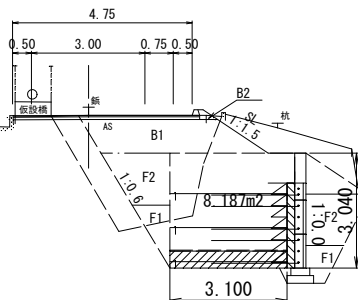


- E = 16.5
- F1 前=0.7
 - F1 後=0.4
 - F2 前=1.8
 - F2 後=3.9
 - B1=4.2
 - B2=0.1
 - B3=0.0
 - SL=2.1
 - W1=5.0
 - W2=5.0
 - Ws=1.0
- E : 床掘
- F1 前: 前側埋戻 (埋戻幅1m未満)
 - F1 後: 後側埋戻 (埋戻幅1m未満)
 - F2 前: 前側埋戻 (埋戻幅1m以上2.5m未満)
 - F2 後: 後側埋戻 (埋戻幅1m以上2.5m未満)
 - B1: 路床盛土
 - B2: 路肩盛土
 - B3: 埋土
 - SL: 盛土法面保護 (植生シート)
 - W1: 舗装工 表層工
 - W2: 舗装工 上層路盤工
 - Ws: 舗装取壊し



D=0.0
ST. 2.8 (起点側)

GH=139.24
FH=139.24

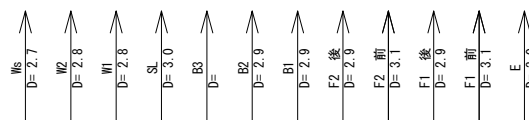
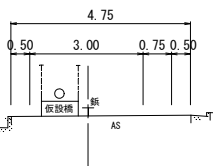


- E = 16.5
- F1 前=0.7
 - F1 後=0.8
 - F2 前=1.8
 - F2 後=1.9
 - B1=3.6
 - B2=0.1
 - B3=0.0
 - SL=2.1
 - W1=5.0
 - W2=5.0
 - Ws=1.0
- E : 床掘
- F1 前: 前側埋戻 (埋戻幅1m未満)
 - F1 後: 後側埋戻 (埋戻幅1m未満)
 - F2 前: 前側埋戻 (埋戻幅1m以上2.5m未満)
 - F2 後: 後側埋戻 (埋戻幅1m以上2.5m未満)
 - B1: 路床盛土
 - B2: 路肩盛土
 - B3: 埋土
 - SL: 盛土法面保護 (植生シート)
 - W1: 舗装工 表層工
 - W2: 舗装工 上層路盤工
 - Ws: 舗装取壊し



D=2.8
ST. 0.0

GH=139.26
FH=139.26



DL=130.000

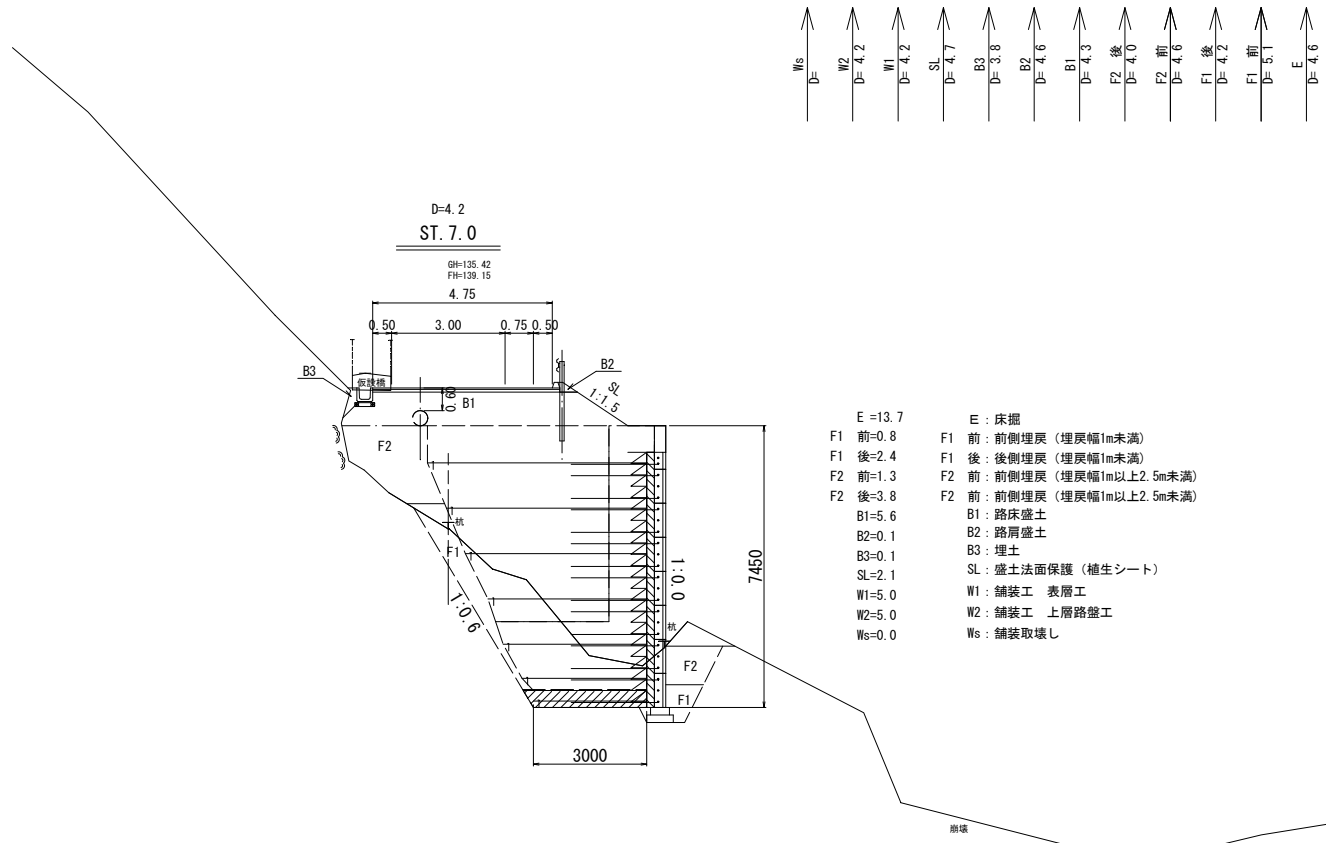
DL=130.000

DL=130.000

3号箇所 その1

全 25 葉中 4 番

路線名	野田線	年度	平成30年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2級	設計速度	20 km
名称	横断図 1 5 葉中 1 番		
施行地	広島県 三原郡 本郷村 大字 船木		
縮尺	S=1:100	審査者	設計者
受託会社			責任者



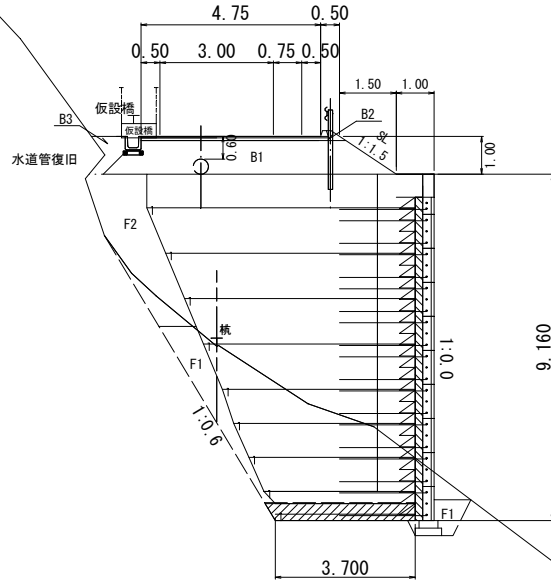
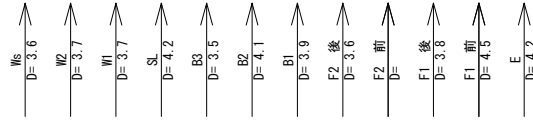
- E =13.7 E : 床掘
- F1 前=0.8 F1 前 : 前側埋戻 (埋戻幅1m未満)
- F1 後=2.4 F1 後 : 後側埋戻 (埋戻幅1m未満)
- F2 前=1.3 F2 前 : 前側埋戻 (埋戻幅1m以上2.5m未満)
- F2 後=3.8 F2 後 : 前側埋戻 (埋戻幅1m以上2.5m未満)
- B1=5.6 B1 : 路床盛土
- B2=0.1 B2 : 路肩盛土
- B3=0.1 B3 : 埋土
- SL=2.1 SL : 盛土法面保護 (植生シート)
- W1=5.0 W1 : 舗装工 表層工
- W2=5.0 W2 : 舗装工 上層路盤工
- Ws=0.0 Ws : 舗装取壊し

DL=125.000

3号箇所 その1		全 25 葉中 5 番	
路線名	野田線	年度	平成30年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2級	設計速度	20 km
名称	横断図 2 5 葉中 2 番		
施行地	広島県 三原市 本郷村	大字	船木
縮尺	S=1:100	審査者	設計者
受託会社			責任者

D=3.7
ST. 11.2

BH=133.51
FH=139.06



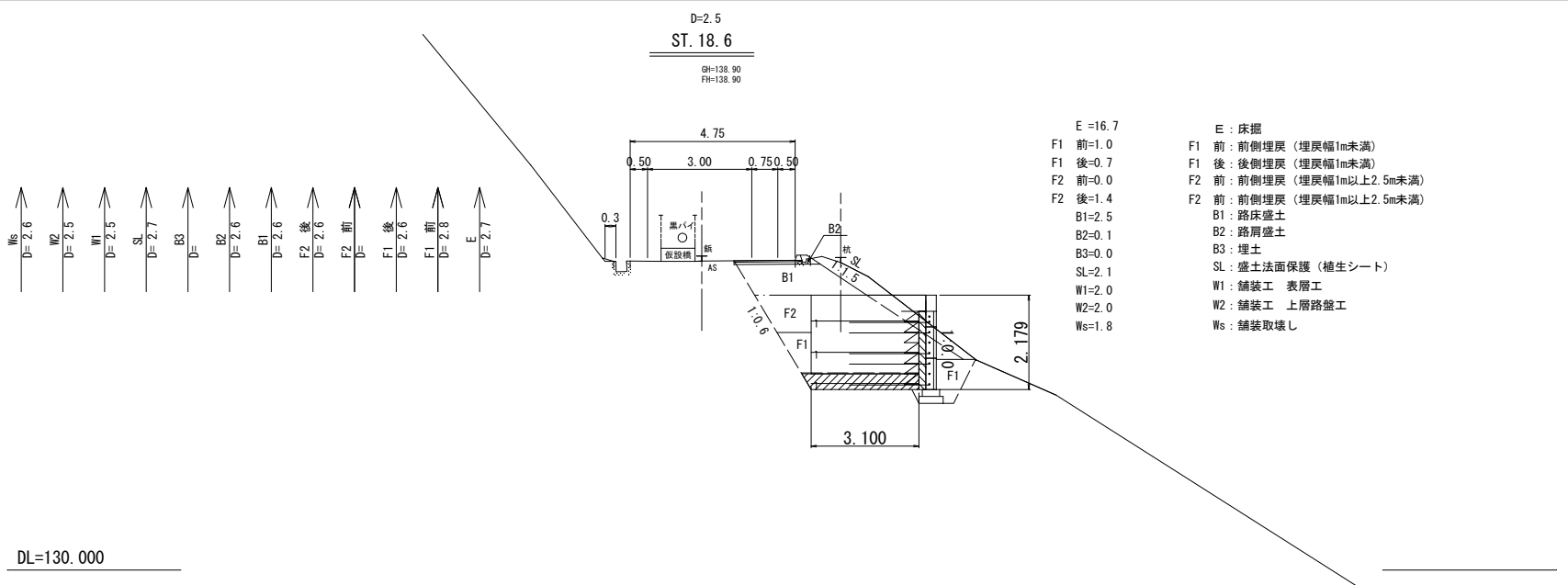
- E = 19.0 E : 床掘
- F1 前=0.7 F1 前 : 前側埋戻 (埋戻幅1m未満)
- F1 後=2.5 F1 後 : 後側埋戻 (埋戻幅1m未満)
- F2 前=0.0 F2 前 : 前側埋戻 (埋戻幅1m以上2.5m未満)
- F2 後=5.3 F2 後 : 前側埋戻 (埋戻幅1m以上2.5m未満)
- B1=5.7 B1 : 路床盛土
- B2=0.1 B2 : 路肩盛土
- B3=0.6 B3 : 埋土
- SL=2.1 SL : 盛土法面保護 (植生シート)
- W1=5.0 W1 : 舗装工 表層工
- W2=5.0 W2 : 舗装工 上層路盤工
- Ws=0.0 Ws : 舗装取壊し

DL=120.000

3号箇所 その1

全 25 葉中 6 番

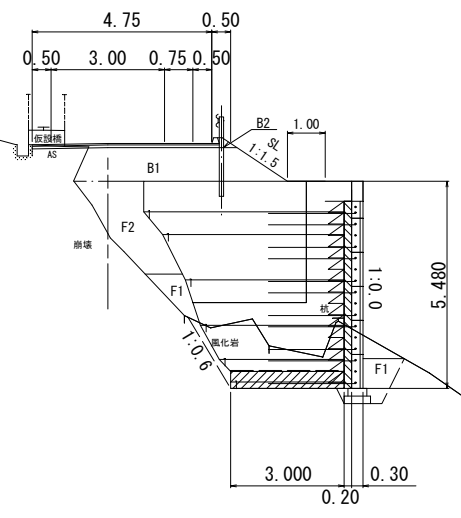
路線名	野田線	年度	平成30年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2級	設計速度	20 km
名称	横断図 3 5 葉中 3 番		
施行地	広島県 三原市 本郷村	大字	船木
縮尺	S=1:100	審査者	設計者
受託会社			責任者



- E = 16.7
 - F1 前=1.0
 - F1 後=0.7
 - F2 前=0.0
 - F2 後=1.4
 - B1=2.5
 - B2=0.1
 - B3=0.0
 - SL=2.1
 - W1=2.0
 - W2=2.0
 - Ws=1.8
- E : 床掘
 - F1 前 : 前側埋戻 (埋戻幅1m未満)
 - F1 後 : 後側埋戻 (埋戻幅1m未満)
 - F2 前 : 前側埋戻 (埋戻幅1m以上2.5m未満)
 - F2 後 : 後側埋戻 (埋戻幅1m以上2.5m未満)
 - B1 : 路床盛土
 - B2 : 路肩盛土
 - B3 : 埋土
 - SL : 盛土法面保護 (植生シート)
 - W1 : 舗装工 表層工
 - W2 : 舗装工 上層路盤工
 - Ws : 舗装取壊し

DL=130.000

D=3.7
ST. 14.9
GH=136.60
FH=138.98



- E = 7.1
 - F1 前=0.9
 - F1 後=1.1
 - F2 前=0.0
 - F2 後=3.3
 - B1=4.2
 - B2=0.1
 - B3=0.0
 - SL=2.1
 - W1=5.0
 - W2=5.0
 - Ws=1.5
- E : 床掘
 - F1 前 : 前側埋戻 (埋戻幅1m未満)
 - F1 後 : 後側埋戻 (埋戻幅1m未満)
 - F2 前 : 前側埋戻 (埋戻幅1m以上2.5m未満)
 - F2 後 : 後側埋戻 (埋戻幅1m以上2.5m未満)
 - B1 : 路床盛土
 - B2 : 路肩盛土
 - B3 : 埋土
 - SL : 盛土法面保護 (植生シート)
 - W1 : 舗装工 表層工
 - W2 : 舗装工 上層路盤工
 - Ws : 舗装取壊し

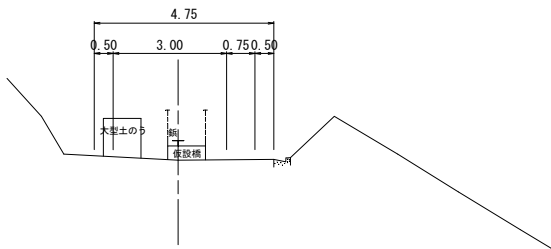
- Ms D=3.7
- W2 D=3.7
- W1 D=3.7
- SL D=4.2
- B3 D=
- B2 D=4.1
- B1 D=4.0
- F2 後 D=3.9
- F2 前 D=
- F1 後 D=4.0
- F1 前 D=4.6
- E D=4.3

DL=125.000

3号箇所 その1		全 25 葉中 7 番	
路線名	野田線	年度	平成30年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2級	設計速度	20 km
名称	横断図 4 5 葉中 4 番		
施行地	広島県 三原郡 本郷村	大字	船木
縮尺	S=1:100	審査者	設計者
受託会社			責任者

ST. 21. 1

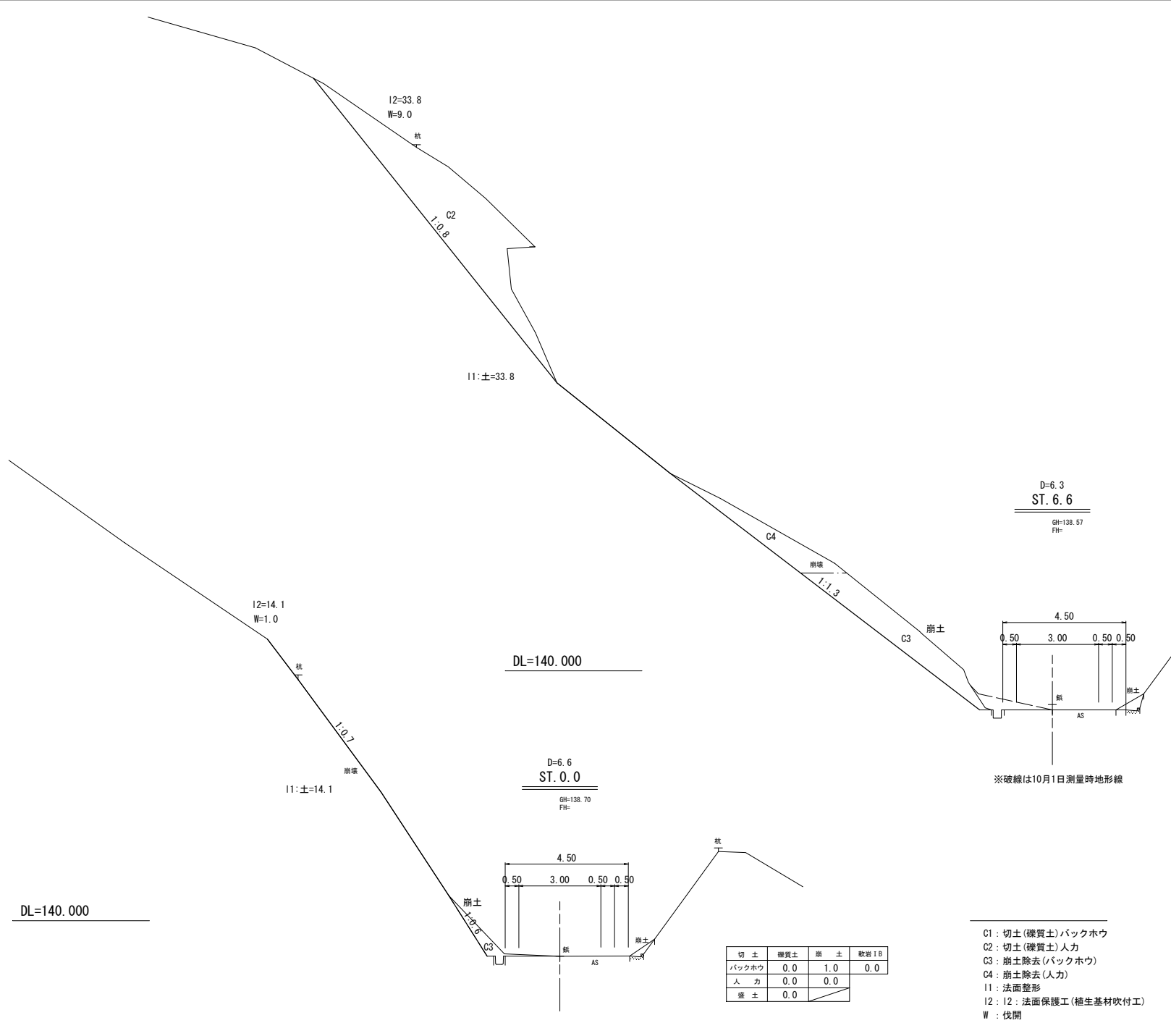
GH=138.84
FH=138.84



DL=130.000

3号箇所 その1 全 25 葉中 8 番

路線名	野田線	年度	平成30年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2級	設計速度	20 km
名称	横断図 5 5 葉中 5 番		
施行地	広島県 三原 郡 本郷 村 大字 船木		
縮尺	S=1:100	審査者	設計者
受託会社			責任者

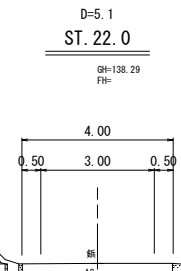
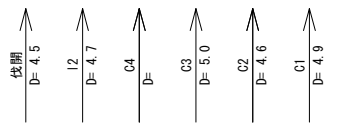
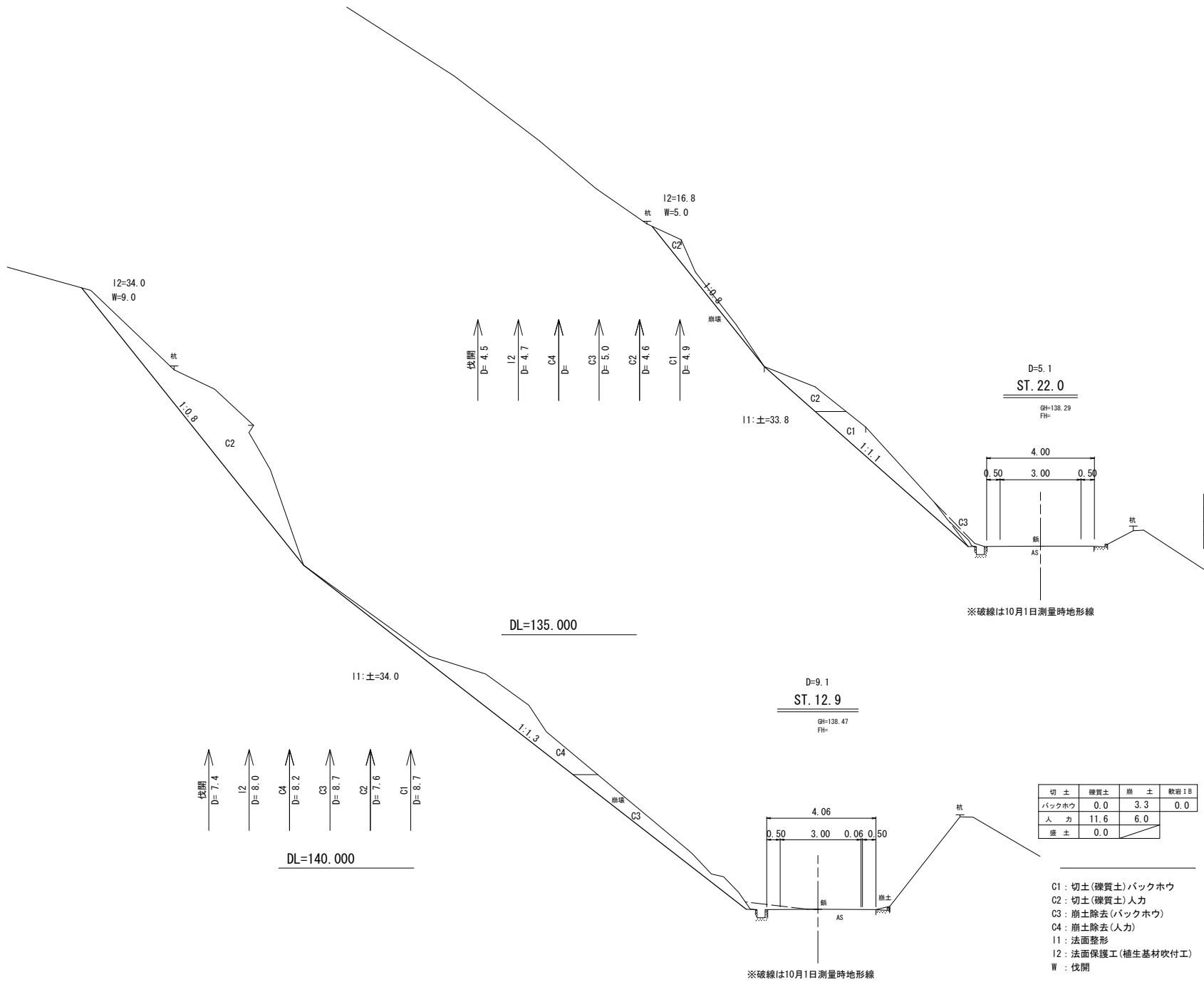


切土	埋置土	崩土	取崩1B
バックホウ	0.0	6.6	0.0
人カ	16.5	3.7	
盛土	0.0		

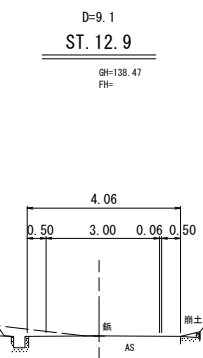
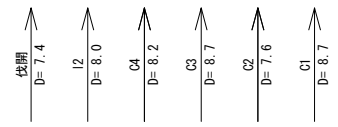
切土	埋置土	崩土	取崩1B
バックホウ	0.0	1.0	0.0
人カ	0.0	0.0	
盛土	0.0		

C1: 切土(礫質土)バックホウ
 C2: 切土(礫質土)人力
 C3: 崩土除去(バックホウ)
 C4: 崩土除去(人力)
 I1: 法面整形
 I2: 12: 法面保護工(植生基材吹付工)
 W: 伐開

3号箇所 その2		全 25 葉中 22 番	
路線名	野田線	年度	平成30年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2級	設計速度	20 km
名称	横断図 1 3 葉中 1 番		
施行地	広島県 三原郡 本郷村 大字 船木		
縮尺	S=1:100	審査者	設計者
受託会社	(一社) 広島県森林協会	責任者	



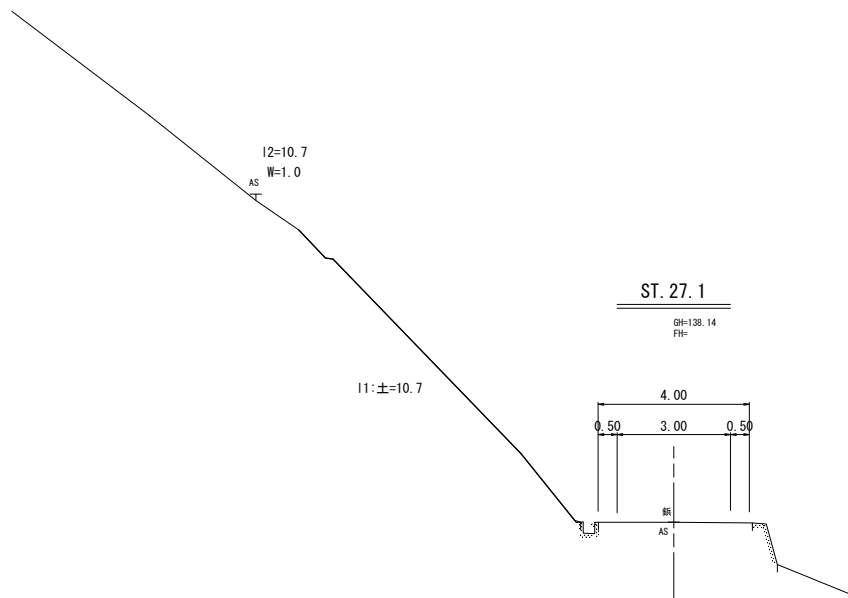
切土	硬質土	崩土	軟岩1B
バックホウ	3.7	0.1	0.0
人カ	2.7	0.0	
盛土	0.0		



切土	硬質土	崩土	軟岩1B
バックホウ	0.0	3.3	0.0
人カ	11.6	6.0	
盛土	0.0		

- C1: 切土(硬質土)バックホウ
- C2: 切土(硬質土)人カ
- C3: 崩土除去(バックホウ)
- C4: 崩土除去(人カ)
- I1: 法面整形
- I2: 法面保護工(植生基材吹付工)
- W: 伐開

3号箇所 その2		全 25 葉中 23 番	
路線名	野田線	年度	平成30年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2級	設計速度	20 km
名称	横断図 2 3 葉中 2 番		
施行地	広島県 三原市 本郷 大字 船木		
縮尺	S=1:100	審査者	設計者
受託会社			責任者



切土	硬質土	崩土	敷石 1B
バックホウ	0.0	0.0	0.0
人カ	0.0	0.0	
盛土	0.0		

- C1: 切土(硬質土)バックホウ
- C2: 切土(硬質土)人力
- C3: 崩土除去(バックホウ)
- C4: 崩土除去(人力)
- I1: 法面整形
- I2: 法面保護工(植生基材吹付工)
- W: 伐開

3号箇所 その2		全 25 葉中 24 番	
路線名	野田線	年度	平成30年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2級	設計速度	20 km
名称	横断図 3 3 葉中 3 番		
施行地	広島県 三原 郡 本郷 村 大字 船木		
縮尺	S=1:100	審査者	設計者
受託会社			責任者

参 考 資 料

－林道災害復旧工事(野田線その1)－

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 65 三原市(本郷) 00-02.03.01(0) 2 林道		
工種 施工地域・工事場所区分 緊急工事補正区分	当世代	前世代	
	03 道路改良 00 補正なし 00 通常工事		

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										
その1									レベル1	
道路土工	1				式				レベル2	
作業土工	1				式				レベル3	
床掘り	1				式				レベル4	
	301				m3					
バックホウ掘削積込 地山の掘削 10,000m3未満 礫質土	301				m3				00	
埋戻し									単第0 -0001 表 レベル4	
	127				m3					
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満	77				m3				00	
									単第0 -0003 表	
埋戻し 最大埋戻幅1m未満	47				m3				00	
									単第0 -0004 表	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	3		m	3					00	
路肩盛土工 2m3									単第0 -0005 表	レベル3
流用土路肩盛土	1				式					レベル4
人力盛土 礫質土 タンバ締固め	2		m	3					00	
路床盛土工 87m3									単第0 -0006 表	レベル3
流用土路床	1				式					レベル4
敷均し・締固め ブルドーザ普通15t級 礫質土	87		m	3					00	
法面整形工 43m2									単第0 -0009 表	レベル3
法面整形(盛土部)	1				式					レベル4
	43		m	2						

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
盛土法面整形(削り取り整形) クローラ型山積0.8m ³ (平積0.6m ³) 礫質土	43		m ²						00	
法面工									単第0 -0011 表	レベル2
植生工 43.4m ²	1		式							レベル3
植生シート 肥料袋無	1		式							レベル4
植生シート工 肥料袋無_標準品 [規]500m ² 未満	43.4		m ²						00	
擁壁工 アダムウォール	43.4		m ²						単第0 -0013 表	レベル2
補強土壁工 110.3m ²	1		式							レベル3
アダムウォール アダムウォール	1		式							レベル4
補強土壁壁面材組立・設置 アダムウォール	110.3		m ²						00	
	110.3		m ²						単第0 -0014 表	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
壁面材 標準パネル	1			式					00	単第0 -0015 表
壁面材 角度調整パネル	1			式					00	単第0 -0016 表
壁面材 延長調整パネル	1			式					00	単第0 -0017 表
パネル部材付属品	1			式					00	単第0 -0018 表
ジオテキスタイル敷設	588.9		m2						00	単第0 -0019 表
補強材	1			式					00	単第0 -0020 表
購入土砂(ほぐし) 設計CBR20以上	270.0		m3						00	
敷均し・締固め(A)	349.8		m3						00	単第0 -0021 表
敷均し・締固工(B)	188.1		m3						00	単第0 -0024 表

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
砕石投入工									00	
	38.8		m3						単第0 -0027 表	
現場打基礎コンクリート 18-8-25(20)BB 基礎砕石有り	5.2		m3						00	
									単第0 -0029 表	
笠コンクリート工	1		式						00	
									単第0 -0030 表	
基礎排水工A	3.0		m3						00	
									単第0 -0034 表	
基礎排水工B	29.2		m3						00	
									単第0 -0036 表	
盛土内排水工 EF-3	179.9		m						00	
									単第0 -0037 表	
暗渠排水(マット状排水材)敷設工	23.4		m						00	
									単第0 -0038 表	
吸出し防止材(全面)設置 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m	69.2		m2						00	
									単第0 -0039 表	
吸出し防止材(全面)設置 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m	21.1		m2						00	
									単第0 -0039 表	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
目地板 瀝青繊維質目地板 t=10mm	0.7	m2			00 単第0 -0040 表
暗渠排水管 据付 波状管及び網状管 50～150mm シングル 合成樹脂排水材 呼び径150mm	26.4	m			00 単第0 -0041 表
暗渠排水管 据付 波状管及び網状管 50～150mm シングル 合成樹脂排水材 呼び径150mm	5.2	m			00 単第0 -0041 表
フィルター材 単粒度碎石 4号 30-20	2.9	m3			00 単第0 -0042 表
排水構造物工	1	式			レベル 2
側溝工	1	式			レベル 3
プレキャストU型側溝 鉄筋コンクリートU型 300B	11.0	m			レベル 4
U型側溝	11.0	m			00 単第0 -0043 表
鉄筋コンクリートU形(JISA5372)300B 300×300×600 参考質量79kg	18.3	本			00

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
構造物撤去工									レベル2	
防護柵撤去工 一式	1			式					レベル3	
防護柵撤去(ガードレール)	1			式					レベル4	
防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去 コンクリート建込 A,B,C(支柱間隔2m)	17.0			m					00	
標識撤去工	17.0			m					単第0 -0044 表 レベル3	
標識撤去 カーブミラー	1			式					レベル4	
標識板撤去(カーブミラー) 警戒・規制・指示・路線番号標識 [規]2基以下	1			基					00	
構造物取壊し工	1			基					単第0 -0045 表 レベル3	
コンクリート構造物取壊し 無筋構造物	1			式					レベル4	
	26.9			m3						

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物取りこわし工 無筋構造物	26.9	m3			00 単第0 -0046 表
ダンプトラック運搬 10t積 コンクリート塊 L=10km	26.9	m3			00 単第0 -0048 表
処分費等（直接工事費計上分） 「処分費等」の取扱いによる					
処分費（コンクリート） 無筋 26.89*2.35t/m3	63.2	t			
舗装版取壊し AS版	14.6	m2			レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	14.6	m2			00 単第0 -0050 表
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	16.7	m			00 単第0 -0051 表
ダンプトラック運搬 10t積 アスファルト L=9.8km	0.6	m3			00 単第0 -0052 表
処分費等（直接工事費計上分） 「処分費等」の取扱いによる					

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
処分費(アスファルト)										
0.6*2.35t/m3	1.4		t							
舗装工										レベル2
アスファルト舗装工	1		式							レベル3
83.0m2	1		式							レベル4
上層路盤										レベル4
M-30 70mm	83.0		m2							00
上層路盤(車道・路肩部)										00
M-30	83.0		m2							単第0 -0053 表
全仕上り厚70mm 1層施工										レベル4
表層										00
再生密粒度AS 40mm	83		m2							単第0 -0054 表
表層(車道・路肩部)										00
平均幅員1.4m以上3.0m以下	83		m2							単第0 -0054 表
1層当り平均仕上厚40mm										レベル2
防護柵工	1		式							レベル3
路側防護柵工										レベル3
23.0m2	1		式							

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
ガードレール Gr-C-4E		23.0		m					レベル4	
防護柵設置工(Gr) 土中建込 - 塗装品_Gr-C-4E [規]21m以上50m未満		23.0		m					00	
道路付属施設工									単第0 -0055 表 レベル2	
道路付属物工 1個所		1		式					レベル3	
視線誘導標 丸鏡 径 600×厚3mm 径 76.3×厚3.2×長4000mm 曲柱		1		本					レベル4	
道路反射鏡設置工 一面鏡 建柱及び鏡取付		1		基					00	
仮設工									単第0 -0056 表 レベル2	
仮設道 一式		1		式					レベル3	
掘削工									レベル4	
		141		m3						

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
バックホウ掘削積込 地山の掘削 10,000m3未満 礫質土	141		m3						00	単第0 -0001 表
バックホウ掘削積込 ルーズな状態の積込 10,000m3未満 礫質土	141		m3						00	単第0 -0057 表
盛土工	87		m3							レベル4
敷均し・締固め ブルドーザ普通15t級 礫質土	87		m3						00	単第0 -0058 表
法面整形	50		式							レベル4
切土法面整形(機械)礫質土 クローラ型山積0.8m3(平積0.6m3) 排出ガス対策型2次基準	47		m2						00	単第0 -0059 表
盛土法面整形(削り取り整形) クローラ型山積0.8m3(平積0.6m3) 礫質土	3		m2						00	単第0 -0011 表
植生シート 肥料袋無	50.6		m2							レベル4
植生マット工 [規]500m2未満	47.3		m2						00	単第0 -0060 表

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
植生シート工 肥料袋無_標準品 [規]500m2未満	3.3	m2			00 単第0 -0013 表
上層路盤 M-30 70mm	17.3	m2			レベル4
上層路盤(車道・路肩部) M-30 全仕上り厚70mm 1層施工	17.3	m2			00 単第0 -0053 表
表層 密粒度AS 40mm	17.3	m2			レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚40mm	17.3	m2			00 単第0 -0054 表
舗装版取壊し AS版	17.3	m2			レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	17.3	m2			00 単第0 -0050 表
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	13.8	m			00 単第0 -0051 表
ダンプトラック運搬 10t積 アスファルト L=9.8km	0.7	m3			00 単第0 -0052 表

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など 処分費等（直接工事費計上分） 「処分費等」の取扱いによる	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費（アスファルト） 0.7*2.35t/m3	1.6	t			
L型側溝 L型再生利用撤去・設置	15.6	m			レベル4
プレキャストL形側溝 撤去	18.2	m			00 単第0 -0061 表
プレキャストL型側溝据付 基礎碎石有 部材再利用	15.6	m			00 単第0 -0062 表
その2	1	式			レベル1
道路土工	1	式			レベル2
掘削工	1	式			レベル3
土砂掘削 340m3	340	m3			レベル4

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
掘削 土砂 現場制約あり	204		m3						00	
掘削 土砂 現場制約あり	54		m3						単第0 -0064 表 00	
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	25		m3						単第0 -0064 表 00	
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	340		m3						単第0 -0065 表 00	
法面整形工 168m2	1			式					単第0 -0066 表 レベル3	
法面整形(切土部) 礫質土	168		m2						レベル4	
切土法面整形(機械)礫質土 クローラ型山積0.8m3(平積0.6m3) 排出ガス対策型2次基準	168		m2						00	
法面工	1			式					単第0 -0059 表 レベル2	
植生工 639.5m2	1			式					レベル3	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
植生基材吹付 t=5cm	639.5		m	2					レベル4	
植生基材吹付工 厚5cm [規]500m2以上1,000m2未満	639.5		m	2					00 単第0 -0067 表	
直接工事費										
準備費										
準備費	1			式					レベル2	
準備費	1			式					レベル3	
準備費(その1 仮設道)	1			式					レベル4	
チェンソー伐開 樹冠疎密度・普通	47.2		m	2					00 単第0 -0068 表	
伐採木積込み クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型2次基準	1.2		m	3					00 単第0 -0069 表	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
伐採木運搬 4t級 路面状況：良好		1.2		m3					00	単第0 -0071 表
処分費等（準備費計上分） 「処分費等」の取扱いによる										
木根等処分費		1.2		m3						
準備費（その2）		1		式					レベル4	
チェンソー伐開 樹冠疎密度・普通		155		m2					00	単第0 -0068 表
伐採木積込み クローラ型山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型2次基準		3.9		m3					00	単第0 -0069 表
伐採木運搬 4t級 路面状況：良好		3.9		m3					00	単第0 -0071 表
処分費等（準備費計上分） 「処分費等」の取扱いによる										
木根等処分費		3.9		m3						

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費率分						
共通仮設費計						
(純工事費)						
現場管理費						
(工事原価)						
一般管理費率分等						
契約保証費						
一般管理費計						
工事価格						

施工単価表

頁0 -0022

埋戻し

SPK19040019

単第0 -0003 表

最大埋戻幅1m以上4m未満

1

m3 当り

機械構成比: 13.18% 労務構成比:

82.04%

材料構成比:

4.78%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,703.5000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3	11.29%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00014 MTPT00014
<賃>振動ローラ(ハンドガイド式) 質量0.8~1.1t	1.78%		振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量0.8~1.1t		KTPC00008 KTPT00008
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	0.11%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	51.01%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	22.47%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	8.56%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.67%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.11%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

埋戻し

SPK19040019

単第0 -0004 表

最大埋戻幅1m未満

1

m3 当り

機械構成比: 6.83% 労務構成比:

90.09%

材料構成比:

3.08%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,585.5000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3	6.08%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3		MTPC00010 MTPT00010
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	0.75%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
普通作業員	54.72%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	26.91%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	8.46%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.34%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.74%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=4 最大埋戻幅1m未満			D=1 全ての費用		

施工単価表

頁0 -0026

埋戻し
土砂

SPK19040019

単第0 -0005 表

機械構成比: 11.23% 労務構成比:

上記以外(小規模)

84.85% 材料構成比: 3.92%

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m3 当り
3,337.6000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	10.54%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンバ及びランマ タンバ及びランマ 質量60~80kg	0.69%		タンバ及びランマ タンバ及びランマ 質量60~80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	48.46%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.07%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.29%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.63%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1	上記以外(小規模) 全ての費用		B=1 土砂		

施工単価表

タンバ締固め

SPK19040020

単第0 -0008 表

1

m3 当り

機械構成比: 1.45% 労務構成比: 97.12% 材料構成比: 1.43% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,340.7000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンバ(ランマ) 質量60~80kg	1.45%		タンバ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.43%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 全ての費用					

施工単価表

頁0 -0036

補強土壁壁面材組立・設置
アダムウォール

SPK19040077

単第0 -0014 表

1

m2 当り

機械構成比: 22.24%

労務構成比:

71.82%

材料構成比: 5.94%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,074.7000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	10.12%		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]25t吊		KTPC00014 KTPT00014
<賃>バックハウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.5m3(平積0.4)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	10.10%		<賃>バックハウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.5m3(平積0.4)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音		KTPC00038 KTPT00038
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	22.02%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	20.44%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.66%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	11.18%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.40%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
パネル付属部材 標準パネル用	66	Set			
パネル付属部材 天端パネル用	15	Set			
パネル付属部材 角度調整パネル用	19	Set			
パネル付属部材 延長調整パネル用	32	Set			
鋼製枠	180	Set			
グリップベルト	456	Set			
縦目地シート	41	枚			
連結プレート	8	枚			
吸出し防止材	34.8	m2			
小計	1	式			

施工単価表

ジオテキスタイル敷設

SPK19040084

単第0 -0019 表

頁0 -0042

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m2 当り 202.9100

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	34.85%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	28.62%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	27.44%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.06	人			
特殊作業員	0.15	人			
普通作業員	0.30	人			
ブルドーザ運転 普通3t級 排出ガス対策型1次基準	0.77	日			単第0-0025 表
振動ローラ運転 (舗装用)搭乗コンバインド式 3~4t 排出ガス対策型1次基準	1	日			単第0-0026 表
雑材料	3	%			
計	100	m3			
小計	1	m3			

施工単価表

現場打基礎コンクリート

SPK19040056

単第0 -0029 表

18-8-25(20)BB

基礎砕石有り

1

m3 当り

機械構成比: 2.47%

労務構成比:

70.17%

材料構成比: 27.36%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

62,265.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.93%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	0.54%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
型わく工	21.01%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	20.72%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.71%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	8.71%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	22.55%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPC00003 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.11%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0055

コンクリート

SPK19040150

単第0 -0031 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

コンクリートポンプ車打設

1

m3 当り

機械構成比: 5.30%

労務構成比:

18.01%

材料構成比: 76.69%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

19,678.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m3/h	5.25%		コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m3/h		MTPC00050 MTPT00050
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	10.16%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	3.18%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	2.21%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	1.94%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	75.61%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.07%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

型枠

SPK19040152

単第0 -0032 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

8,254.4000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	47.76%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	24.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.08%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 一般型枠 全ての費用			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.06	人			
特殊作業員	0.15	人			
普通作業員	0.30	人			
再生クラッシャー 40~0mm	120	m3			
ブルドーザ運転 普通15t級 排出ガス対策型2次基準	0.36	日			単第0-0035 表
タイヤローラ運転 (普通型)質量 8~20t 排出ガス対策型1次基準	0.17	日			単第0-0023 表
雑材料	3	%			
計	100	m3			
小計	1	m3			

施工単価表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.06	人			
特殊作業員	0.15	人			
普通作業員	0.30	人			
再生クラッシャー 40~0mm	120	m3			
ブルドーザ運転 普通3t級 排出ガス対策型1次基準	0.77	日			単第0-0025 表
振動ローラ運転 (舗装用)搭乗コンバインド式 3~4t 排出ガス対策型1次基準	1	日			単第0-0026 表
雑材料	3	%			
計	100	m3			
小計	1	m3			

施工単価表

目地板
 瀝青纖維質目地板 t=10mm

SPK19040120

単第0 -0040 表

1
 標準単価： m2 当り
 1,894.0000

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 37.30% 材料構成比: 62.70% 市場単価構成比: 0.00%

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	30.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.38%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
目地板 瀝青纖維質板 厚10mm	62.70%		瀝青纖維質目地板 厚さ10mm		TTPC00199 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1 瀝青纖維質目地板 t=10mm					

施工単価表

暗渠排水管

SPK19040089

単第0 -0041 表

据付 波状管及び網状管 50～150mm

シングル 合成樹脂排水材 呼び径150mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

23.57% 材料構成比: 76.43%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

633.5900

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	15.94%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.63%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
合成樹脂排水材(高密度ポリエチレン管) <シングル構造>内面波状管(有孔・無孔) 呼び径150mm	76.43%		暗渠排水管 波状管 呼び径75mm 高密度ポリエチレン管(シングル構造)		TTPCD0270 TTPT00190
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50～150mm F=1 継手材料費要 I=1 全ての費用			B=2 波状管及び網状管 D=32 シングル 合成樹脂排水材 呼び径150mm G=1 -		

施工単価表

頁0 -0067

フィルター材

SPK19040090

単第0 -0042 表

単粒度砕石 4号 30-20

1

m3 当り

機械構成比: 8.46%

労務構成比: 59.76%

材料構成比: 31.78%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

5,047.5000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3	8.30%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排1 山積0.45/平積0.35m3		MTPC00010 MTPT00010
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	28.06%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	14.38%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	11.56%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	4.59%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
単粒度砕石4号 30~20mm	28.52%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPCD0130 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.20%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK19040018

単第0 -0050 表

頁0 -0076

機械構成比: 24.57% 労務構成比: 67.61% 材料構成比: 7.82% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,467.2000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	24.57%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	67.61%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.82%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 全ての費用					

施工単価表

頁0 -0077

舗装版切断

SPK19040309

単第0 -0051 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 6.42%

労務構成比:

53.37%

材料構成比: 40.21%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

547.2500

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径56cm	4.34%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	18.48%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	37.36%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.93%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK19040236

単第0 -0053 表

M-30

全仕上り厚70mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.59% 労務構成比:

29.59% 材料構成比: 59.82%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

533.8100

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	4.28%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.32%		ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.08%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	13.58%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	4.78%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	4.54%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.36%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK19040236

単第0 -0053 表

M-30

全仕上り厚70mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.59% 労務構成比: 29.59%

材料構成比: 59.82%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

533.8100

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
粒度調整碎石 30~0mm	57.14%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPCD0021 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.20%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=6 H=1	M-30 -(全ての費用)		E=70 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):70.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0082

表層(車道・路肩部)
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK19040243

単第0 -0054 表

1層当り平均仕上厚40mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.80% 労務構成比:

13.37%

材料構成比: 84.83%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,634.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ ホイール型 舗装幅1.4~3.0m	1.20%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.25%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.22%		タイヤローラ 質量3~4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.75%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	3.27%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	3.22%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	1.14%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)
平均幅員1.4m以上3.0m以下

SPK19040243

単第0 -0054 表

1層当り平均仕上厚40mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.80% 労務構成比:

13.37%

材料構成比: 84.83%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,634.0000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	77.78%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	6.82%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.22%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上3.0m以下 C=7 再生密粒度アスファルト混合物(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=40 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):40.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0090

プレキャストL形側溝

SPK19040095

単第0 -0061 表

撤去

1

m 当り

機械構成比: 9.24%

労務構成比: 87.46%

材料構成比: 3.30%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,057.9000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t	8.25%		バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m3,吊能力2.9t		MTPC00063 MTPT00063
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	44.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	17.63%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	10.63%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	5.63%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.95%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

プレキャストL形側溝

SPK19040095

単第0 -0063 表

据付 基礎砕石有り

250B 鉄筋コンクリートL形(450×155×600)

1

m 当り

機械構成比: 6.51% 労務構成比:

61.65% 材料構成比: 31.84%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

6,986.7000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m ³ ,吊能力2.9t	4.86%		バックホウ(クローラ型) 標準型・クレーン機能付き・排1 山積0.45/平積0.35m ³ ,吊能力2.9t		MTPC00063 MTPT00063
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	26.05%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.39%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.26%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	3.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
鉄筋コンクリートL形(JISA5372)250B 450×155×600 参考質量58kg	29.52%		鉄筋コンクリートL形(JISA5372)300 500×155×600 参考質量65kg		TTPCD0134 TTPT00101
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

掘削
土砂 オープンカット 押土無し

SPK19040001

単第0 -0065 表

障害無し 5,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 49.10% 労務構成比:

32.84%

材料構成比: 18.06%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

301.9800

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	49.10%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	32.84%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	18.06%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 D=2 押土無し F=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット E=1 障害無し		

施工単価表

積込(ルーズ)

SPK19040007

単第0 -0066 表

土砂

土量50,000m3未満

1

m3 当り

機械構成比: 44.75%

労務構成比:

37.76%

材料構成比:

17.49%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

195.0000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3	44.75%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00014 MTPT00014
運転手(特殊)	37.76%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	17.49%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=1 土量50,000m3未満		

施工単価表

単第0 -0068 表

頁0 -0099

チェーンソー伐開
樹冠疎密度・普通

100

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
混合油(25:1)	0.36	L			
チェーンオイル グレード65・85	0.01	L			
土木一般世話役	0.01	人			
特殊作業員	0.10	人			
普通作業員	0.40	人			
チェーンソー ガソリンエンジン 鋸長500mmエンジン排気量0.060L=60cc	0.10	日			
諸雑費	1	式			
計	100	m2			
小計	1	m2			
A=2 普通			B=1	労務補正值	

施工単価表

バックホウ(掴み装置付)運転
 ｸｰﾗ型[標準型]山積0.45m³(平積0.35m³)

排出ガス対策型2次基準

単第0 -0070 表

1

時間 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.20	L			
運転手(特殊)	0.16	人			
バックホウ(ｸｰﾗ型) 標準型・排2 山積0.45/平積0.35m ³	1	時間			
バックホウ用アタッチメント 掴み装置(伐木除根工用) 最大把持外径(開口幅)0.7m級	1	時間			
諸雑費	1	式			
小計	1	時間			
A=2 C=2 E=0 G=0	ｸｰﾗ型[標準型]山積0.45m ³ (平積0.35m ³) 掴み装置(0.7m級) 労務単価の夜間等割増率 燃料消費量(L/日) 標準=省略		B=3 D=1 F=0	排出ガス対策型2次基準 運転労務数量(人/日) 標準=省略	

工事数量総括表

本工事費	費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	備 考
その1			式		1	レベル1
道路土工			式		1	レベル2
作業土工			式		1	レベル3
床掘り			m3		301	レベル4
埋戻し			m3		127	レベル4
路肩盛土工		2m3	式		1	レベル3
流用土路肩盛土			m3		2	レベル4
路床盛土工		87m3	式		1	レベル3
流用土路床			m3		87	レベル4
法面整形工		43m2	式		1	レベル3
法面整形(盛土部)			m2		43	レベル4
法面工			式		1	レベル2
植生工		43.4m2	式		1	レベル3
植生シート		肥料袋無	m2		43.4	レベル4
擁壁工		アダムウォール	式		1	レベル2
補強土壁工		110.3m2	式		1	レベル3
アダムウォール		アダムウォール	m2		110.3	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	備 考
排水構造物工		式		1	レベル2
側溝工		式		1	レベル3
プレキャストU型側溝	鉄筋コンクリートU型 300B	m		11.0	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
防護柵撤去工	一式	式		1	レベル3
防護柵撤去(ガードレール)		m		17.0	レベル4
標識撤去工		式		1	レベル3
標識撤去	カーブミラー	基		1	レベル4
構造物取壊し工		式		1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	無筋構造物	m3		26.9	レベル4
舗装版取壊し	AS版	m2		14.6	レベル4
舗装工		式		1	レベル2
アスファルト舗装工	83.0m2	式		1	レベル3
上層路盤	M-30 70mm	m2		83.0	レベル4
表層	再生密粒度AS 40mm	m2		83	レベル4
防護柵工		式		1	レベル2
路側防護柵工	23.0m2	式		1	レベル3
ガードレール	Gr-C-4E	m		23.0	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	備 考
道路付属施設工		式		1	レベル2
道路付属物工	1箇所	式		1	レベル3
視線誘導標	丸鏡 径 600×厚3mm 径 76.3×厚3.2×長4000mm 曲柱	本		1	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
仮設道	一式	式		1	レベル3
掘削工		m3		141	レベル4
盛土工		m3		87	レベル4
法面整形		式		50	レベル4
植生シート	肥料袋無	m2		50.6	レベル4
上層路盤	M-30 70mm	m2		17.3	レベル4
表層	密粒度AS 40mm	m2		17.3	レベル4
舗装版取壊し	AS版	m2		17.3	レベル4
L型側溝	L型再生利用撤去・設置	m		15.6	レベル4
その2		式		1	レベル1
道路土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
土砂掘削	340m3	m3		340	レベル4
法面整形工	168m2	式		1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	備 考
法面整形(切土部)	礫質土	m2		168	レベル4
法面工		式		1	レベル2
植生工	639.5m2	式		1	レベル3
植生基材吹付	t=5cm	m2		639.5	レベル4
直接工事費					
準備費					
準備費		式		1	レベル2
準備費		式		1	レベル3
準備費(その1 仮設道)		式		1	レベル4
準備費(その2)		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
共通仮設費計					
(純工事費)					
現場管理費					
(工事原価)					
一般管理費率分等					
契約保証費					
一般管理費計					

特殊基礎単価一覧表

コード	名称・規格1	規格2・摘要	単 位	単 価	特殊集計	集計区分	出現位置
W0001	コンクリートパネル AR		個				
W0001	コンクリートパネル CR-L		個				
W0001	コンクリートパネル LR-300		個				
W0001	パネル付属部材 標準パネル用		Set				
W0001	吸出し防止材 EM-50×300C		m				
W0001	処分費（アスファルト）	0.6*2.35t/m3	t				
W0001	処分費（アスファルト）	0.7*2.35t/m3	t				
W0001	処分費（コンクリート） 無筋	26.89*2.35t/m3	t				
W0001	水平排水材 EF-3	ロス率1%含む	m				
W0001	鉄筋コンクリートL型 部材再利用		m				
W0001	補強材 HG-36	ロス率3%含む	m2				
W0002	コンクリートパネル AR-M200		個				
W0002	コンクリートパネル CR-R		個				
W0002	コンクリートパネル LR-250		個				
W0002	パネル付属部材 天端パネル用		Set				
W0002	補強材 HG-80	ロス率3%含む	m2				
W0002	木根等処分費		m3				
W0003	コンクリートパネル CH-L		個				

数量総括表

	名 称	延 長	数 量	摘 要
数量計算表	床掘	23.6 m	301.0 m3	
	埋戻(埋戻幅1m未満)	25.2 m	47.1 m3	前側+後側: 18.1+29.0= 47.1 m3
	埋戻(埋戻幅1m以上2.5m未満)	21.2 m	77.4 m3	前側+後側: 13.7+63.7= 77.4 m3
	路床盛土	22.1 m	87.1 m3	
	路肩盛土	22.9 m	2.2 m3	
	埋土	11.3 m	2.6 m3	
	盛土法面保護(植生シート)	23.5 m	43.4 m2	
	舗装工 表層工	21.1 m	83.0 m2	
	舗装工 上層路盤工	21.1 m	83.0 m2	
	舗装取壊し	16.7 m	14.6 m2	
	残土		24.4 m3	(地山÷1.25)
補強土壁	21.1 m		計算書別途	
コンクリート取壊し工		26.9 m3	3.0+23.9	
ガードレール撤去(Gr-C-2B)	17 m	17 m		
ガードレール(Gr-C-4E)	23 m	23 m		
道路用鉄筋コンクリート側溝B型300A	11 m	11 m		
カーブミラー撤去・設置		1 箇所	曲柱	
補強土壁 工事用搬入路	18.2 m	18.2 m		
機械切土(地山)	18.2 m	54.0 m3		
床掘	13.8 m	87.3 m3		
埋戻(埋戻幅1m以上2.5m未満)	13.8 m	87.3 m3		
法面整形	14.3 m	47.3 m2		
切土法面保護工	14.3 m	47.3 m2		
盛土法面保護工	3.9 m	3.3 m2		
舗装工 表層工	13.8 m	17.3 m2		
舗装工 上層路盤	13.8 m	17.3 m2		
舗装取壊し	13.8 m	17.3 m2		
伐開	18.2 m	47.2 m2		
L型側溝撤去		18.2 m		
L型側溝設置		15.6 m		
工事用搬入路 土工 残土		25.7 m3	(地山÷1.25)	

3号箇所 その1

土工 数量計算表

測点	床掘				前側埋戻(埋戻幅1m未満)				後側埋戻(埋戻幅1m未満)				前側埋戻(埋戻幅1m以上2.5m未満)				後側埋戻(埋戻幅1m以上2.5m未満)				路床盛土				
	距離 (m)	断面積 (m2)	平均 (m2)	体積 (m3)	距離 (m)	断面積 (m2)	平均 (m2)	体積 (m3)	距離 (m)	断面積 (m2)	平均 (m2)	体積 (m3)	距離 (m)	断面積 (m2)	平均 (m2)	体積 (m3)	距離 (m)	断面積 (m2)	平均 (m2)	体積 (m3)	距離 (m)	断面積 (m2)	平均 (m2)	体積 (m3)	
ST.0.0																									
ST.2.8(起点側)	3.0	16.5	8.25	24.8	3.1	0.7	0.35	1.1	2.9	0.8	0.40	1.2	3.1	1.8	0.90	2.8	2.9	1.9	0.95	2.8	2.9	3.6	1.80	5.2	
ST.2.8(終点側)		16.5	16.50			0.7	0.70			0.4	0.60			1.8	1.80			3.9	2.90			4.2	3.90		
ST.7.0	4.8	13.7	15.10	72.5	5.1	0.8	0.75	3.8	4.4	2.4	1.40	6.2	5.1	1.3	1.55	7.9	4.2	3.8	3.85	16.2	4.4	5.6	4.90	21.6	
ST.11.2	4.6	19.0	16.35	75.2	5.1	0.7	0.75	3.8	4.2	2.5	2.45	10.3	4.6		0.65	3.0	4.0	5.3	4.55	18.2	4.3	5.7	5.65	24.3	
ST.14.9	4.2	7.1	13.05	54.8	4.5	0.9	0.80	3.6	3.8	1.1	1.80	6.8					3.6	3.3	4.30	15.5	3.9	4.2	4.95	19.3	
ST.18.6	4.3	16.7	11.90	51.2	4.6	1.0	0.95	4.4	4.0	0.7	0.90	3.6					3.9	1.4	2.35	9.2	4.0	2.5	3.35	13.4	
ST.21.1	2.7		8.35	22.5	2.8		0.50	1.4	2.6		0.35	0.9					2.6		0.70	1.8	2.6		1.25	3.3	
計	23.6			301.0	25.2			18.1	21.9			29.0	12.8			13.7	21.2			63.7	22.1			87.1	

土工 数量計算表

測点	路肩盛土				埋土				盛土法面保護(植生シート)				舗装工 表層工				舗装工 上層路盤工				舗装取壊し			
	距離 (m)	断面積 (m2)	平均 (m2)	体積 (m3)	距離 (m)	断面積 (m2)	平均 (m2)	体積 (m3)	距離 (m)	法長 (m)	平均 (m)	面積 (m2)	距離 (m)	W (m)	平均 (m)	面積 (m2)	距離 (m)	W (m)	平均 (m)	面積 (m2)	距離 (m)	W (m)	平均 (m)	面積 (m2)
ST.0.0																								
ST.2.8(起点側)	2.9	0.1	0.05	0.1					3.0	2.1	1.05	3.2	2.8	5.0	2.50	7.00	2.8	5.0	2.50	7.00	2.7	1.0	0.50	1.40
ST.2.8(終点側)		0.1	0.10							2.1	2.10			5.0	5.00			5.0	5.00			1.0	1.00	
ST.7.0	4.6	0.1	0.10	0.5	4.0	0.1	0.05	0.2	4.7	2.1	2.10	9.9	4.2	5.0	5.00	21.00	4.2	5.0	5.00	21.00	4.1		0.50	2.10
ST.11.2	4.6	0.1	0.10	0.5	3.8	0.6	0.35	1.3	4.7	2.1	2.10	9.9	4.2	5.0	5.00	21.00	4.2	5.0	5.00	21.00				
ST.14.9	4.1	0.1	0.10	0.4	3.5		0.30	1.1	4.2	2.1	2.10	8.8	3.7	5.0	5.00	18.50	3.7	5.0	5.00	18.50	3.6	1.5	0.75	2.70
ST.18.6	4.1	0.1	0.10	0.4					4.2	2.1	2.10	8.8	3.7	2.0	3.50	13.00	3.7	2.0	3.50	13.00	3.7	1.8	1.65	6.10
ST.21.1	2.6	0.1	0.10	0.3					2.7		1.05	2.8	2.5		1.00	2.50	2.5		1.00	2.50	2.6		0.90	2.30
計	22.9			2.2	11.3			2.6	23.5			43.4	21.1			83.0	21.1			83.0	16.7			14.6

土工 数量計算表

測点	人力切土地山(C2)				人力切土崩土(C4)				機械切土地山(C1)				機械切土崩土(C3)				盛土								
	距離 (m)	断面積 (m2)	平均 (m2)	体積 (m3)	距離 (m)	断面積 (m2)	平均 (m2)	体積 (m3)	距離 (m)	断面積 (m2)	平均 (m2)	体積 (m3)	距離 (m)	断面積 (m2)	平均 (m2)	体積 (m3)	距離 (m)	断面積 (m2)	平均 (m2)	体積 (m3)	距離 (m)	断面積 (m2)	平均 (m2)	体積 (m3)	
ST.0.0														1.0											
ST.6.6	6.6	16.5	8.25	54.5	6.6	3.7	1.85	12.2					6.6	6.6	3.80	25.1									
ST.12.9	6.3	11.6	14.05	88.5	6.3	6.0	4.85	30.6					6.3	3.3	4.95	31.2									
ST.22.0	7.6	2.7	7.15	54.3	8.2		3.00	24.6	8.7	3.7	1.85	16.1	8.7	0.1	1.70	14.8									
ST.27.1	4.6		1.35	6.2					4.9		1.85	9.1	5.0		0.05	0.3									
計	25.1			礫質土 203.5	21.1			崩土 地山(÷1.25) 67.4 53.9	13.6			礫質土 25.2	26.6			崩土 地山(÷1.25) 71.4 57.1									

法面保護工 数量計算表

測点	法面保護工(I2)				土羽工(L)								伐開(W=)												
	距離 (m)	法長 (m)	平均 (m)	面積 (m2)	距離 (m)	法長 (m)	平均 (m)	面積 (m2)	距離 (m)	法長 (m)	平均 (m)	面積 (m2)	距離 (m)	法長 (m)	平均 (m)	面積 (m2)	距離 (m)	W (m)	平均 (m)	面積 (m2)	距離 (m)	断面積 (m2)	平均 (m)	体積 (m3)	
ST.0.0		14.1																	1.0						
ST.6.6	6.6	33.8	23.95	158.07														6.6	9.0	5.00	33.00				
ST.12.9	6.3	34.0	33.90	213.57														6.3	9.0	9.00	56.70				
ST.22.0	8.0	16.8	25.40	203.20														7.4	5.0	7.00	51.80				
ST.27.1	4.7	10.7	13.75	64.63														4.5	1.0	3.00	13.50				
計	25.6			639.5														24.8			155.0				

設計数量一覧表 (1)

工種	種別	単位	数量	摘要
補強土壁工	コンクリートパネル	壁面積	m ²	110.34
	標準パネル	AR	個	37
		AR-M200	個	1
		VH	個	9
		WH	個	59
		SQ	個	7
	角度調整パネル	CR-L	個	16
		CR-R	個	16
		CH-L	個	3
		CH-R	個	3
		CR-LC	個	0
		CR-RC	個	0
		CH-LC	個	0
		CH-RC	個	0
	延長調整パネル	LR-350	個	0
		LR-300	個	6
		LR-250	個	21
		LH-350	個	0
		LH-300	個	2
		LH-250	個	3
	パネル付属部材セット	標準パネル用	set	66
		天端パネル用	set	15
		角度調整パネル用	set	19
		延長調整パネル用	set	32
	縦目地シート		枚	41
	鋼製枠		set	180
	目地板	瀝青質板 t=10mm	m ²	0.7
	連結プレート		枚	8
	吸出し防止材		m ²	34.8
	端部調整金具	AP-1800SZ-86/90	本	0
		AP-1350SZ-86/90	本	0
		AP-900SZ-86/90	本	0
	アングルピン	AB-M16*120B.M.W	set	0
流出防止材		m ²	0.0	

設計数量一覧表 (2)

工種		種別	単位	数量	摘要
補強土壁工	アダム	敷設面積	m ²	588.9	
		HG-36	m ²	100.3	
		HG-50	m ²	0.0	
		HG-60	m ²	0.0	
		HG-80	m ²	216.1	
		HG-100	m ²	136.4	
		HG-120	m ²	0.0	
		HG-150	m ²	136.1	
		HG-200	m ²	0.0	
		連結金具		set	54
	固定ピン		本	236	
	グリッドベルト		set	456	
排水工	水平排水材	EF-3	m	179.9	
	天端排水材	S-300	m ²	21.1	
	吸出し防止材(基盤排水工用)	S-300	m ²	69.2	
基礎工		延長	m	21.4	
		基礎碎石	m ²	10.5	C-40
		コンクリート	m ³	5.2	18-8-25
		型枠	m ²	28.6	均しコンクリート
		目地板	m ²	0.0	t=10mm
笠コンクリート工		延長	m	21.2	
		コンクリート	m ³	4.8	24-12-25
		型枠	m ²	31.4	鉄筋構造物
		化粧型枠	m ²	0.0	鉄筋構造物
		目地板	m ²	1.2	t=10mm
		鉄筋	t	0.47	SD345 D13
		足場工	m	0.0	
		足場固定金具	set	0	
土工		敷均し・締固めA	m ³	349.8	
		敷均し・締固めB	m ³	188.1	
		碎石投入工	m ³	38.8	5号単粒度碎石
		基盤排水工A	m ³	3.0	
		基盤排水工B	m ³	29.2	
		凍上抑制層碎石	m ³	0.0	C-40
暗渠排水工		EM-50×300C	m	23.4	
		有孔管φ 150	m	26.4	
		フィルター材	m ³	2.9	C-40
		無孔管φ 150	m	5.20	

補強土壁工数量(1)

数量集計表

名称	種別	単位	数量	
壁面材	コンクリートパネル	壁面積	m ² 110.34	
	標準パネル	AR	個	37
		AR-M200	個	1
		VH	個	9
		WH	個	59
		SQ	個	7
	角度調整パネル	CR-L	個	16
		CR-R	個	16
		CH-L	個	3
		CH-R	個	3
		CR-LC	個	0
		CR-RC	個	0
		CH-LC	個	0
		CH-RC	個	0
	延長調整パネル	LR-350	個	0
		LR-300	個	6
		LR-250	個	21
		LH-350	個	0
		LH-300	個	2
		LH-250	個	3
	パネル付属部材セット	標準パネル用	set	66
		天端パネル用	set	15
		角度調整パネル用	set	19
		延長調整パネル用	set	32
	縦目地シート		枚	41
	鋼製枠		set	180

補強土壁工数量(2)

数量集計表

名称		種別	単位	数量
補強材	アダム	敷設面積	m ²	588.9
		HG-36	m ²	100.3
		HG-50	m ²	0.0
		HG-60	m ²	0.0
		HG-80	m ²	216.1
		HG-100	m ²	136.4
		HG-120	m ²	0.0
		HG-150	m ²	136.1
		HG-200	m ²	0.0
	連結金具		set	54
固定ピン		本	236	
グリッドベルト		set	456	
排水材	水平排水材	EF-3	m	179.9
	天端排水材	S-300	m ²	21.1
目地材	目地板	瀝青質板 t=10mm	m ²	0.7
	連結プレート		枚	8
	吸出し防止材		m ²	34.8
端部接続材	端部調整金具	AP-1800SZ-86/90	本	0
		AP-1350SZ-86/90	本	0
		AP-900SZ-86/90	本	0
	アングルピン	AB-M16*120B.M.W	set	0
その他部材	吸出し防止材(基盤排水工用)	S-300	m ²	69.2
	流出防止材		m ²	0.0

補強土壁工数量表 (1)

種別	規格	単位	区間名					小計	
			1) CASE-	2) CASE-	3) CASE-	4) CASE-	5) CASE-		
壁面材	コンクリートパネル 標準パネル	AR	個	5.0	13.0	16.0	0.0	2.0	36.0
		AR-M200	個	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0
		VH	個	2.0	3.0	2.0	0.0	1.0	8.0
	角度調整パネル	WH	個	1.0	6.0	26.0	13.0	5.0	51.0
		SQ	個	0.0	0.0	3.0	2.0	0.0	5.0
		CR-L	個	0	0	9	0	5	14
		CR-R	個	0	0	9	0	5	14
		CH-L	個	0	0	1	0	1	2
		CH-R	個	0	0	1	0	1	2
		CR-LC	個	0	0	0	0	0	0
		CR-RC	個	0	0	0	0	0	0
		CH-LC	個	0	0	0	0	0	0
		CH-RC	個	0	0	0	0	0	0
		延長調整パネル	LR-350	個	0	0	0	0	0
	LR-300		個	0	0	0	0	0	0
	LR-250		個	0	0	8	13	0	21
	LH-350		個	0	0	0	0	0	0
	LH-300		個	0	0	0	0	0	0
	LH-250		個	0	0	1	2	0	3
	壁面積		m ²	(7.313)	(19.688)	(48.234)	(11.026)	(12.061)	(98.322)
	パネル付属部材セット	標準パネル用	set	5.50	16.00	30.00	5.50	3.50	60.50
		天端パネル用	set	2.00	3.00	3.50	2.00	2.00	12.50
		角度調整パネル用	set	0	0	10	0	6	16
		延長調整パネル用	set	0	0	9	15	0	24
		縦目地シート	幅130mm×長さ910mm	枚	7.00	13.00	18.00	0.00	2.00
	鋼製枠		set	11.5	31.8	80.3	18.0	19.5	161.1
		壁面積	m ²	6.9	19.1	48.2	10.8	11.7	96.7
補強材	アデム	HG-36	m ²	7.4	20.9	48.5	9.7	0.0	86.5
		HG-50	m ²	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		HG-60	m ²	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		HG-80	m ²	20.3	33.5	86.8	17.0	25.5	183.1
		HG-100	m ²	0.0	12.6	106.1	7.1	10.6	136.4
		HG-120	m ²	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		HG-150	m ²	0.0	22.7	75.2	14.5	23.7	136.1
		HG-200	m ²	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	敷設面積	m ²						542.1	
	連結金具		set	2.1	7.9	30.1	4.4	5.9	50.4
	固定ピン		本	15	33	118	19	25	210
グリッドベルト		set	26	70	200	56	52	404	
排水材	水平排水材	EF-3	m	9.2	34.0	95.9	22.0	9.6	170.7
	天端排水材	S-300	m ²	3.1	3.1	5.9	1.8	2.6	16.5
目地材	目地板	瀝青質板 t=10mm	m ²	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7
	連結プレート		枚	0	8	0	0	0	8
	吸出し防止材		m ²	0.0	2.2	13.3	8.2	4.8	28.5
端部接続材	端部調整金具	AP-1800SZ-86/90	本	0	0	0	0	0	0
		AP-1350SZ-86/90	本	0	0	0	0	0	0
		AP-900SZ-86/90	本	0	0	0	0	0	0
	アングルピン	AB-M16*120B.M.W	set	0	0	0	0	0	0

補強土壁工数量計算書 (1)

区間名: (1) CASE-3

段	コンクリートパネル								層	アデム				水平排水材			
	標準パネル				角度調整パネル		延長調整パネル			補強材 品番	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設数 (枚)	敷設面積 (m ²)	敷設数 (枚)	敷設長 (m)	敷設長計 (m)
	AR(個)	VH(個)	WH(個)	SQ(個)	CR(組)	CH(組)	LR(個)	LH(個)									
30									90								
									89								
									88								
29									87								
									86								
									85								
28									84								
									83								
									82								
27									81								
									80								
									79								
26									78								
									77								
									76								
25									75								
									74								
									73								
24									72								
									71								
									70								
23									69								
									68								
									67								
22									66								
									65								
									64								
21									63								
									62								
									61								
20									60								
									59								
									58								
19									57								
									56								
									55								
18									54								
									53								
									52								
17									51								
									50								
									49								
16									48								
									47								
									46								
15									45								
									44								
									43								
14									42								
									41								
									40								
13									39								
									38								
									37								
12									36								
									35								
									34								
11									33								
									32								
									31								
10		2.0							30								
									29								
									28	HG-36	3.1	2.500	2.0	7.4			
9	2.0		1.0						27								
									26								
									25	HG-80	3.1	3.125	2.5	9.3	1	3.1	3.1
8	2.0								24								
									23								
									22	HG-80	3.1	2.500	2.0	7.4	1	3.1	3.1
7	1.0								21								
									20								
									19	HG-80	3.0	1.250	1.0	3.6	1	3.0	3.0
計	5.0	2.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					7.5	27.7			9.2

*アデムの計算式 敷設数: 区間長/ARパネル幅(1.25m)
敷設面積: 敷設長 × 敷設数 × 敷設幅(アデム:幅1.2m/枚)

補強土壁工数量計算書 (2)

区間名: I) CASE-3

項目		計算式					
壁面材	コンクリートパネル	数量計算書(1)より					
			記号	個・組数	高さ(m)	幅(m)	面積(m ²)
		標準パネル	AR	5.0 個 (うち天端パネル 0.0 個)	× 0.90	× 1.250	= 5.625
			VH	2.0 個 (うち天端パネル 2.0 個)	× 0.45	× 1.250	= 1.125
			WH	1.0 個 (うち天端パネル 0.0 個)	× 0.90	× 0.625	= 0.563
			SQ	0.0 個 (うち天端パネル 0.0 個)	× 0.45	× 0.625	= 0.000
		角度調整パネル	CR,CR-C	0.0 組 (うち天端パネル 0.0 個)	× 0.90	× 0.000	= 0.000
			CH,CH-C	0.0 組	× 0.45	× 0.000	= 0.000
		延長調整パネル	LR	0.0 個	× 0.90	× 0.000	= 0.000
			LH	0.0 個	× 0.45	× 0.000	= 0.000
	水抜き穴パネル	AR-M200	(面積は上記ARに含む)			計 7.313 m ²	
	パネル付属部材セット					0.0 個	
	標準パネル用	AR:1set/個, VH:1set/個, WH:0.5set/個, SQ:0.5set/個 5×1+0×1+1×0.5+0×0.5=				5.50 set	
	天端パネル用	AR:1set/個, VH:1set/個, WH:0.5set/個, SQ:0.5set/個 0×1+2×1+0×0.5+0×0.5=				2.00 set	
	角度調整パネル用	各1set/組				0 set	
延長調整パネル用	各1set/個				0 set		
縦目地シート	[標準パネル高さ(m)-控除高さ(m)]÷ARパネル高さ(m) 標準パネル高さ たて目地高さ 調整パネル高さ 笠コンすりつけ高さ 端部高さ [(5+1)×0.9+(2+0)×0.45- 0.00 - 0.00 -]÷0.9= 7.00 枚						
鋼製枠	鋼製枠面積(m ²)÷鋼製枠1set当たりの面積(m ²) 面積: パネル面積-控除面積(VH・SQ・CH・LHパネル個数×パネル幅×0.15) 7.313-(2×1.25×0.15+0×0.625×0.15+0×0×0.15+0×0×0.15)= (7.313-0.375) + 0.00 = 6.94 m ² set数: 6.9 ÷ (0.3×2)= 11.5 set				11.5 set		
補強材	アデム	数量計算書(1)より					
		HG-36	7.4			7.4 m ²	
		HG-50	0.0			0.0 m ²	
		HG-60	0.0			0.0 m ²	
		HG-80	20.3			20.3 m ²	
		HG-100	0.0			0.0 m ²	
		HG-120	0.0			0.0 m ²	
		HG-150	0.0			0.0 m ²	
		HG-200	0.0			0.0 m ²	
	連結金具	HG-36~HG-60:2set/36m ² , HG-80:3set/36m ² , HG-100~HG-150:4set/36m ² , HG-200:5set/36m ² *アデム1ロール当たり36m ² (7.4+0+0)×2/36+20.3×3/36+(0+0+0)×4/36+0×5/36=				2.1 set	
固定ピン	アデム敷設枚数×2本 7.5×2				15 本		
グリッドベルト	標準パネル…AR:4set, VH:2set, WH:2set, SQ:1set	5×4+2×2+1×2+0×1=	26				
	角度調整パネル…CR:6set (天端パネルのみ:4set), CH:2set	0×6+0×4+0×2=	0				
	延長調整パネル…LR:2set, LH:1set	0×2+0×1=	0				
			26 set				
排水材	水平排水材	数量計算書(1)より				9.2 m	
	天端排水材	1.0×天端延長(m) 1.0 × (3.13 +)=				3.1 m ²	
目地材	目地板	0.1(m)×(目地高さ(m)+構造物すりつけ高さ(m)) 目地高さ 目地高さ 目地高さ 目地高さ 構造物すりつけ高さ 0.1×(+ + + +)=				0.0 m ²	
	連結プレート	目地位置のパネル段数×1				枚	
	吸出し防止材	目地高さ(m)×0.325(m)+構造物すりつけ高さ(m)×0.325(m)+延長調整パネル高さ(m)×0.325(m)×2+角度調整パネル高さ(m)×0.325(m)×3 目地: (0+0+0+0)×0.325+0×0.325= 調整:				0.0 0.0 0.0 m ²	
端部 接続材	端部調整金具	図面より(アングルピンは金具数×2)					
		AP-1800SZ-86/90			本		
		AP-1350SZ-86/90			本		
		AP-900SZ-86/90			本		
	アングルピン	AB-M16*120B.M.W			0 set		

補強土壁工数量計算書 (1)

区間名: (2) CASE-2

段	コンクリートパネル								層	アダム					水平排水材		
	標準パネル				角度調整パネル		延長調整パネル			補強材 品番	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設数 (枚)	敷設面積 (m ²)	敷設数 (枚)	敷設長 (m)	敷設長計 (m)
	AR(個)	VH(個)	WH(個)	SQ(個)	CR(組)	CH(組)	LR(個)	LH(個)									
26									78								
									77								
									76								
25									75								
									74								
									73								
24									72								
									71								
									70								
23									69								
									68								
									67								
22									66								
									65								
									64								
21									63								
									62								
									61								
20									60								
									59								
									58								
19									57								
									56								
									55								
18									54								
									53								
									52								
17									51								
									50								
									49								
16									48								
									47								
									46								
15									45								
									44								
									43								
14									42								
									41								
									40								
13									39								
									38								
									37								
12									36								
									35								
									34								
11									33								
									32								
									31								
10		3.0							30								
									29								
									28	HG-36	5.8	3.750	3.0	20.9			
9	2.0		1.0						27								
									26						1	5.3	5.3
									25								
8	3.0								24	HG-80	5.3	3.750	3.0	19.1			
									23						2	4.8	9.6
									22								
7	2.0		1.0						21								
									20	HG-80	4.8	3.125	2.5	14.4	1	4.8	4.8
									19								
6	2.0		1.0						18								
									17						1	4.2	4.2
									16	HG-100	4.2	3.125	2.5	12.6			
5	2.0		1.0						15								
									14						1	3.8	3.8
									13	HG-150	3.8	1.250	1.0	4.6			
4	1.0		1.0						12	HG-150	3.8	1.875	1.5	6.8			
									11						1	3.3	3.3
									10								
3	1.0		1.0						9	HG-150	3.3	1.875	1.5	5.9			
									8						1	3.0	3.0
									7	HG-150	3.0	1.875	1.5	5.4			
計	13.0	3.0	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					16.5	89.7			34.0

*アデムの計算式 敷設数:区間長/ARパネル幅(1.25m)
敷設面積:敷設長×敷設数×敷設幅(アダム:幅1.2m/枚)

補強土壁工数量計算書 (2)

区間名: :) CASE-2

項目		計算式							
壁面材	コンクリートパネル	数量計算書(1)より							
			記号	個・組数		高さ(m)	幅(m)	面積(m ²)	
		標準パネル	AR	13.0 個 (うち天端パネル 0.0 個)	×	0.90	×	1.250	= 14.625
			VH	3.0 個 (うち天端パネル 3.0 個)	×	0.45	×	1.250	= 1.688
			WH	6.0 個 (うち天端パネル 0.0 個)	×	0.90	×	0.625	= 3.375
			SQ	0.0 個 (うち天端パネル 0.0 個)	×	0.45	×	0.625	= 0.000
		角度調整パネル	CR,CR-C	0.0 組 (うち天端パネル 0.0 個)	×	0.90	×	0.000	= 0.000
			CH,CH-C	0.0 組	×	0.45	×	0.000	= 0.000
		延長調整パネル	LR	0.0 個	×	0.90	×	0.000	= 0.000
			LH	0.0 個	×	0.45	×	0.000	= 0.000
	水抜き穴パネル	AR-M200	(面積は上記ARに含む)				計	19.688 m ²	
	パネル付属部材セット							0.0 個	
	標準パネル用		AR:1set/個, VH:1set/個, WH:0.5set/個, SQ:0.5set/個 13×1+0×1+6×0.5+0×0.5=					16.00 set	
	天端パネル用		AR:1set/個, VH:1set/個, WH:0.5set/個, SQ:0.5set/個 0×1+3×1+0×0.5+0×0.5=					3.00 set	
	角度調整パネル用		各1set/組					0 set	
延長調整パネル用		各1set/個					0 set		
縦目地シート		[標準パネル高さ(m)-控除高さ(m)]÷ARパネル高さ(m) 標準パネル高さ たて目地高さ 調整パネル高さ 笠コンすりつけ高さ 端部高さ [(13+6)×0.9+(3+0)×0.45- 6.75 - 0.00 -] ÷0.9=					13.00 枚		
鋼製枠		鋼製枠面積(m ²)÷鋼製枠1set当たりの面積(m ²) 面積: パネル面積-控除面積(VH+SQ+CH+LHパネル個数×パネル幅×0.15) 19.688-(3×1.25×0.15+0×0.625×0.15+0×0×0.15+0×0×0.15)= (19.688-0.563) + 0.00 =					19.13 m ²		
		set数: 19.1 ÷ (0.3×2)=					31.8 set		
補強材	アデム	数量計算書(1)より							
		HG-36	20.9				20.9 m ²		
		HG-50	0.0				0.0 m ²		
		HG-60	0.0				0.0 m ²		
		HG-80	33.5				33.5 m ²		
		HG-100	12.6				12.6 m ²		
		HG-120	0.0				0.0 m ²		
		HG-150	22.7				22.7 m ²		
		HG-200	0.0				0.0 m ²		
		連結金具	HG-36~HG-60:2set/36m ² , HG-80:3set/36m ² , HG-100~HG-150:4set/36m ² , HG-200:5set/36m ² *アデム1ロール当たり36m ² (20.9+0+0)×2/36+33.5×3/36+(12.6+0+22.7)×4/36+0×5/36=					7.9 set	
固定ピン	アデム敷設枚数×2本 16.5×2					33 本			
グリッドベルト	標準パネル…AR:4set, VH:2set, WH:2set, SQ:1set 13×4+3×2+6×2+0×1= 角度調整パネル…CR:6set (天端パネルのみ:4set), CH:2set 0×6+0×4+0×2= 延長調整パネル…LR:2set, LH:1set 0×2+0×1=					70 0 0 70 set			
排水材	水平排水材	数量計算書(1)より					34.0 m		
	天端排水材	1.0×天端延長(m) 1.0 × (3.14 +) =					3.1 m ²		
目地材	目地板	0.1(m)×(目地高さ(m)+構造物すりつけ高さ(m)) 目地高さ 目地高さ 目地高さ 目地高さ 構造物すりつけ高さ 0.1×(6.75 + + +) =					0.7 m ²		
	連結プレート	目地位置のパネル段数×1 8 枚					8 枚		
	吸出し防止材	目地高さ(m)×0.325(m)+構造物すりつけ高さ(m)×0.325(m)+延長調整パネル高さ(m)×0.325(m)×2+角度調整パネル高さ(m)×0.325(m)×3 目地: (6.75+0+0+0)×0.325+0×0.325= 調整:					2.2 0.0 2.2 m ²		
端部 接続材	端部調整金具	図面より(アングルピンは金具数×2)							
		AP-1800SZ-86/90					本		
		AP-1350SZ-86/90					本		
アングルピン	AP-900SZ-86/90					本			
	AB-M16*120B.M.W					0 set			

補強土壁工数量計算書 (1)

区間名: (3) CASE-1

段	コンクリートパネル								層	アデム				水平排水材			
	標準パネル				角度調整パネル		延長調整パネル			補強材 品番	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設数 (枚)	敷設面積 (m ²)	敷設数 (枚)	敷設長 (m)	敷設長計 (m)
	AR(個)	VH(個)	WH(個)	SQ(個)	CR(組)	CH(組)	LR(個)	LH(個)									
24									72 71 70								
23									69 68 67								
22									66 65 64								
21									63 62 61								
20									60 59 58								
19									57 56 55								
18									54 53 52								
17									51 50 49								
16									48 47 46								
15									45 44 43								
14									42 41 40								
13									39 38 37								
12									36 35 34								
11									33 32 31								
10		2.0		3.0		1.0		1.0	30 29 28	HG-36	7.1	5.865	4.7	40.0			
9	2.0		3.0		1.0		1.0		27 26 25						3	6.6	19.8
8	2.0		3.0		1.0		1.0		24 23 22	HG-80	6.6	5.865	4.7	37.2	2	6.1	12.2
7	2.0		3.0		1.0		1.0		21 20 19	HG-80	6.1	5.865	4.7	34.4	1	6.1	6.1
6	2.0		3.0		1.0		1.0		18 17 16	HG-100	5.6	5.865	4.7	31.6	3	5.6	16.8
5	2.0		3.0		1.0		1.0		15 14 13						3	5.1	15.3
4	2.0		3.0		1.0		1.0		12 11 10	HG-100	5.1	5.865	4.7	28.8	2	4.8	9.6
3	2.0		3.0		1.0		1.0		9 8 7	HG-100	4.8	5.865	4.7	27.1	1	4.4	4.4
2	2.0		3.0		1.0		1.0		6 5 4	HG-150 HG-150	4.4 4.0	5.865 2.125	4.7 1.7	24.8 8.2	2	4.0	8.0
1	1.0		2.0		1.0				3 2 1	HG-150 HG-150	4.0 3.7	3.740 3.740	3.0 3.0	14.4 13.3	1	3.7	3.7
計	17.0	2.0	26.0	3.0	9.0	1.0	8.0	1.0					40.6	259.8			95.9

*アデムの計算式 敷設数: 区間長/ARパネル幅(1.25m)

敷設面積: 敷設長 × 敷設数 × 敷設幅(アデム:幅1.2m/枚)

補強土壁工数量計算書 (2)

区間名: 3) CASE-1

項目		計算式					
壁面材	コンクリートパネル	数量計算書(1)より					
			記号	個・組数	高さ(m)	幅(m)	面積(m ²)
		標準パネル	AR	17.0 個 (うち天端パネル 0.0 個)	× 0.90	× 1.250	= 19.125
			VH	2.0 個 (うち天端パネル 2.0 個)	× 0.45	× 1.250	= 1.125
			WH	26.0 個 (うち天端パネル 0.0 個)	× 0.90	× 0.625	= 14.625
			SQ	3.0 個 (うち天端パネル 3.0 個)	× 0.45	× 0.625	= 0.844
		角度調整パネル	CR-L(R)	9.0 組 (うち天端パネル 0.0 個)	× 0.90	× 1.240	= 10.044
			CH-L(R)	1.0 組	× 0.45	× 1.240	= 0.558
		延長調整パネル	LR-250	8.0 個	× 0.90	× 0.250	= 1.800
			LH-250	1.0 個	× 0.45	× 0.250	= 0.113
						計 48.234 m ²	
	水抜き穴パネル	AR-M200	(面積は上記ARに含む)			1.0 個	
	パネル付属部材セット						
	標準パネル用	AR:1set/個, VH:1set/個, WH:0.5set/個, SQ:0.5set/個 17×1+0×1+26×0.5+0×0.5=				30.00 set	
	天端パネル用	AR:1set/個, VH:1set/個, WH:0.5set/個, SQ:0.5set/個 0×1+2×1+0×0.5+3×0.5=				3.50 set	
角度調整パネル用	各1set/組 (9+1)×1=				10 set		
延長調整パネル用	各1set/個 (8+1)×1=				9 set		
縦目地シート	[標準パネル高さ(m)-控除高さ(m)]÷ARパネル高さ(m) 標準パネル高さ たて目地高さ 調整パネル高さ 笠コンすりつけ高さ 端部高さ [(17+26)×0.9+(2+3)×0.45- 0.00 - 16.20 - - 8.55] ÷ 0.9= 18.00 枚						
鋼製枠	鋼製枠面積(m ²)÷鋼製枠1set当たりの面積(m ²) 面積: パネル面積-(VH・SQ・CH・LHパネル×パネル幅×0.15)+開き部面積(追加延長×鋼製枠高) 48.234-(2×1.25×0.15+3×0.625×0.15+1×1.24×0.15+1×0.25×0.15)+(0.1×8.4)= (48.234-0.88) + 0.84 = 48.19 m ² set数: 48.2 ÷ (0.3×2)= 80.3 set						
補強材	アデム	数量計算書(1)より					
		HG-36	40.0	+	8.5 (1枚)	48.5 m ²	
		HG-50	0.0			0.0 m ²	
		HG-60	0.0			0.0 m ²	
		HG-80	71.6	+	15.2 (2枚)	86.8 m ²	
		HG-100	87.5	+	18.6 (3枚)	106.1 m ²	
		HG-120	0.0			0.0 m ²	
		HG-150	60.7	+	14.5 (3枚)	75.2 m ²	
		HG-200	0.0			0.0 m ²	
	連結金具	HG-36~HG-60:2set/36m ² , HG-80:3set/36m ² , HG-100~HG-150:4set/36m ² , HG-200:5set/36m ² *アデム1ロール当たり36m ² (48.5+0+0)×2/36+86.8×3/36+(106.1+0+75.2)×4/36+0×5/36= 30.1 set					
固定ピン	アデム敷設枚数×2本 + 隅角部敷設枚数×4本 40.6×2 + 9.0×4 = 118 本						
グリッドベルト	標準パネル…AR:4set, VH:2set, WH:2set, SQ:1set 17×4+2×2+26×2+3×1= 127 角度調整パネル…CR:6set (天端パネルのみ:4set), CH:2set 9×6+0×4+1×2= 56 延長調整パネル…LR :2set, LH:1set 8×2+1×1= 17 200 set						
排水材	水平排水材	数量計算書(1)より					
	天端排水材	1.0×天端延長(m) 1.0 × (5.88 +) = 5.9 m ²					
目地材	目地板	0.1(m)×(目地高さ(m)+構造物すりつけ高さ(m)) 目地高さ 目地高さ 目地高さ 目地高さ 構造物すりつけ高さ 0.1×(+ + + +) = 0.0 m ²					
	連結プレート	目地位置のパネル段数×1 枚					
	吸出し防止材	目地高さ(m)×0.325(m)+構造物すりつけ高さ(m)×0.325(m)+延長調整パネル高さ(m)×0.325(m)×2+角度調整パネル高さ(m)×0.325(m)×3 目地: (0+0+0+0)×0.325+0×0.325= 0.0 調整: [(8×0.9+1×0.45)×0.325×2]+[(9×0.9+1×0.45)×0.325×3]= 13.3 13.3 m ²					
端部 接続材	端部調整金具	図面より(アングルピンは金具数×2)					
	AP-1800SZ-86/90					本	
	AP-1350SZ-86/90					本	
	AP-900SZ-86/90					本	
	アングルピン	AB-M16*120B.M.W				0 set	

補強土壁工数量計算書 (1)

区間名: (4) CASE-2

段	コンクリートパネル								層	アデム				水平排水材			
	標準パネル				角度調整パネル		延長調整パネル			補強材 品番	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設数 (枚)	敷設面積 (m ²)	敷設数 (枚)	敷設長 (m)	敷設長計 (m)
	AR(個)	VH(個)	WH(個)	SQ(個)	CR(組)	CH(組)	LR(個)	LH(個)									
26									78								
									77								
									76								
25									75								
									74								
									73								
24									72								
									71								
									70								
23									69								
									68								
									67								
22									66								
									65								
									64								
21									63								
									62								
									61								
20									60								
									59								
									58								
19									57								
									56								
									55								
18									54								
									53								
									52								
17									51								
									50								
									49								
16									48								
									47								
									46								
15									45								
									44								
									43								
14									42								
									41								
									40								
13									39								
									38								
									37								
12									36								
									35								
									34								
11									33								
									32								
									31								
10				2.0				2.0	30								
									29								
									28	HG-36	5.8	1.750	1.4	9.7			
9			2.0						27								
									26						1	5.3	5.3
									25								
8			2.0						24	HG-80	5.3	1.750	1.4	8.9			
									23						1	4.8	4.8
									22								
7			2.0						21								
									20	HG-80	4.8	1.750	1.4	8.1		1	4.8
									19								4.8
6			2.0						18								
									17								
									16	HG-100	4.2	1.750	1.4	7.1			
5			2.0						15								
									14						1	3.8	3.8
									13								
4			2.0						12	HG-150	3.8	1.750	1.4	6.4			
									11						1	3.3	3.3
									10	HG-150	3.3	0.875	0.7	2.8			
3			1.0						9	HG-150	3.3	0.875	0.7	2.8			
									8								
									7	HG-150	3.0	0.875	0.7	2.5			
計	0.0	0.0	13.0	2.0	0.0	0.0	13.0	2.0					9.1	48.3			22.0

*アデムの計算式 敷設数: 区間長/ARパネル幅(1.25m)
敷設面積: 敷設長×敷設数×敷設幅(アデム:幅1.2m/枚)

補強土壁工数量計算書 (2)

区間名: I) CASE-2

項目		計算式					
壁面材	コンクリートパネル	数量計算書(1)より					
		記号	個・組数	高さ(m)	幅(m)	面積(m ²)	
		標準パネル	AR	0.0 個 (うち天端パネル 0.0 個)	× 0.90	× 1.250	= 0.000
			VH	0.0 個 (うち天端パネル 1.0 個)	× 0.45	× 1.250	= 0.000
			WH	13.0 個 (うち天端パネル 0.0 個)	× 0.90	× 0.625	= 7.313
			SQ	2.0 個 (うち天端パネル 2.0 個)	× 0.45	× 0.625	= 0.563
		角度調整パネル	CR,CR-C	0.0 組 (うち天端パネル 0.0 個)	× 0.90	× 0.000	= 0.000
			CH,CH-C	0.0 組	× 0.45	× 0.000	= 0.000
		延長調整パネル	LR-250	13.0 個	× 0.90	× 0.250	= 2.925
			LH-250	2.0 個	× 0.45	× 0.250	= 0.225
	水抜き穴パネル	AR-M200	(面積は上記ARに含む)			計 11.026 m ²	
	パネル付属部材セット						
	標準パネル用	AR:1set/個, VH:1set/個, WH:0.5set/個, SQ:0.5set/個 0×1+1×1+13×0.5+0×0.5=				5.50 set	
	天端パネル用	AR:1set/個, VH:1set/個, WH:0.5set/個, SQ:0.5set/個 0×1+1×1+0×0.5+2×0.5=				2.00 set	
	角度調整パネル用	各1set/組				0 set	
延長調整パネル用	各1set/個 (13+2)×1=				15 set		
縦目地シート	[標準パネル高さ(m)-控除高さ(m)]÷ARパネル高さ(m) 標準パネル高さ たて目地高さ 調整パネル高さ 笠コンすりつけ高さ 端部高さ [(0+13)×0.9+(0+2)×0.45- 0.00 - 5.85 - - 6.75] ÷0.9= 0.00 枚						
鋼製枠	鋼製枠面積(m ²)÷鋼製枠1set当たりの面積(m ²) 面積: パネル面積-(VH・SQ・CH・LHパネル×パネル幅×0.15)+ 開き部面積(追加延長×鋼製枠高さ) 11.026-(0×1.25×0.15+2×0.625×0.15+0×0.15+2×0.25×0.15)+(0.1×0)= (11.026-0.263) + 0.00 =				10.76 m ²		
	set数: 10.8 ÷ (0.3×2)=				18.0 set		
補強材	アデム	数量計算書(1)より					
		HG-36	9.7			9.7 m ²	
		HG-50	0.0			0.0 m ²	
		HG-60	0.0			0.0 m ²	
		HG-80	17.0			17.0 m ²	
		HG-100	7.1			7.1 m ²	
		HG-120	0.0			0.0 m ²	
		HG-150	14.5			14.5 m ²	
		HG-200	0.0			0.0 m ²	
	連結金具	HG-36~HG-60:2set/36m ² , HG-80:3set/36m ² , HG-100~HG-150:4set/36m ² , HG-200:5set/36m ² *アデム1ロール当たり36m ² (9.7+0+0)×2/36+17×3/36+(7.1+0+14.5)×4/36+0×5/36=				4.4 set	
固定ピン	アデム敷設枚数×2本 9.1×2				19 本		
グリッドベルト	標準パネル…AR:4set, VH:2set, WH:2set, SQ:1set	0×4+0×2+13×2+2×1=			28		
	角度調整パネル…CR:6set (天端パネルのみ4set), CH:2set	0×6+0×4+0×2=			0		
	延長調整パネル…LR:2set, LH:1set	13×2+2×1=			28		
					56 set		
排水材	水平排水材	数量計算書(1)より				22.0 m	
	天端排水材	1.0×天端延長(m) 1.0 × (1.79 +) =				1.8 m ²	
目地材	目地板	0.1(m)×(目地高さ(m)+構造物すりつけ高さ(m)) 目地高さ 目地高さ 目地高さ 目地高さ 構造物すりつけ高さ 0.1×(+ + + +) =				0.0 m ²	
	連結プレート	目地位置のパネル段数×1				枚	
	吸出し防止材	目地高さ(m)×0.325(m)+構造物すりつけ高さ(m)×0.325(m)+延長調整パネル高さ(m)×0.325(m)×2+角度調整パネル高さ(m)×0.325(m)×3 目地: (0+0+0+0)×0.325+0×0.325= 調整: [(13×0.9+2×0.45)×0.325×2]+[(0×0.9+0×0.45)×0.325×3]=				0.0 8.2 8.2 m ²	
端部 接続材	端部調整金具	図面より(アングルピンは金具数×2)					
	アングルピン	AP-1800SZ-86/90				本	
		AP-1350SZ-86/90				本	
	AP-900SZ-86/90				本		
	AB-M16*120B.M.W				0 set		

補強土壁工数量計算書 (1)

区間名: (5) CASE-3

段	コンクリートパネル								層	アデム				水平排水材			
	標準パネル				角度調整パネル		延長調整パネル			補強材 品番	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設数 (枚)	敷設面積 (m ²)	敷設数 (枚)	敷設長 (m)	敷設長計 (m)
	AR(個)	VH(個)	WH(個)	SQ(個)	CR(組)	CH(組)	LR(個)	LH(個)									
28									84								
									83								
									82								
27									81								
									80								
									79								
26									78								
									77								
									76								
25									75								
									74								
									73								
24									72								
									71								
									70								
23									69								
									68								
									67								
22									66								
									65								
									64								
21									63								
									62								
									61								
20									60								
									59								
									58								
19									57								
									56								
									55								
18									54								
									53								
									52								
17									51								
									50								
									49								
16									48								
									47								
									46								
15									45								
									44								
									43								
14									42								
									41								
									40								
13									39								
									38								
									37								
12									36								
									35								
									34								
11									33								
									32								
									31								
10		1.0				1.0			30								
									29								
									28	HG-80	5.3	2.550	2.1	13.4			
9			2.0		1.0				27	HG-80	4.8	2.550	2.1	12.1			
									26								
									25								
8	1.0				1.0				24								
									23								
									22	HG-100	4.2	2.550	2.1	10.6			
7			2.0		1.0				21								
									20								
									19								
6	1.0				1.0				18	HG-150	3.8	2.550	2.1	9.6			
									17								
									16	HG-150	3.3	0.625	0.5	2.0	2	3.3	6.6
5			1.0		1.0				15	HG-150	3.3	1.925	1.6	6.3			
									14								
									13	HG-150	3.0	1.925	1.6	5.8	1	3.0	3.0
計	2.0	1.0	5.0	0.0	5.0	1.0	0.0	0.0					12.1	59.8			9.6

*アデムの計算式 敷設数: 区間長/ARパネル幅(1.25m)
敷設面積: 敷設長×敷設数×敷設幅(アデム:幅1.2m/枚)

補強土壁工数量計算書 (2)

区間名: i) CASE-3

項目		計算式					
壁面材	コンクリートパネル	数量計算書(1)より					
			記号	個・組数	高さ(m)	幅(m)	面積(m ²)
		標準パネル	AR	2.0 個 (うち天端パネル 0.0 個)	× 0.90	× 1.250	= 2.250
			VH	1.0 個 (うち天端パネル 1.0 個)	× 0.45	× 1.250	= 0.563
			WH	5.0 個 (うち天端パネル 0.0 個)	× 0.90	× 0.625	= 2.813
			SQ	0.0 個 (うち天端パネル 2.0 個)	× 0.45	× 0.625	= 0.000
		角度調整パネル	CR-L(R)	5.0 組 (うち天端パネル 0.0 個)	× 0.90	× 1.300	= 5.850
			CH-L(R)	1.0 組	× 0.45	× 1.300	= 0.585
		延長調整パネル	LR	0.0 個	× 0.90	× 0.000	= 0.000
			LH	0.0 個	× 0.45	× 0.000	= 0.000
	水抜き穴パネル	AR-M200	(面積は上記ARに含む)			計 12.061 m ²	
	パネル付属部材セット						
	標準パネル用	AR:1set/個, VH:1set/個, WH:0.5set/個, SQ:0.5set/個 2×1+0×1+5×0.5+2×0.5=				3.50 set	
	天端パネル用	AR:1set/個, VH:1set/個, WH:0.5set/個, SQ:0.5set/個 0×1+1×1+0×0.5+2×0.5=				2.00 set	
	角度調整パネル用	各1set/組 (5+1)×1=				6 set	
延長調整パネル用	各1set/個				0 set		
縦目地シート	[標準パネル高さ(m)-控除高さ(m)]÷ARパネル高さ(m) 標準パネル高さ たて目地高さ 調整パネル高さ 笠コンすりつけ高さ 端部高さ [(2+5)×0.9+(1+0)×0.45- 0.00 - 0.00 - 4.95] ÷0.9= 2.00 枚						
鋼製枠	鋼製枠面積(m ²)÷鋼製枠1set当たりの面積(m ²) 面積: パネル面積-控除面積(VH+SQ+CH+LHパネル個数×パネル幅×0.15) 12.061-(1×1.25×0.15+0×0.625×0.15+1×1.3×0.15+0×0×0.15)= (12.061-0.383) + 0.00 = 11.68 m ² set数: 11.7 ÷ (0.3×2)= 19.5 set						
補強材	アデム	数量計算書(1)より					
		HG-36	0.0			0.0 m ²	
		HG-50	0.0			0.0 m ²	
		HG-60	0.0			0.0 m ²	
		HG-80	25.5			25.5 m ²	
		HG-100	10.6			10.6 m ²	
		HG-120	0.0			0.0 m ²	
		HG-150	23.7			23.7 m ²	
		HG-200	0.0			0.0 m ²	
		連結金具	HG-36~HG-60:2set/36m ² , HG-80:3set/36m ² , HG-100~HG-150:4set/36m ² , HG-200:5set/36m ² *アデム1ロール当たり36m ² (0+0+0)×2/36+25.5×3/36+(10.6+0+23.7)×4/36+0×5/36=				5.9 set
固定ピン	アデム敷設枚数×2本 12.1×2				25 本		
グリッドベルト	標準パネル…AR:4set, VH:2set, WH:2set, SQ:1set 2×4+1×2+5×2+0×1=				20		
	角度調整パネル…CR:6set (天端パネルのみ4set), CH:2set 5×6+0×4+1×2=				32		
	延長調整パネル…LR:2set, LH:1set 0×2+0×1=				0		
					52 set		
排水材	水平排水材	数量計算書(1)より				9.6 m	
	天端排水材	1.0×天端延長(m) 1.0 × (2.55 +) =				2.6 m ²	
目地材	目地板	0.1(m)×(目地高さ(m)+構造物すりつけ高さ(m)) 目地高さ 目地高さ 目地高さ 目地高さ 構造物すりつけ高さ 0.1×(+ + + +) =				0.0 m ²	
	連結プレート	目地位置のパネル段数×1				枚	
	吸出し防止材	目地高さ(m)×0.325(m)+構造物すりつけ高さ(m)×0.325(m)+延長調整パネル高さ(m)×0.325(m)×2+角度調整パネル高さ(m)×0.325(m)×3 目地: (0+0+0+0)×0.325+0×0.325= 調整: [(0×0.9+0×0.45)×0.325×2]+[(5×0.9+1×0.45)×0.325×3]=				0.0 4.8 4.8 m ²	
端部 接続材	端部調整金具	図面より(アングルピンは金具数×2)					
	アングルピン	AP-1800SZ-86/90				本	
		AP-1350SZ-86/90				本	
		AP-900SZ-86/90				本	
	AB-M16*120B.M.W				0 set		

補強土壁工数量計算書 (1)

区間名: (6) CASE-3

段	コンクリートパネル								層	アデム				水平排水材			
	標準パネル				角度調整パネル		延長調整パネル			補強材 品番	敷設長 (m)	延長 (m)	敷設数 (枚)	敷設面積 (m ²)	敷設数 (枚)	敷設長 (m)	敷設長計 (m)
	AR(個)	VH(個)	WH(個)	SQ(個)	CR(組)	CH(組)	LR(個)	LH(個)									
30									90								
									89								
									88								
29									87								
									86								
									85								
28									84								
									83								
									82								
27									81								
									80								
									79								
26									78								
									77								
									76								
25									75								
									74								
									73								
24									72								
									71								
									70								
23									69								
									68								
									67								
22									66								
									65								
									64								
21									63								
									62								
									61								
20									60								
									59								
									58								
19									57								
									56								
									55								
18									54								
									53								
									52								
17									51								
									50								
									49								
16									48								
									47								
									46								
15									45								
									44								
									43								
14									42								
									41								
									40								
13									39								
									38								
									37								
12									36								
									35								
									34								
11									33								
									32								
									31								
10		1.0		2.0		1.0		2.0	30								
									29								
									28	HG-36	3.1	4.600	3.7	13.8			
9			4.0		1.0		2.0		27								
									26								
									25	HG-80	3.1	4.600	3.7	13.8			
8	1.0		2.0		1.0		2.0		24								
									23						2	3.1	6.2
									22	HG-80	3.1	4.600	3.7	13.8			
7			2.0				2.0		21								
									20						1	3.0	3.0
									19	HG-80	3.0	1.850	1.5	5.4			
計	1.0	1.0	8.0	2.0	2.0	1.0	6.0	2.0					12.6	46.8			9.2

*アデムの計算式 敷設数: 区間長/ARパネル幅(1.25m)
敷設面積: 敷設長 × 敷設数 × 敷設幅(アデム:幅1.2m/枚)

補強土壁工数量計算書 (2)

区間名: i) CASE-3

項目		計算式					
壁面材	コンクリートパネル	数量計算書(1)より					
			記号	個・組数	高さ(m)	幅(m)	面積(m ²)
		標準パネル	AR	1.0 個 (うち天端パネル 0.0 個)	× 0.90	× 1.250	= 1.125
			VH	1.0 個 (うち天端パネル 1.0 個)	× 0.45	× 1.250	= 0.563
			WH	8.0 個 (うち天端パネル 0.0 個)	× 0.90	× 0.625	= 4.500
			SQ	2.0 個 (うち天端パネル 2.0 個)	× 0.45	× 0.625	= 0.563
		角度調整パネル	CR-L(R)	2.0 組 (うち天端パネル 0.0 個)	× 0.90	× 1.500	= 2.700
			CH-L(R)	1.0 組	× 0.45	× 1.500	= 0.675
		延長調整パネル	LR-300	6.0 個	× 0.90	× 0.300	= 1.620
			LH-300	2.0 個	× 0.45	× 0.300	= 0.270
	水抜き穴パネル	AR-M200	(面積は上記ARに含む)			計 12.016 m ²	
	パネル付属部材セット						
	標準パネル用	AR:1set/個, VH:1set/個, WH:0.5set/個, SQ:0.5set/個 1×1+0×1+8×0.5+0×0.5=				5.00 set	
	天端パネル用	AR:1set/個, VH:1set/個, WH:0.5set/個, SQ:0.5set/個 0×1+1×1+0×0.5+2×0.5=				2.00 set	
	角度調整パネル用	各1set/組 (2+1)×1=				3 set	
延長調整パネル用	各1set/個 (6+2)×1=				8 set		
縦目地シート	[標準パネル高さ(m)-控除高さ(m)]÷ARパネル高さ(m) 標準パネル高さ たて目地高さ 調整パネル高さ 笠コンすりつけ高さ 端部高さ [(1+8)×0.9+(1+2)×0.45- 0.00 - 5.40 - - 3.15] ÷0.9= 1.00 枚						
鋼製枠	鋼製枠面積(m ²)÷鋼製枠1set当たりの面積(m ²) 面積: パネル面積-控除面積(VH・SQ・CH・LHパネル個数×パネル幅×0.15) 12.016-(1×1.25×0.15+2×0.625×0.15+1×1.5×0.15+2×0.3×0.15)= (12.016-0.69) + 0.00 = 11.33 m ² set数: 11.3 ÷ (0.3×2)= 18.8 set						
補強材	アデム	数量計算書(1)より					
		HG-36	13.8			13.8 m ²	
		HG-50	0.0			0.0 m ²	
		HG-60	0.0			0.0 m ²	
		HG-80	33.0			33.0 m ²	
		HG-100	0.0			0.0 m ²	
		HG-120	0.0			0.0 m ²	
		HG-150	0.0			0.0 m ²	
		HG-200	0.0			0.0 m ²	
		連結金具	HG-36~HG-60:2set/36m ² , HG-80:3set/36m ² , HG-100~HG-150:4set/36m ² , HG-200:5set/36m ² *アデム1ロール当たり36m ² (13.8+0+0)×2/36+33×3/36+(0+0+0)×4/36+0×5/36=				3.5 set
固定ピン	アデム敷設枚数×2本 12.6×2				26 本		
グリッドベルト	標準パネル…AR:4set, VH:2set, WH:2set, SQ:1set		1×4+1×2+8×2+2×1=		24		
	角度調整パネル…CR:6set (天端パネルのみ:4set), CH:2set		2×6+0×4+1×2=		14		
	延長調整パネル…LR:2set, LH:1set		6×2+2×1=		14		
					52 set		
排水材	水平排水材	数量計算書(1)より				9.2 m	
	天端排水材	1.0×天端延長(m) 1.0 × (4.63 +) =				4.6 m ²	
目地材	目地板	0.1(m)×(目地高さ(m)+構造物すりつけ高さ(m)) 目地高さ 目地高さ 目地高さ 目地高さ 構造物すりつけ高さ 0.1×(+ + + +) =				0.0 m ²	
	連結プレート	目地位置のパネル段数×1				枚	
	吸出し防止材	目地高さ(m)×0.325(m)+構造物すりつけ高さ(m)×0.325(m)+延長調整パネル高さ(m)×0.325(m)×2+角度調整パネル高さ(m)×0.325(m)×3 目地: (0+0+0+0)×0.325+0×0.325= 調整: [(6×0.9+2×0.45)×0.325×2]+[(2×0.9+1×0.45)×0.325×3]=				6.3 6.3 m ²	
端部 接続材	端部調整金具	図面より(アングルピンは金具数×2)					
	アングルピン	AP-1800SZ-86/90			本		
		AP-1350SZ-86/90			本		
		AP-900SZ-86/90			本		
	AB-M16*120B.M.W			0 set			

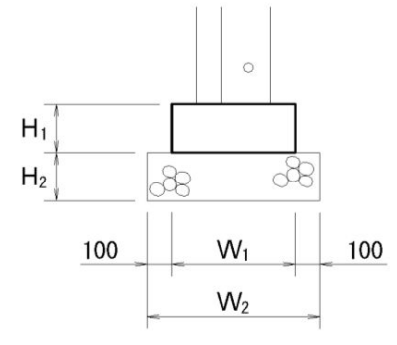
基礎工数量

数量集計表

種別	規格	単位	数量
延長		m	21.4
コンクリート	18-8-25	m ³	5.2
型枠	均しコンクリート型枠	m ²	28.6
基礎砕石	C-40	m ²	10.5
目地板	t=10mm	m ²	0.0

基礎工数量計算書（標準部）

断面図



基礎コンクリート

高さ $H_1 = 0.20$ m

幅 $W_1 = 0.50$ m

基礎碎石

高さ $H_2 = 0.20$ m

幅 $W_2 = 0.70$ m

目地

目地厚さ 10 mm

目地ヶ所数 0 ヶ所

延長

21.316 m

コンクリート体積

* $H_1 \times W_1 \times$ コンクリート延長

$$0.20 \times 0.50 \times 21.316 = 2.13 \text{ m}^3$$

型枠面積

*前背面: $H_1 \times 2 \times$ コンクリート延長、妻型枠: $H_1 \times W_1 \times$ 箇所数(段上がり箇所+端部箇所数)

前背面	0.20	×	2	×	21.316		=	8.53
-----	------	---	---	---	--------	--	---	------

妻型枠	0.20	×	0.50	×	(12 + 2)		=	1.40
-----	------	---	------	---	------------	--	---	------

計 9.93 m²

基礎碎石面積

* $W_2 \times$ 碎石延長

$$0.70 \times 21.316 = 14.92 \text{ m}^2$$

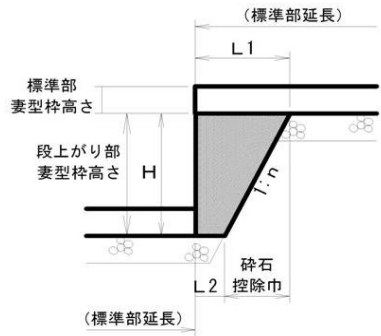
目地板

* $H_1 \times W_1 \times$ 目地ヶ所数

$$0.20 \times 0.50 \times 0 = 0.00 \text{ m}^2$$

基礎工数量計算書（段上り部）

正面図



基礎コンクリート幅: W1 0.500 m

基礎砕石幅: W2 0.700 m

1段上り

段上りヶ所 10 ヶ所

H= 0.90 m

L1= 0.65 m

L2= 0.20 m

n= 0.5

2段上り

段上りヶ所 2 ヶ所

H= 1.80 m

L1= 1.10 m

L2= 0.20 m

n= 0.5

コンクリート体積

* $(L1+L2) \times H/2 \times W1 \times$ 段上り箇所数

1段上り

$$\frac{(0.650 + 0.200) \times 0.900 \div 2 \times 0.500 \times 10}{=} = 1.91$$

2段上り

$$\frac{(1.100 + 0.200) \times 1.800 \div 2 \times 0.500 \times 2}{=} = 1.17$$

計 3.08 m³

型枠面積

*前背面: $(L1+L2) \times H/2 \times 2 \times$ 段上り箇所数、妻型枠: $(H+H1) \times W1 \times$ 段上り箇所数

1段上り

前背面 $\frac{(0.65 + 0.20) \times 0.90 \div 2 \times 2 \times 10}{=} = 7.65$ m²

妻型枠 $0.90 \times 0.50 \times 10 = 4.50$ m²

2段上り

前背面 $\frac{(1.10 + 0.20) \times 1.80 \div 2 \times 2 \times 2}{=} = 4.68$ m²

妻型枠 $1.80 \times 0.50 \times 2 = 1.80$ m²

計 18.63 m²

基礎砕石面積(控除部)

* $(L1-L2) \times W2 \times$ 段上り箇所数

1段上り

$$\frac{(0.65 - 0.20) \times 0.70 \times 10}{=} = 3.15$$
 m²

2段上り

$$\frac{(1.10 - 0.20) \times 0.70 \times 2}{=} = 1.26$$
 m²

計 4.41 m²

基礎工数量計算書(総括)

コンクリート体積

$$2.13 + 3.08 = 5.21 \text{ m}^3$$

型枠面積

$$9.93 + 18.63 = 28.56 \text{ m}^2$$

基礎碎石面積

$$14.92 - 4.41 = 10.51 \text{ m}^2$$

目地板

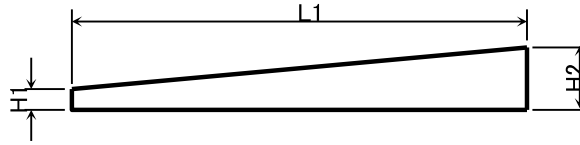
$$0.00 \text{ m}^2$$

笠コンクリート工数量

数量集計表

種 別	規 格	単 位	数 量
延長		m	21.2
コンクリート	24-12-25	m ³	4.8
型枠	鉄筋構造物	m ²	31.4
化粧型枠	鉄筋構造物	m ²	0.0
目地板	t=10mm	m ²	1.2
鉄筋	SD345 D13	t	0.47

笠コンクリート平均高(加重平均高)



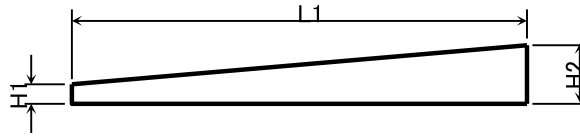
$$A=(H1+H2) \times L1 \div 2$$

	H1		H2		L1		A
1	0.790	+	0.700)	5.001	÷ 2 =	3.726
2	0.700	+	0.610)	5.004	÷ 2 =	3.278
3	0.610	+	0.530)	4.579	÷ 2 =	2.610
4	0.530	+	0.469)	4.532	÷ 2 =	2.264
5	0.469	+	0.469)	2.000	÷ 2 =	0.938
6		+)		÷ 2 =	
7		+)		÷ 2 =	
8		+)		÷ 2 =	
9		+)		÷ 2 =	
10		+)		÷ 2 =	
11		+)		÷ 2 =	
12		+)		÷ 2 =	
13		+)		÷ 2 =	
14		+)		÷ 2 =	
15		+)		÷ 2 =	
16		+)		÷ 2 =	
17		+)		÷ 2 =	
18		+)		÷ 2 =	
19		+)		÷ 2 =	
20		+)		÷ 2 =	
21		+)		÷ 2 =	
22		+)		÷ 2 =	
23		+)		÷ 2 =	
24		+)		÷ 2 =	
25		+)		÷ 2 =	
26		+)		÷ 2 =	
27		+)		÷ 2 =	
28		+)		÷ 2 =	
29		+)		÷ 2 =	
30		+)		÷ 2 =	
31		+)		÷ 2 =	
32		+)		÷ 2 =	
33		+)		÷ 2 =	
34		+)		÷ 2 =	
35		+)		÷ 2 =	
36		+)		÷ 2 =	
37		+)		÷ 2 =	
38		+)		÷ 2 =	
39		+)		÷ 2 =	
40		+)		÷ 2 =	

L 21.116 m

A 12.816 m²

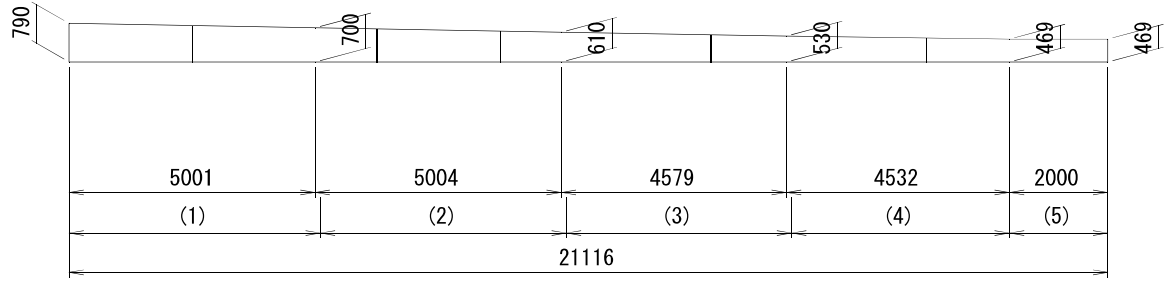
笠コンクリート平均高(加重平均高)



	H1	H2	L1	A
41	(+)	× ÷ 2 =
42	(+)	× ÷ 2 =
43	(+)	× ÷ 2 =
44	(+)	× ÷ 2 =
45	(+)	× ÷ 2 =
46	(+)	× ÷ 2 =
47	(+)	× ÷ 2 =
48	(+)	× ÷ 2 =
49	(+)	× ÷ 2 =
50	(+)	× ÷ 2 =
51	(+)	× ÷ 2 =
52	(+)	× ÷ 2 =
53	(+)	× ÷ 2 =
54	(+)	× ÷ 2 =
55	(+)	× ÷ 2 =
56	(+)	× ÷ 2 =
57	(+)	× ÷ 2 =
58	(+)	× ÷ 2 =
59	(+)	× ÷ 2 =
60	(+)	× ÷ 2 =
61	(+)	× ÷ 2 =
62	(+)	× ÷ 2 =
63	(+)	× ÷ 2 =
64	(+)	× ÷ 2 =
65	(+)	× ÷ 2 =
66	(+)	× ÷ 2 =
67	(+)	× ÷ 2 =
68	(+)	× ÷ 2 =
69	(+)	× ÷ 2 =
70	(+)	× ÷ 2 =
71	(+)	× ÷ 2 =
72	(+)	× ÷ 2 =
73	(+)	× ÷ 2 =
74	(+)	× ÷ 2 =
75	(+)	× ÷ 2 =
76	(+)	× ÷ 2 =
77	(+)	× ÷ 2 =
78	(+)	× ÷ 2 =
79	(+)	× ÷ 2 =
80	(+)	× ÷ 2 =

	L	0.000	m	A	0.000	m ²
加重平均高	Σ L	21.116	m	Σ A	12.816	m ²
H= Σ A/Σ L						
	=	12.816	÷	21.116	=	0.607 m

笠コンクリート工形状図

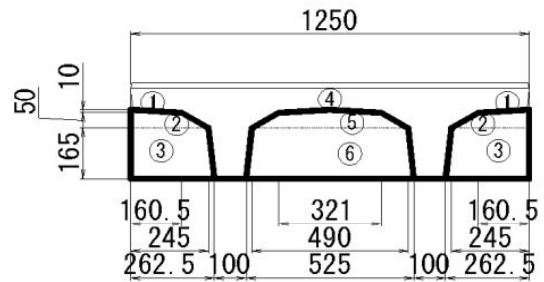
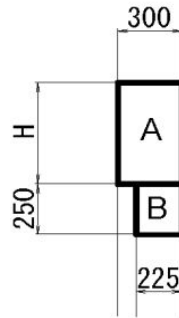


笠コンクリート工数量計算書

断面図、平面図

H= 607 mm
(0.607 m)

延長 21.116m



コンクリート体積

A部	0.607	×	0.300	×	21.116	=	3.85
B部	0.250	×	0.212	÷	1.250	×	21.116
						=	0.90
						計	4.75 m ³
B部平面積内訳							
①	0.1605	×	0.010	÷	2	×	2
						=	0.002
②	(0.1605 + 0.245)	×	0.050	÷	2	×	2
						=	0.020
③	(0.2450 + 0.2625)	×	0.165	÷	2	×	2
						=	0.084
④	0.321	×	0.010	÷	2		0.002
						=	0.002
⑤	(0.321 + 0.49)	×	0.050	÷	2		0.020
						=	0.020
⑥	(0.49 + 0.525)	×	0.165	÷	2		0.084
						=	0.084
						計	0.212 m ²

コンクリート型枠面積

前面	0.607	×	21.116	=	12.82
背面	0.857	×	21.116	=	18.10
妻型枠	(0.607 × 0.300 + 0.250 × 0.225)	×	2	=	0.48
				計	31.40 m ²

目地板

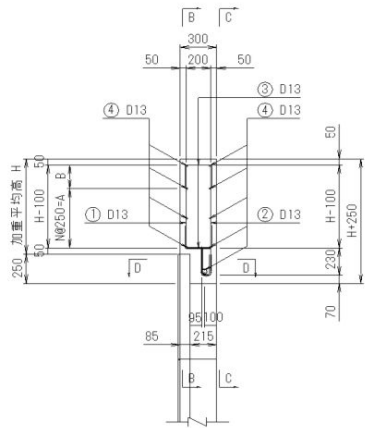
目地ヶ所数	5ヶ所	(図面より)			
	(0.607 × 0.300 + 0.250 × 0.225)	×	5	=	1.19 m ²

鉄筋重量計算書

配筋図

(延長5m当り)

断面図 (A-A)
S=1:25

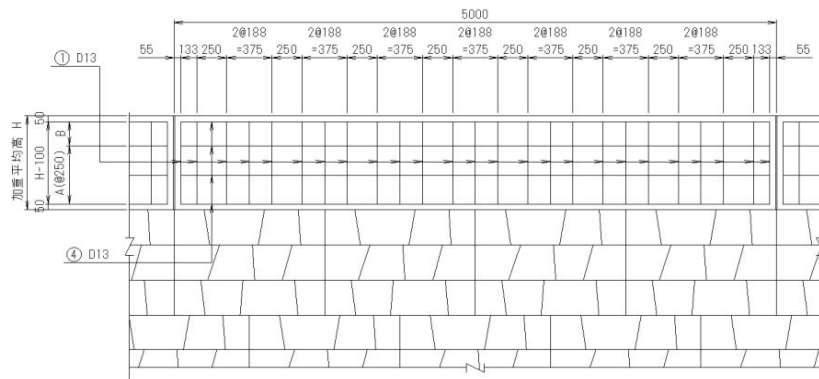


H= 607 mm

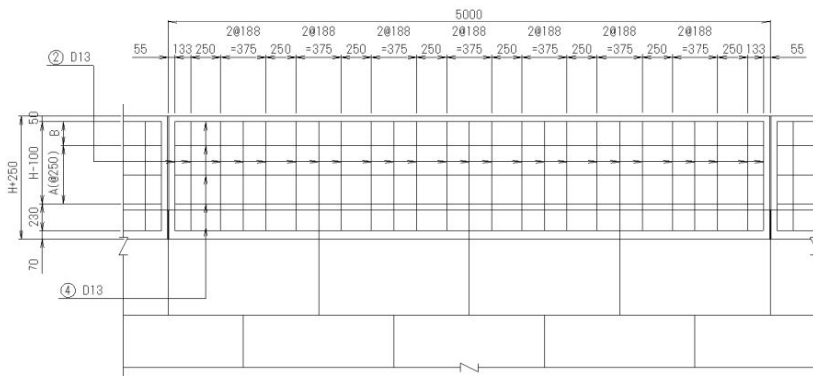
A= 2 @ 250 = 500

B= 1 @ 7 = 7

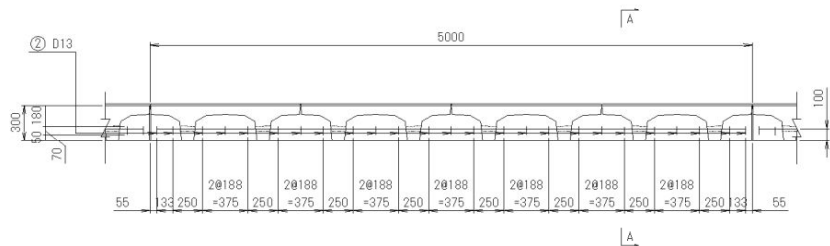
正面図 (B-B)
S=1:25



背面図 (C-C)
S=1:25



平面図 (D-D)
S=1:25

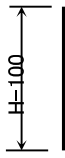


鉄筋加工図および鉄筋重量表

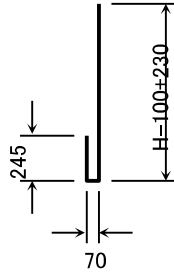
加工図

(延長5m当り)

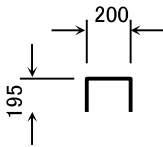
① 25 - D13 × 510



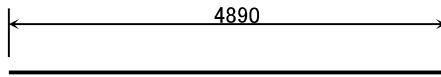
② 25 - D13 × 1060



③ 50 - D13 × 590



④ 9 - D13 × 4890



鉄筋重量表

鉄筋重量表

(延長5m当り)

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	重量	形状
①	D13	510	25	0.995	0.51	12.75	
②	D13	1060	25	0.995	1.05	26.25	↓
③	D13	590	50	0.995	0.59	29.50	┌┐
④	D13	4890	9	0.995	4.87	43.83	—
						D13 - 112.33	kg

鉄筋重量(参考重量)

$$21.116 \times 112.33 \div 5 = 474.39 \text{ kg}$$

$$= 0.47 \text{ t}$$

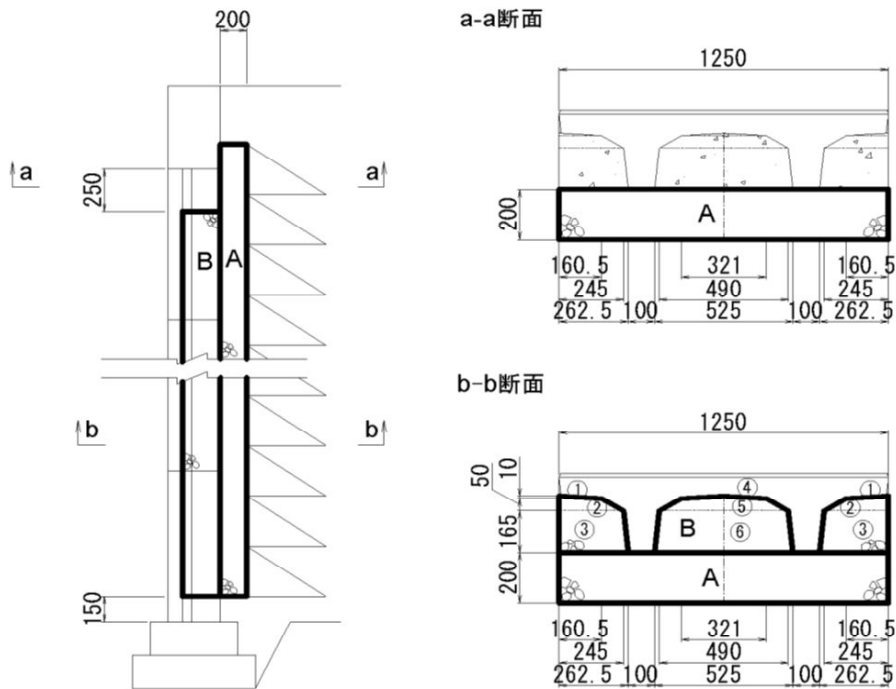
土工数量

数量集計表

種 別	規 格	単 位	数 量
敷き均し締固め工A		m ³	349.8
敷き均し締固め工B		m ³	188.1
碎石投入工	5号単粒度碎石	m ³	38.8
基盤排水工A	C-40	m ³	3.0
基盤排水工B	C-40	m ³	29.2
吸出し防止材設置		m ²	69.2
凍上抑制層碎石		m ³	0.0

砕石投入工数量計算書

断面図、平面図



単粒度砕石体積

A部	鋼製枠面積(通常部+開き部) (107.16 + 0.42)	砕石の厚み	× 0.20 = 21.52
B部	パネル面積 控除部:(笠コン被り高さ+基盤高さ)×延長	砕石量	
	{ 110.34 - (0.25 + 0.15) × 21.116 }	× 0.170	= 17.32
計			38.84 m ³

B部単粒度砕石平面積内訳

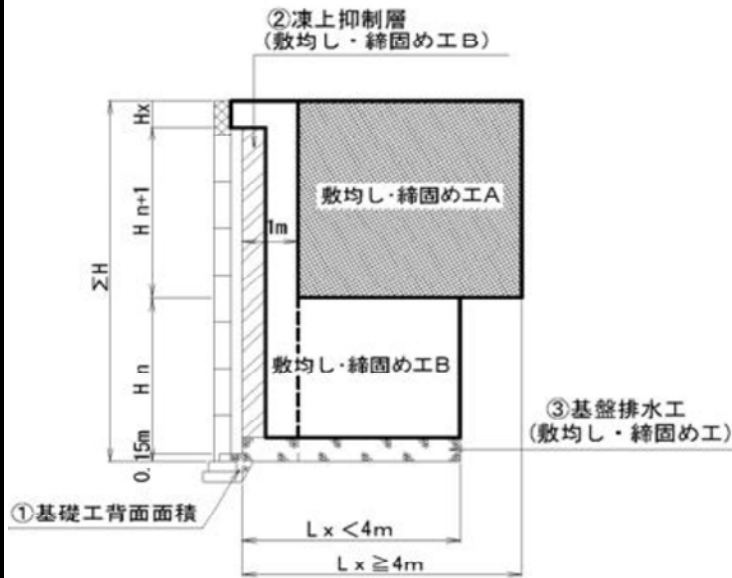
①	0.1605 × 0.01	÷ 2 × 2	= 0.002
②	(0.1605 + 0.2450) × 0.050	÷ 2 × 2	= 0.020
③	(0.2450 + 0.2625) × 0.165	÷ 2 × 2	= 0.084
④	0.321 × 0.01	÷ 2	= 0.002
⑤	(0.321 + 0.49) × 0.050	÷ 2	= 0.020
⑥	(0.49 + 0.525) × 0.165	÷ 2	= 0.084
平面積合計			0.212 m ²

パネル1m²当りの砕石量

$$0.212 \div 1.25 \times 1 = 0.170 \text{ m}^3$$

敷均し・締固め工A,B 断面図

断面図



- * 敷均し・締固め工の対象は、ジオテキスタイル敷設範囲とする。
- * L_x は鋼製枠前面からの距離とする。
- * 鋼製枠前面から1mの範囲は、敷均し・締固め工Bとする。
- * 敷設長 L_x が4m未満の場合は、敷均し・締固め工Bとする。
- * 敷設長 L_x が4m以上の場合、1m以遠は敷均し・締固め工Aとする。

※凍上抑制層、基盤排水工の敷均し・締固め工は別途計上

敷均し・締固め工A数量計算書

敷均し・締固め工A

測点	単距離	断面積	平均断面積	土量	摘要
起点 1ST.0.0		0.00			
1ST.4.2	5.00	21.10	10.55	52.75	
1ST.8.4	5.00	39.60	30.35	151.75	
1ST.12.1	4.58	12.00	25.80	118.16	
終点	4.53	0.00	6.00	27.18	

合計 349.84 m³

敷均し・締固め工B数量計算書

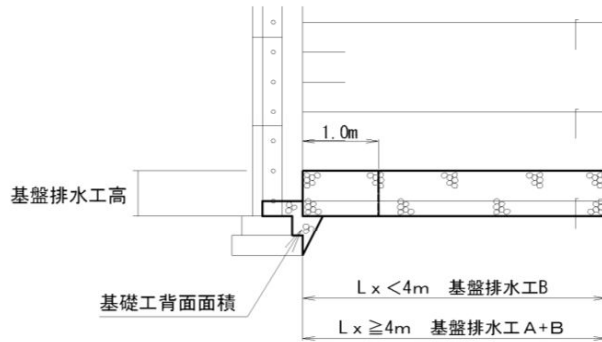
敷均し・締固め工B

測点	単距離	断面積	平均断面積	土量	摘要
起点 1ST.0.0		8.20			
1ST.4.2	5.00	11.90	10.05	50.25	
1ST.8.4	5.00	9.80	10.85	54.25	
1ST.12.1	4.58	9.90	9.85	45.11	
終点	4.53	7.10	8.50	38.51	

合計 188.12 m³

基盤排水工数量計算書(1)

断面図



- * 敷均し・締固め工の対象は、
ジオテキスタイル敷設範囲とする。
- * Lxは鋼製枠前面からの距離とする。
- * 鋼製枠前面から1mの範囲は、
基盤排水工Bとする。
- * 最下段敷設長Lxが4m未満の場合は、
基盤排水工Bとする。
- * 最下段敷設長Lxが4m以上の場合は、
1m以遠は基盤排水工Aとする。

砕石体積

No.	底盤長(m)	天端長(m)	高さ(m)	基礎工背面面積(m ²)	延長(m)	基盤排水工A(m ³)	基盤排水工B(m ³)		
1	{(3.10 + 3.37)	× 0.45	÷ 2 + 0.12	} × 1.875	=		2.95		
2	{(3.00 + 3.27)	× 0.45	÷ 2 + 0.12	} × 1.250	=		1.91		
3	{(3.80 + 4.07)	× 0.45	÷ 2 + 0.12	} × 1.250	=		2.36		
4	{(3.00 + 3.27)	× 0.45	÷ 2 + 0.12	} × 1.885	=		2.89		
5	{(4.00 + 4.27)	× 0.45	÷ 2 + 0.12	} × 1.250	=	1.76	+ 0.71		
6	{(3.70 + 3.97)	× 0.45	÷ 2 + 0.12	} × 3.740	=		6.90		
7	{(4.00 + 4.27)	× 0.45	÷ 2 + 0.12	} × 0.894	=	1.26	+ 0.51		
8	{(3.00 + 3.27)	× 0.45	÷ 2 + 0.12	} × 0.895	=		1.37		
9	{(3.30 + 3.57)	× 0.45	÷ 2 + 0.12	} × 0.895	=		1.49		
10	{(3.00 + 3.27)	× 0.45	÷ 2 + 0.12	} × 1.981	=		3.03		
11	{(3.30 + 3.57)	× 0.45	÷ 2 + 0.12	} × 0.625	=		1.04		
12	{(3.00 + 3.27)	× 0.45	÷ 2 + 0.12	} × 1.882	=		2.88		
13	{(3.10 + 3.37)	× 0.45	÷ 2 + 0.12	} × 0.750	=		1.18		
14	{(+)	×	÷ 2 +	} ×	=				
15	{(+)	×	÷ 2 +	} ×	=				
16	{(+)	×	÷ 2 +	} ×	=				
17	{(+)	×	÷ 2 +	} ×	=				
18	{(+)	×	÷ 2 +	} ×	=				
19	{(+)	×	÷ 2 +	} ×	=				
20	{(+)	×	÷ 2 +	} ×	=				
21	{(+)	×	÷ 2 +	} ×	=				
22	{(+)	×	÷ 2 +	} ×	=				
23	{(+)	×	÷ 2 +	} ×	=				
24	{(+)	×	÷ 2 +	} ×	=				
25	{(+)	×	÷ 2 +	} ×	=				
26	{(+)	×	÷ 2 +	} ×	=				
27	{(+)	×	÷ 2 +	} ×	=				
28	{(+)	×	÷ 2 +	} ×	=				
29	{(+)	×	÷ 2 +	} ×	=				
30	{(+)	×	÷ 2 +	} ×	=				
計						3.02	m ³	29.22	m ³

基盤排水工数量計算書(2)

吸出し防止材面積

	敷設長(m)		延長(m)		
1	3.37	×	1.875	=	6.32
2	3.27	×	1.250	=	4.09
3	4.07	×	1.250	=	5.09
4	3.27	×	1.885	=	6.16
5	4.27	×	1.250	=	5.34
6	3.97	×	3.740	=	14.85
7	4.27	×	0.894	=	3.82
8	3.27	×	0.895	=	2.93
9	3.57	×	0.895	=	3.20
10	3.27	×	1.981	=	6.48
11	3.57	×	0.625	=	2.23
12	3.27	×	1.882	=	6.15
13	3.37	×	0.750	=	2.53
14				=	
15				=	
16				=	
17				=	
18				=	
19				=	
20				=	
21				=	
22				=	
23				=	
24				=	
25				=	
26				=	
27				=	
28				=	
29				=	
30				=	
計					69.19 m ²

裏面排水材数量表

床掘り面 エンドレンマット EM-50*300C

	設置勾配	敷設高さ	SL長	水平部	設置長	設置本数	数量
(1)	1:0.6勾配	2.400	2.800	0.355	3.155	1.0	3.155
(2)	1:0.6勾配	5.840	6.820	0.355	7.175	1.0	7.175
(3)	1:0.6勾配	5.970	6.970	0.355	7.325	1.0	7.325
(4)	1:0.6勾配	3.720	4.340	0.355	4.695	1.0	4.695
(5)							
(6)							
(7)							
(8)							
(9)							
(10)							
(11)							
(12)							
(13)							
(14)							
(15)							
(16)							
(17)							
(18)							
(19)							
(20)							
(21)							
(22)							
(23)							
(24)							
(25)							
(26)							
(27)							
(28)							
(29)							
(30)							
合計数量							22.4
ロス率							5.0%
合計数量 (m)							23.4

※ロス率は下部の曲げ部、切断余長等

裏面排水材数量表

	地下排水工(縦断方向) 有孔管φ 150				フィルター材	
	水平延長	鉛直高さ		敷設延長	G-40	
		設置勾配	敷設高さ		単位数量	数 量
(1)	1.880			1.880		
(2)	0.110			0.110	0.201	0.023
(3)	0.620			0.620	0.201	0.125
(4)	0.310			0.310		
(5)	0.870			0.870		
(6)	0.110			0.110	0.201	0.023
(7)	1.570			1.570	0.201	0.316
(8)	0.310			0.310		
(9)	0.600			0.600		
(10)	0.110			0.110	0.201	0.023
(11)	1.570			1.570	0.201	0.316
(12)	0.310			0.310		
(13)	1.230			1.230		
(14)	0.110			0.110	0.201	0.023
(15)	0.700			0.700	0.201	0.141
(16)	5.140			5.140	0.201	1.034
(17)	0.700			0.700	0.201	0.141
(18)	0.110			0.110	0.201	0.023
(19)	0.510			0.510		
(20)	0.310			0.310		
(21)	0.630			0.630	0.201	0.127
(22)	0.110			0.110	0.201	0.023
(23)	0.510			0.510		
(24)	0.310			0.310		
(25)	0.630			0.630	0.201	0.127
(26)	0.110			0.110	0.201	0.023
(27)	1.600			1.600		
(28)	0.310			0.310		
(29)	0.630			0.630	0.201	0.127
(30)	0.110			0.110	0.201	0.023
(31)	0.190			0.190		
(32)	0.310			0.310		
(33)	0.630			0.630	0.201	0.127
(34)	0.110			0.110	0.201	0.023
(35)	1.500			1.500		
(36)	0.310			0.310		
(37)	0.630			0.630	0.201	0.127
(38)	0.110			0.110	0.201	0.023
(39)	0.250			0.250		
合計数量				26.170		2.938
ロス率				1.0%		
合計数量 (m) / (m3)				26.4		2.9

※ロス率は「治山林道必携 積算・施工編」
204ページに基づく。

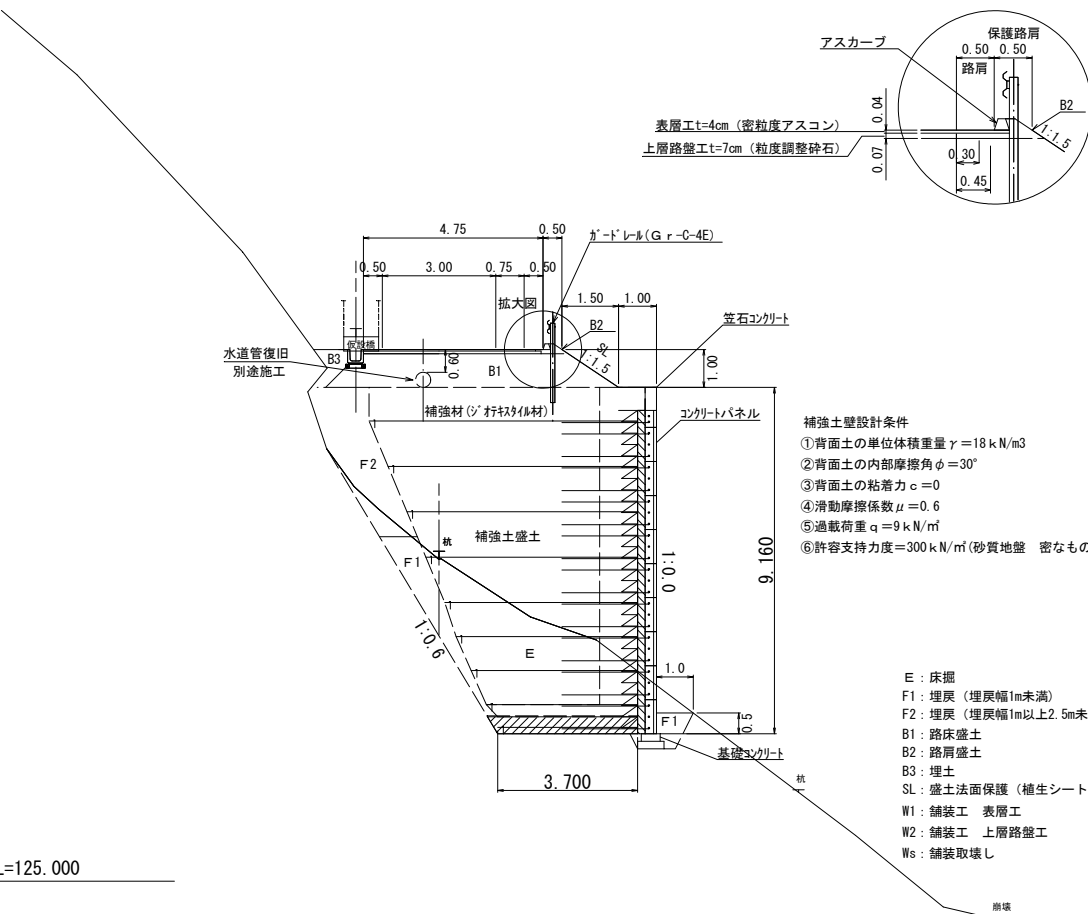
地下排水工(最深部) 無孔管φ 150			
	補強土擁壁横断部	前面処理	横断敷設長
(1)	4.700	0.500	5.200
(2)			
(3)			
(4)			
(5)			
小計数量			5.200
ロス率			1.0%
合計数量 (m) / (m3)			5.2

※ロス率は「治山林道必携 積算・施工編」
204ページに基づく。

標準断面図 S=1:100

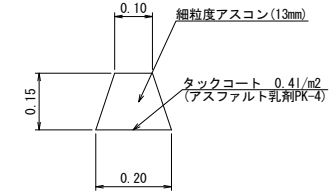
アスカープ構造図 S=1:10

道路側溝構造図 S=1:10



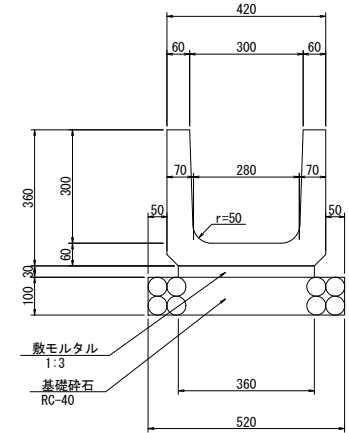
- 補強土壁設計条件
- ①背面土の単位体積重量 $\gamma = 18 \text{ kN/m}^3$
 - ②背面土の内部摩擦角 $\phi = 30^\circ$
 - ③背面土の粘着力 $c = 0$
 - ④滑動摩擦係数 $\mu = 0.6$
 - ⑤過載荷重 $q = 9 \text{ kN/m}^2$
 - ⑥許容支持力度 = 300 kN/m^2 (砂質地盤 密なもの)

- E : 床掘
- F1 : 埋戻 (埋戻幅1m未満)
- F2 : 埋戻 (埋戻幅1m以上2.5m未満)
- B1 : 路床盛土
- B2 : 路肩盛土
- B3 : 埋土
- SL : 盛土法面保護 (植生シート)
- W1 : 舗装工 表層工
- W2 : 舗装工 上層路盤工
- Ws : 舗装取壊し



(10m当たり)

材料	規格	単位	数量
細粒度アスコン	13mm	m ³	0.225
タックコート	PK-4 0.41/m ²	m ³	2.000



材料表

名称	規格	単位	数量	備考
道路側溝	B型300A	m	10.00	
基礎砕石	RC-40	m ²	5.200	t=100mm
敷モルタル	1:3	m ³	0.108	t=30mm

DL=125.000

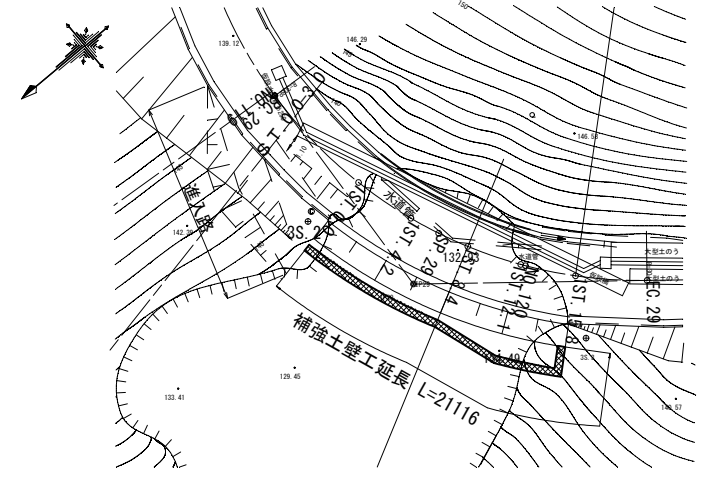
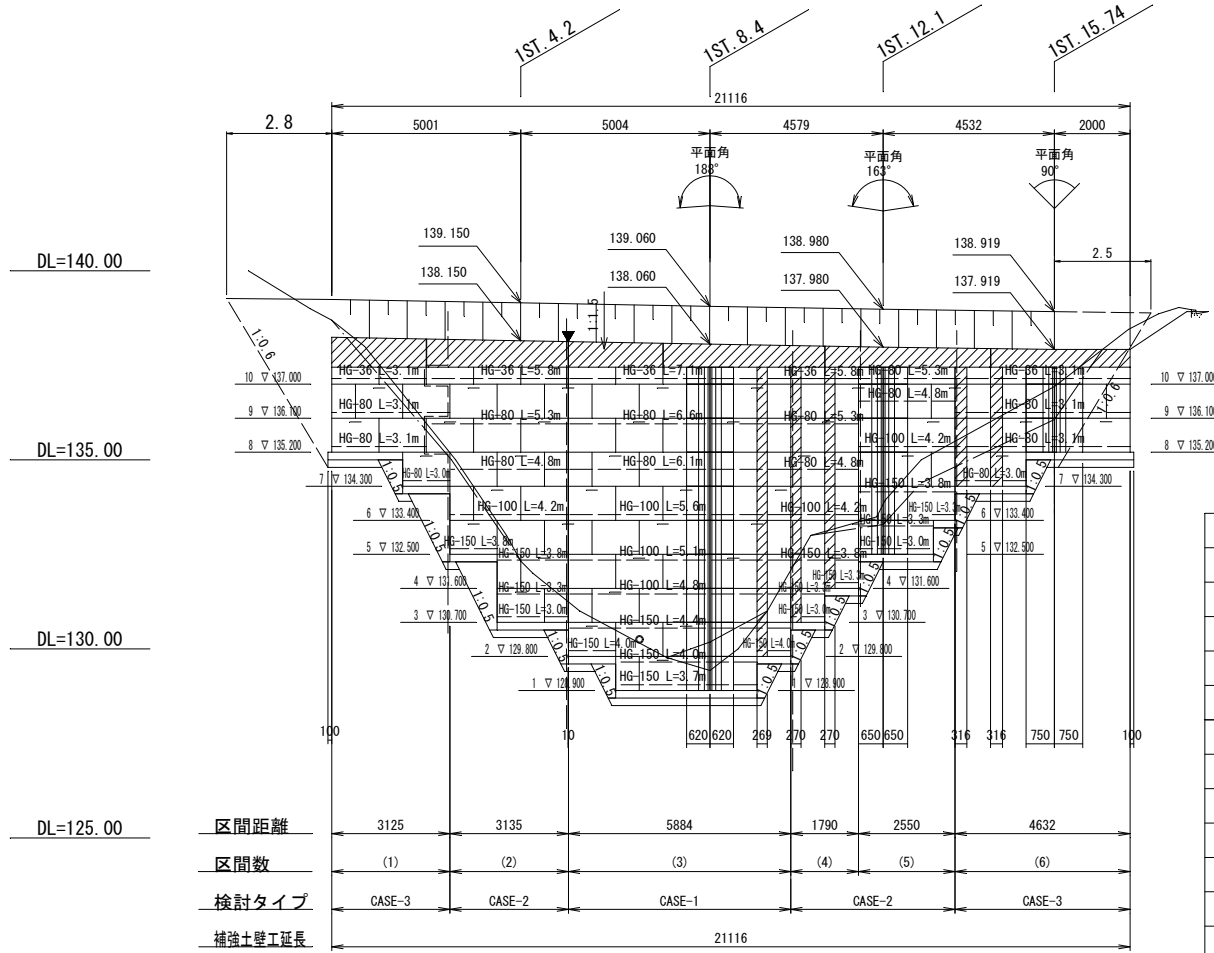
3号箇所 その1 全 25 葉中 3 番

路線名	野田線	年度	平成30年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2級	設計速度	20 km
名称	標準断面図	1 葉中	1 番
施行地	広島県 三原市 本郷村	大字	船木
縮尺	図示	審査者	設計者
受託会社			責任者

補強土擁壁(ジオテキスタイル)工法構造図

展開図 S=1:100

位置図 S=1:250



凡 例	名 称	規格寸法	単 位
[Symbol]	アダム (主補強材)	HG-36	m ²
[Symbol]		HG-80	m ²
[Symbol]		HG-100	m ²
[Symbol]		HG-150	m ²
[Symbol]	AWPパネル	AP-900AR	set
[Symbol]	AWPパネル	AP-900VH	set
[Symbol]	AWPパネル	AP-900WH	set
[Symbol]	AWPパネル	AP-900SQ	set
[Symbol]	AWPパネル	AP-900LR	set
[Symbol]	AWPパネル	AP-900LH	set
[Symbol]	AWPパネル	AP-900CR-L(R)	set
[Symbol]	AWPパネル	AP-900CH-L(R)	set
[Symbol]	水平排水材	EF-3	m
[Symbol]	笠コンクリート		m ²
[Symbol]	擁壁 縦目地		

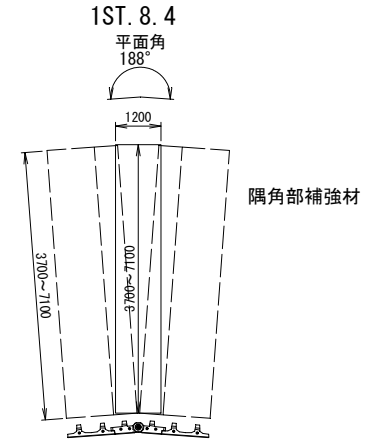
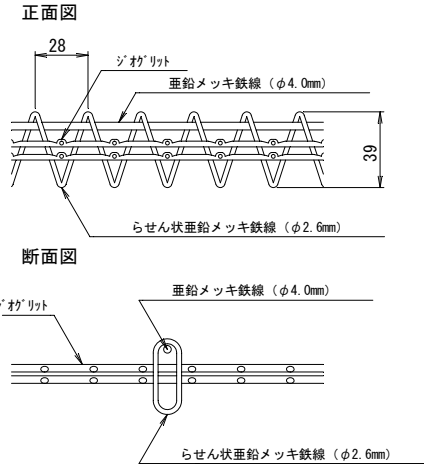
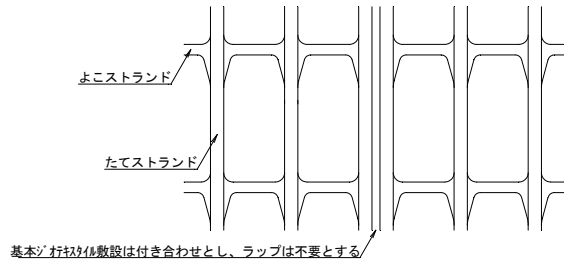
3号箇所 その1		全 25 葉中 9 番	
路線名	野田線	年度	平成 30 年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2 級	設計速度	20 km
名 称	補強土壁工 構造図1 展開図		10葉中 1番
施行地	広島県 三原 郡 本郷 村	大字	船木
縮 尺	図示	設計者	
受託会社		責任者	

補強土擁壁(ジオテキスタイル)工法構造図

接続部詳細図 (ジ オ ガ リ ッ ト + ジ オ ガ リ ッ ト) S=1:2

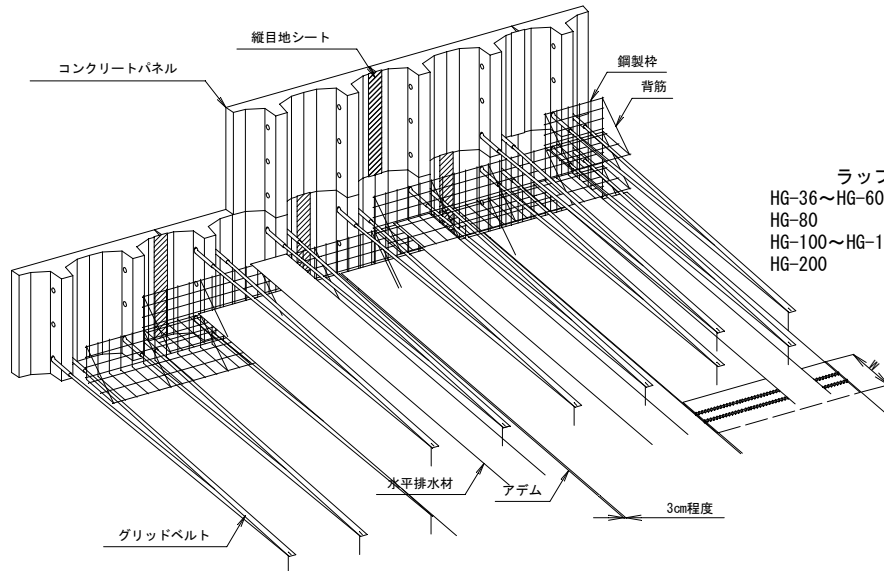
隅角部詳細図 S=1:100

ジオテキスタイル詳細図



- 敷設面積=7.1×1.2=8.52m²
- 敷設面積=6.6×1.2=7.92m²
- 敷設面積=6.1×1.2=7.32m²
- 敷設面積=5.6×1.2=6.72m²
- 敷設面積=5.1×1.2=6.12m²
- 敷設面積=4.8×1.2=5.76m²
- 敷設面積=4.4×1.2=5.28m²
- 敷設面積=4.0×1.2=4.80m²
- 敷設面積=3.7×1.2=4.44m²

アダムウォール背面形状図



- ラップ長 W
- HG-36~HG-60 : 60cm以上
 - HG-80 : 80cm以上
 - HG-100~HG-150 : 100cm以上
 - HG-200 : 120cm以上

- 連結数
- HG-36~HG-60 : 2列
 - HG-80 : 3列
 - HG-100~HG-150 : 4列
 - HG-200 : 5列

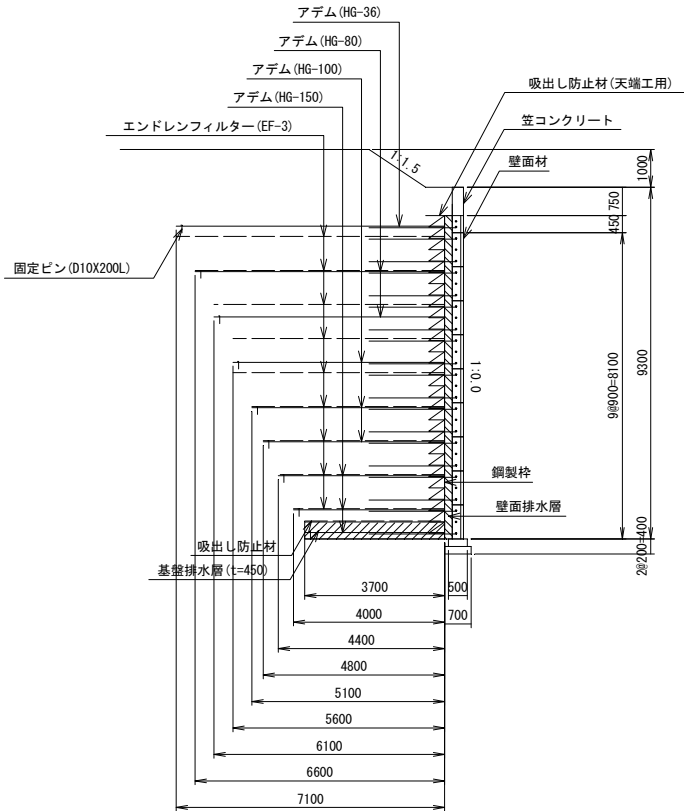
3号箇所 その1 全 25 葉中 10 番

路線名	野田線	年度	平成 30 年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2 級	設計速度	20 km
名称	補強土壁工 構造図2 構造図(詳細図)		10葉中 2番
施行地	広島県 三原 郡 本郷 村	◎ 大字 船木	
縮尺	図示	設計者	
受託会社		責任者	

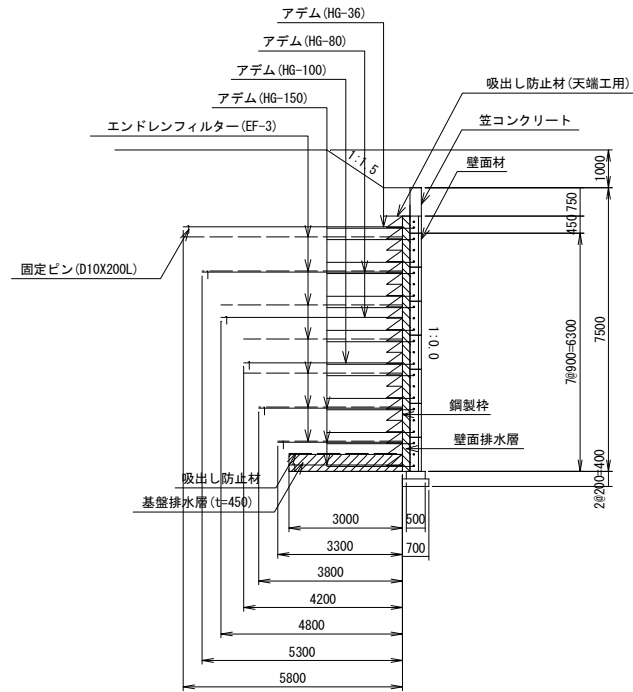
補強土擁壁(ジオテキスタイル)工法構造図

標準断面図 S=1:100

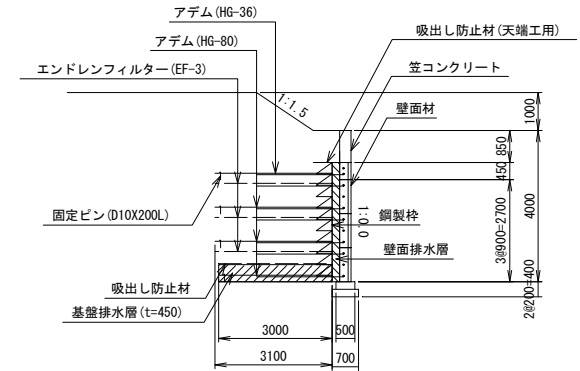
CASE-1 H=9.3m



CASE-2 H=7.5m



CASE-3 H=4.0m

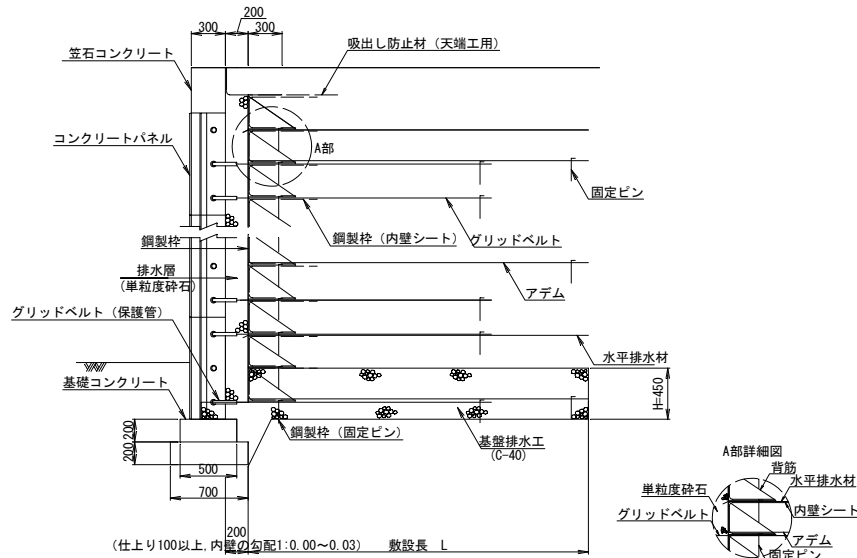


3号箇所 その1		全 25 葉中 11 番	
路線名	野田線	年度	平成 30 年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2 級	設計速度	20 km
名称	補強土壁工 構造図3 構造図(標準断面図)		
施行地	広島県 三原 郡 本郷 村	大字	船木
縮尺	S=1:100	設計者	
受託会社		責任者	

補強土擁壁(ジオテキスタイル)工法構造図

標準断面図 S=1:100

アダムウォール構造詳細図



補強土壁工(ジオテキスタイル工)安定条件

項目	安全率の種類	常時	地震時
内的安定	円弧すべりに対する安全率	$F_s \geq 1.20$	$F_s \geq 1.00$
	引抜きに対する安全率	$F_s \geq 2.00$	$F_s \geq 1.20$
外的安定	転倒(偏心距離)	$e \leq B/6$	$e \leq B/3$
	滑動に対する安全率	$F_s \geq 1.50$	$F_s \geq 1.20$
	支持力に対する安全率	$F_s \geq 3.00$	$F_s \geq 2.00$
全体安定	基礎地盤を含むすべりに対する安全率	$F_s \geq 1.20$	$F_s \geq 1.00$

補強土壁工(ジオテキスタイル工)特記事項

特記事項			
盛土材土質条件	単位体積重量	粘着力	せん断抵抗角
	$\gamma t = 18.0 \text{ kN/m}^3$	$c = 0.00 \text{ kN/m}^2$	$\phi = 30.0^\circ$
補強土壁工	ポリエチレンにアラムド繊維を挿入した補強材(ジオテキスタイル)を面状補強材として層状に敷設し、補強材の引張力と摩擦抵抗により盛土構造体のせん断強さを補強し、安定した二重壁構造を有する盛土構造物を構築すること。		
盛土材条件	施工前に盛土材の土質試験を実施し設計定数の確認を行うこと。 盛土材は適切な含水比で施工されること。 壁面近傍(背面)は、所定の締固め度が得られる構造または対策を施すこと。 盛土材の締固め管理は、発注機関が定める基準値を満足すること。		
地盤条件	良好な地盤、又は適切な処置が施された地盤とすること。 床掘り完了後、所定の支持力を満足するか確認すること。		
排水条件	適切な排水処理を施すこと。 施工時に予期せぬ湧水が確認された場合は、速やかに排水対策を行うこと。 施工中は、仮排水工を設けるなど盛土本体かつ壁面部へ水を導かないよう排水処理を行うこと。 補強土壁の底盤には、排水マット等で排水対策を施すこと。		
壁面材	壁面材は、補強盛土体を長期的に保護できるコンクリート製品を用いること。 壁面材は、設計基準強度 30N/mm ² 以上確保された材料とすること。		
補強材	主補強材は(財)土木研究センターの技術審査証明制度の認定品とする。 主補強材は4.5%程度の伸度で所定の引張強さが発現される材料とすること。 覆材等による補強材の前後変位は、90%以上の強度保持率を有すること。 主補強材の目合いは、摩擦抵抗に影響することから所定の目合いを有すること。		
安全管理	安全管理は、労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに遵守すること。		

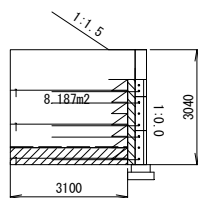
3号箇所 その1		全25葉中 12番	
路線名	野田線	年度	平成30年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2級	設計速度	20km
名称	補強土壁工 構造図4 構造図(標準断面図) 10葉中 4番		
施行地	広島県 三原市 本郷 大字 船木		
縮尺	S=1:100	設計者	
受託会社		責任者	

補強土擁壁(ジオテキスタイル)工法構造図

数量根拠図 S=1:100

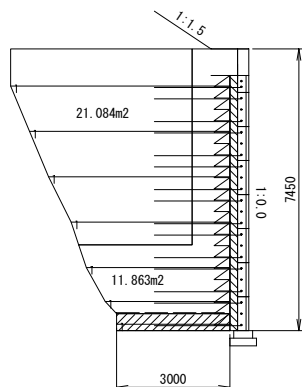
土工図 S=1:100

起点 1ST. 0.0



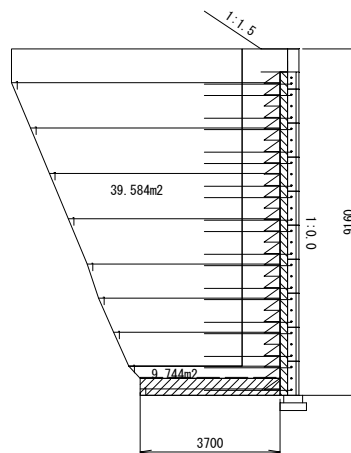
締め固め A 0.0
締め固め B 8.2

1ST. 4.2



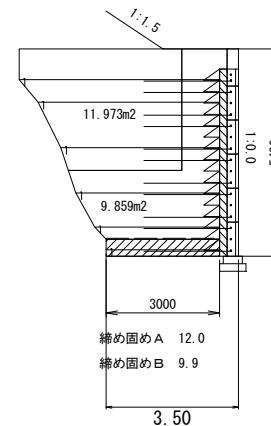
締め固め A 21.1
締め固め B 11.9

1ST. 8.4



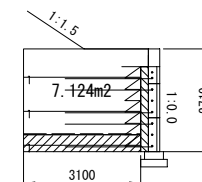
締め固め A 39.6
締め固め B 9.8

1ST. 12.1



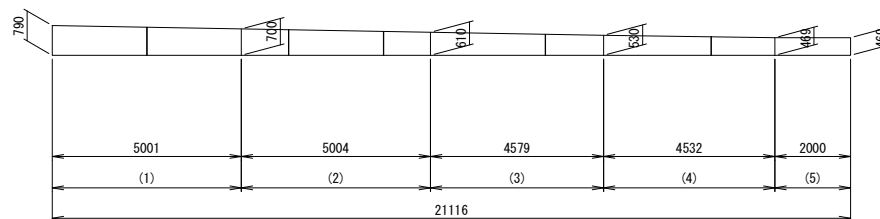
締め固め A 12.0
締め固め B 9.9

終点



締め固め A 0.0
締め固め B 7.1

笠石コンクリート図 S=1:100



3号箇所 その1		全 25 葉中 13 番	
路線名	野田線	年度	平成 30 年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2 級	設計速度	20 km
名称	補強土壁工 構造図5 構造図(数量根拠図)		10葉中 5番
施行地	広島県 三原 郡 本郷 村 大字 船木		
縮尺	S=1:100	設計者	
受託会社		責任者	

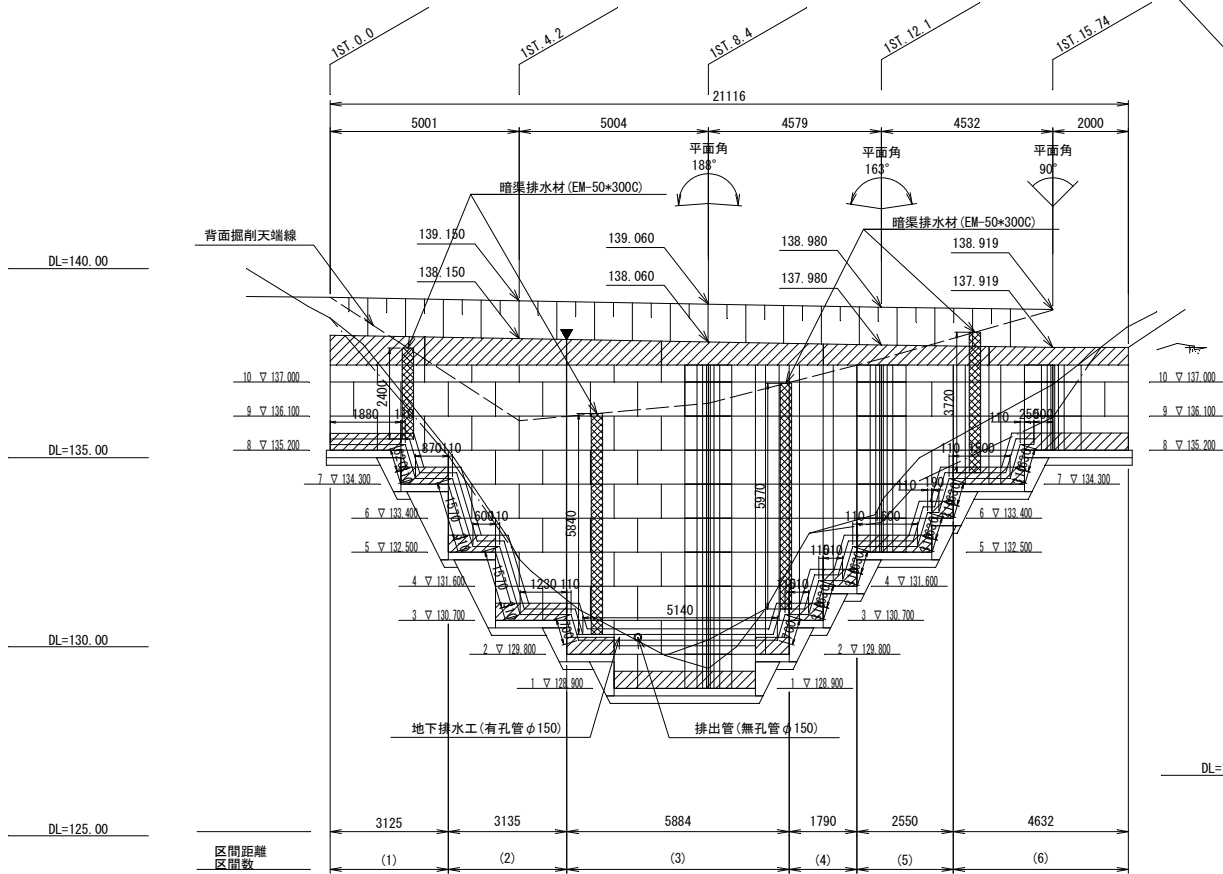
補強土擁壁(ジオテキスタイル)工法構造図

地下排水工図

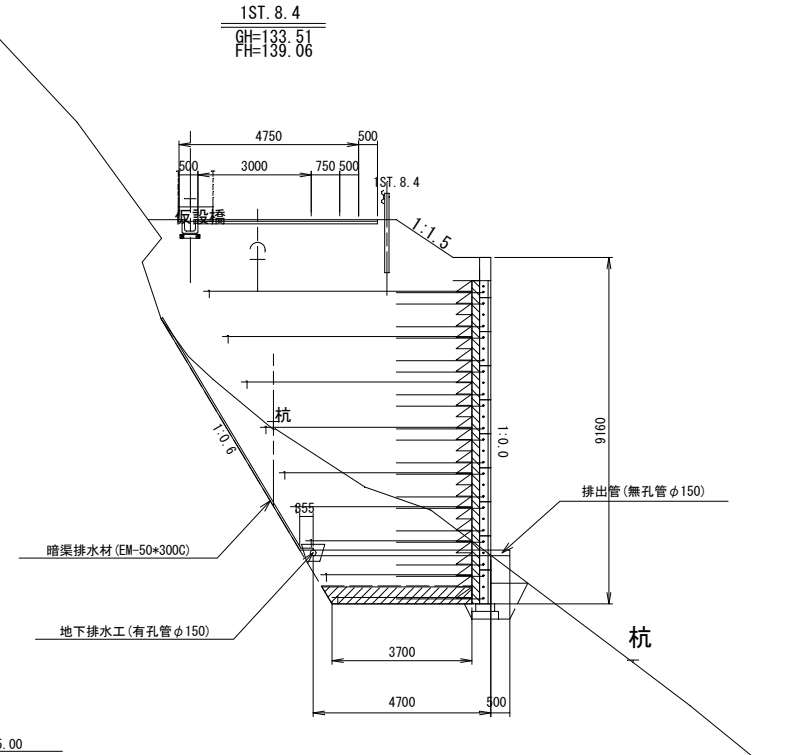
展開図 S=1:100

暗渠排水材標準断面図 S=1:100

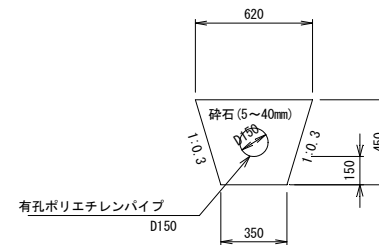
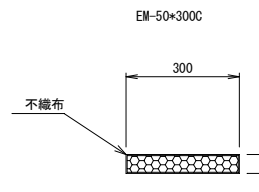
S=1:100



暗渠排水材詳細図 S=1:10



地下排水工詳細図 S=1:20

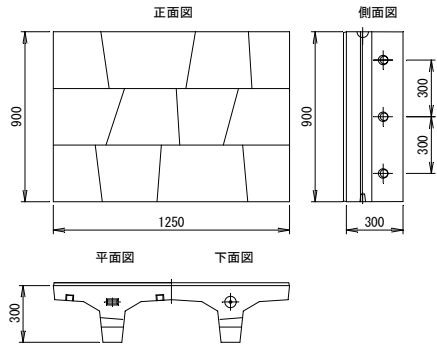


3号箇所 その1		全 25 葉中 14 番	
路線名	野田線	年度	平成 30 年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2 級	設計速度	20 km
名称	補強土壁工 構造図6		10葉中 6番
施行地	広島県 三原 郡 本郷 村	大字	船木
縮尺	図示	設計者	
受託会社		責任者	

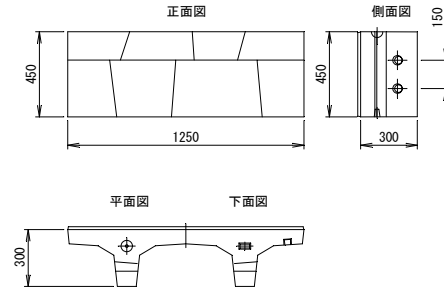
壁面材詳細図

S=1:20

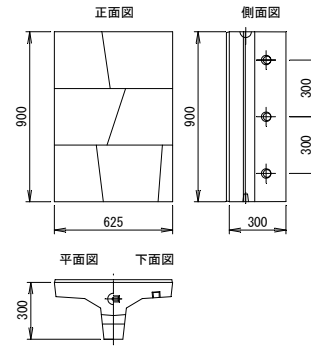
AP-900AR



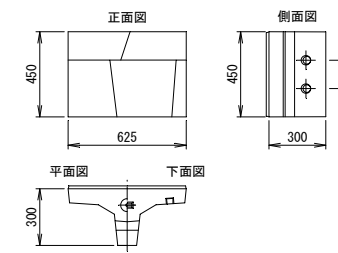
AP-900VH



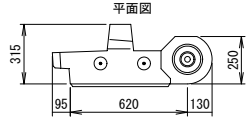
AP-900WH



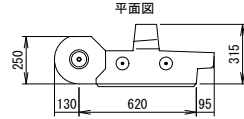
AP-900SQ



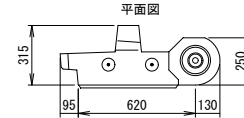
AP-900CR-L



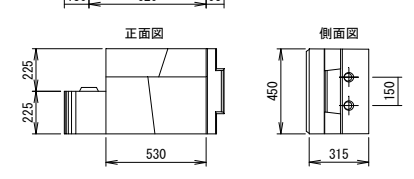
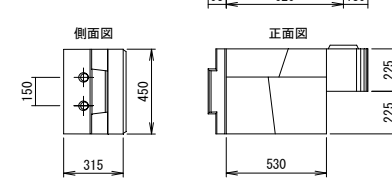
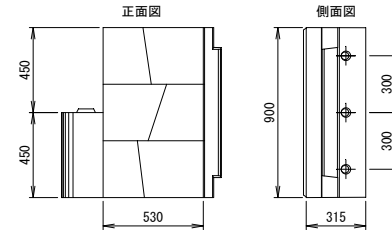
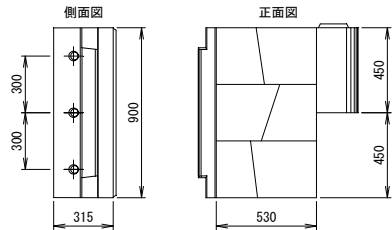
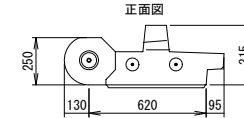
AP-900CR-R



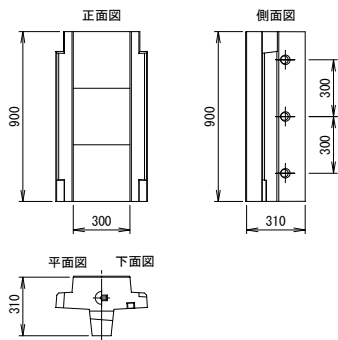
AP-900CH-L



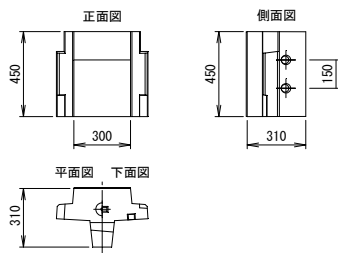
AP-900CH-R



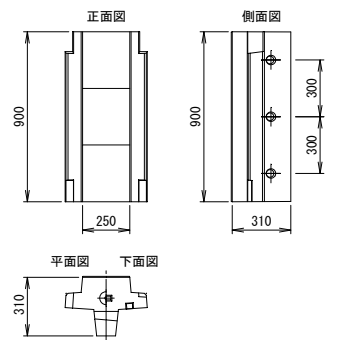
AP-900LR-300



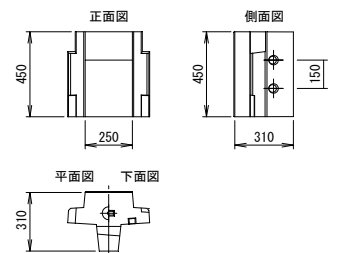
AP-900LH-300



AP-900LR-250



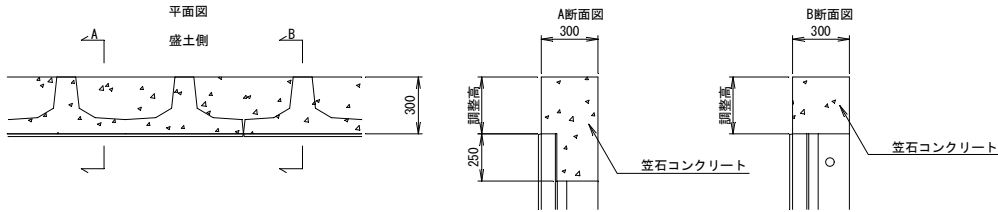
AP-900LH-250



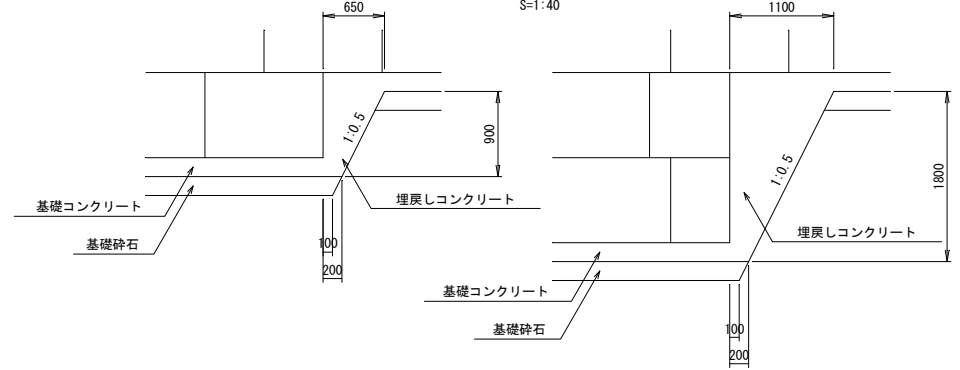
3号箇所 その1		全 25 葉中 15 番	
路線名	野田線	年度	平成 30 年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2 級	設計速度	20 km
名称	補強土壁工 構造図7 壁面材詳細図		10葉中 7番
施行地	広島県 三原 郡 本郷 村	大字 船木	
縮尺	S=1:20	設計者	
受託会社		責任者	

壁面材詳細図

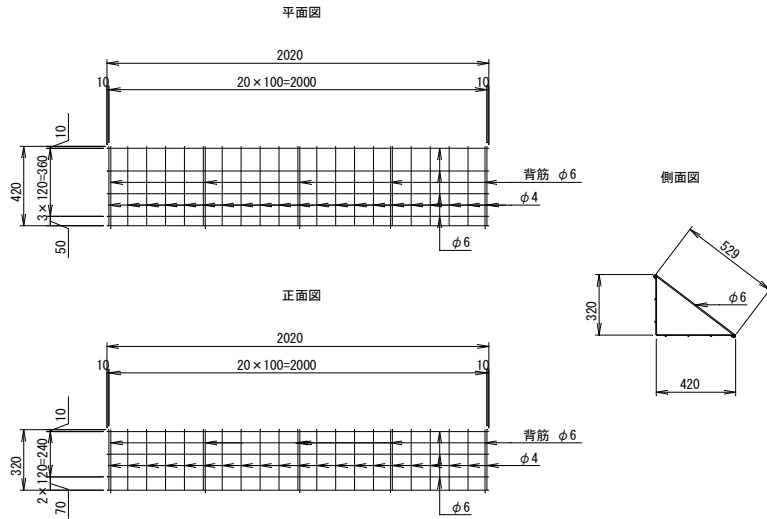
笠石コンクリート(有筋)
S=1:20



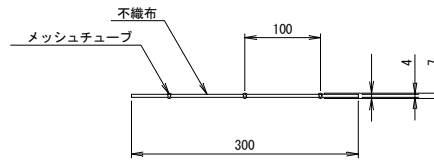
基礎工(段上り部)詳細図
S=1:40



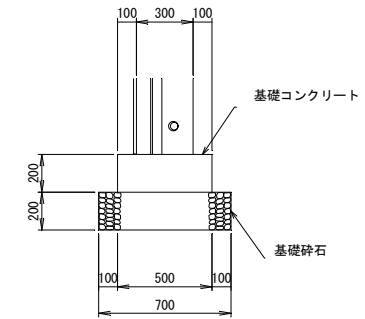
砕石型枠
S=1:20



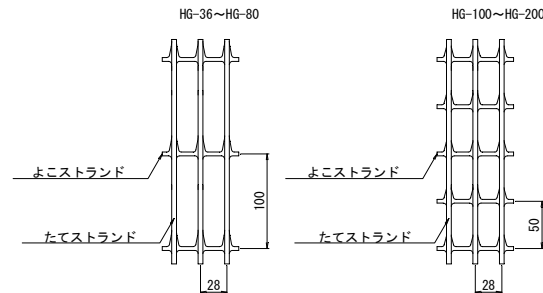
水平排水材 EF-3
S=1:5



基礎工
S=1:20



アダム詳細図 S=1:2



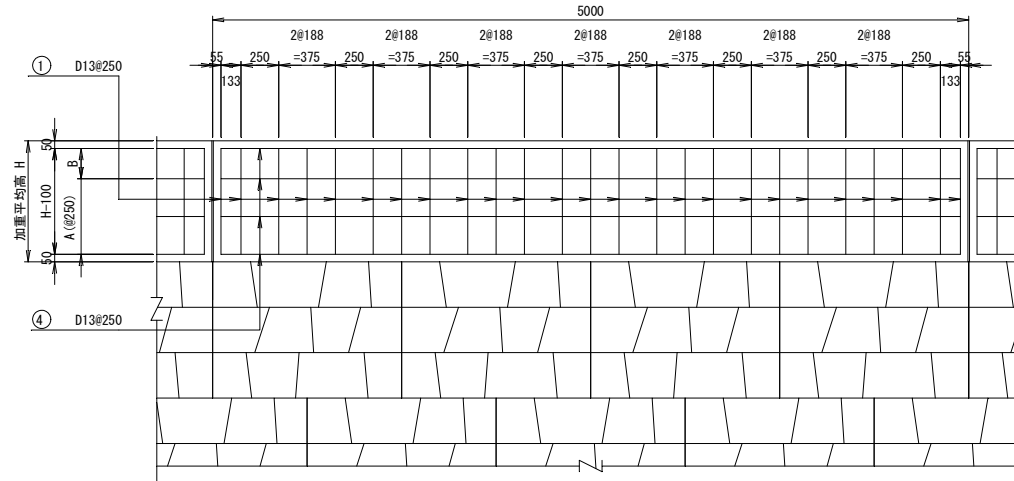
3号箇所 その1 全 25 葉中 16 番

路線名	野田線	年度	平成 30 年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2 級	設計速度	20 km
名称	補強土壁工 構造図8 壁面材詳細図 10葉中 8番		
施行地	広島県 三原 郡 本郷 村 大字 船木		
縮尺	図示	設計者	
受託会社		責任者	

笠石コンクリート工配筋一般図

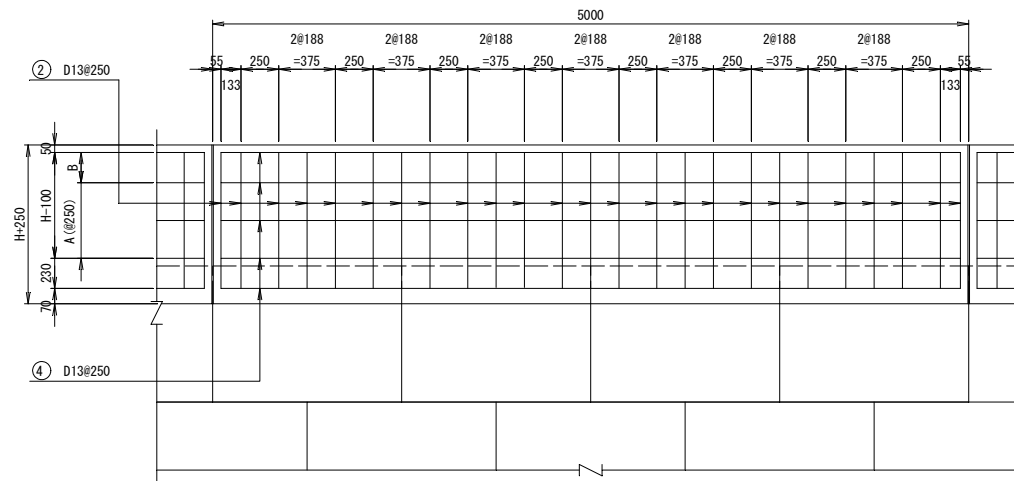
正面図 (B-B)

S=1:25



背面図 (C-C)

S=1:25

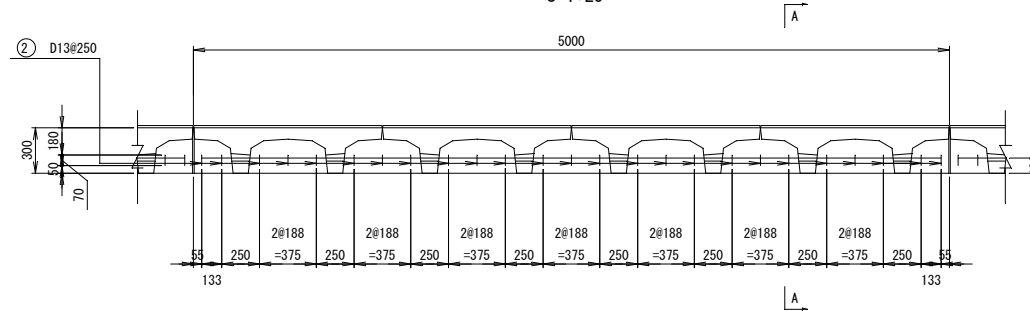


3号箇所 その1		全 25 葉中 17 番	
路線名	野田線	年度	平成 30 年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2 級	設計速度	20 km
名称	補強土壁工 構造図9 笠石コンクリート工配筋一般図		10葉中 9番
施行地	広島県 三原 郡 本郷 村 大字 船木		
縮尺	S=1:25	設計者	
受託会社		責任者	

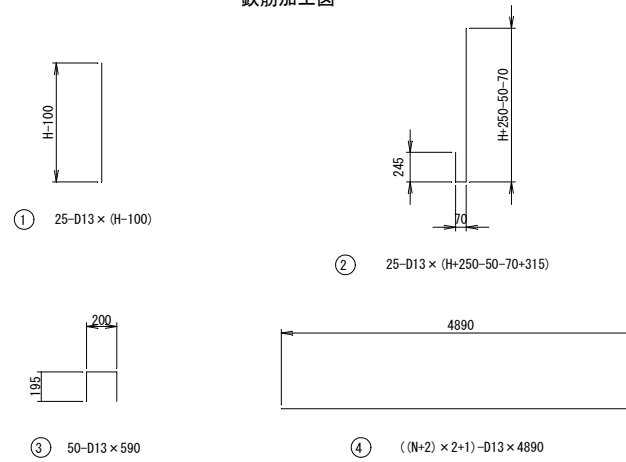
笠石コンクリート工配筋一般図

平面図 (D-D)

S=1:25

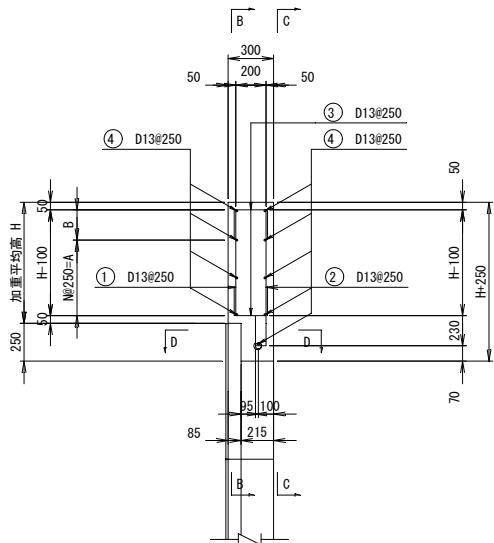


鉄筋加工図



断面図 (A-A)

S=1:25



鉄筋重量表

(延長5m 当り)

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	重量	形状
①	D13	520	25	0.995	0.52	12.75	┆
②	D13	1060	25	0.995	1.05	26.25	┆
③	D13	590	50	0.995	0.59	29.50	┆
④	D13	4890	9	0.995	4.87	43.83	┆
						D13	— 112.33 kg

3号箇所 その1

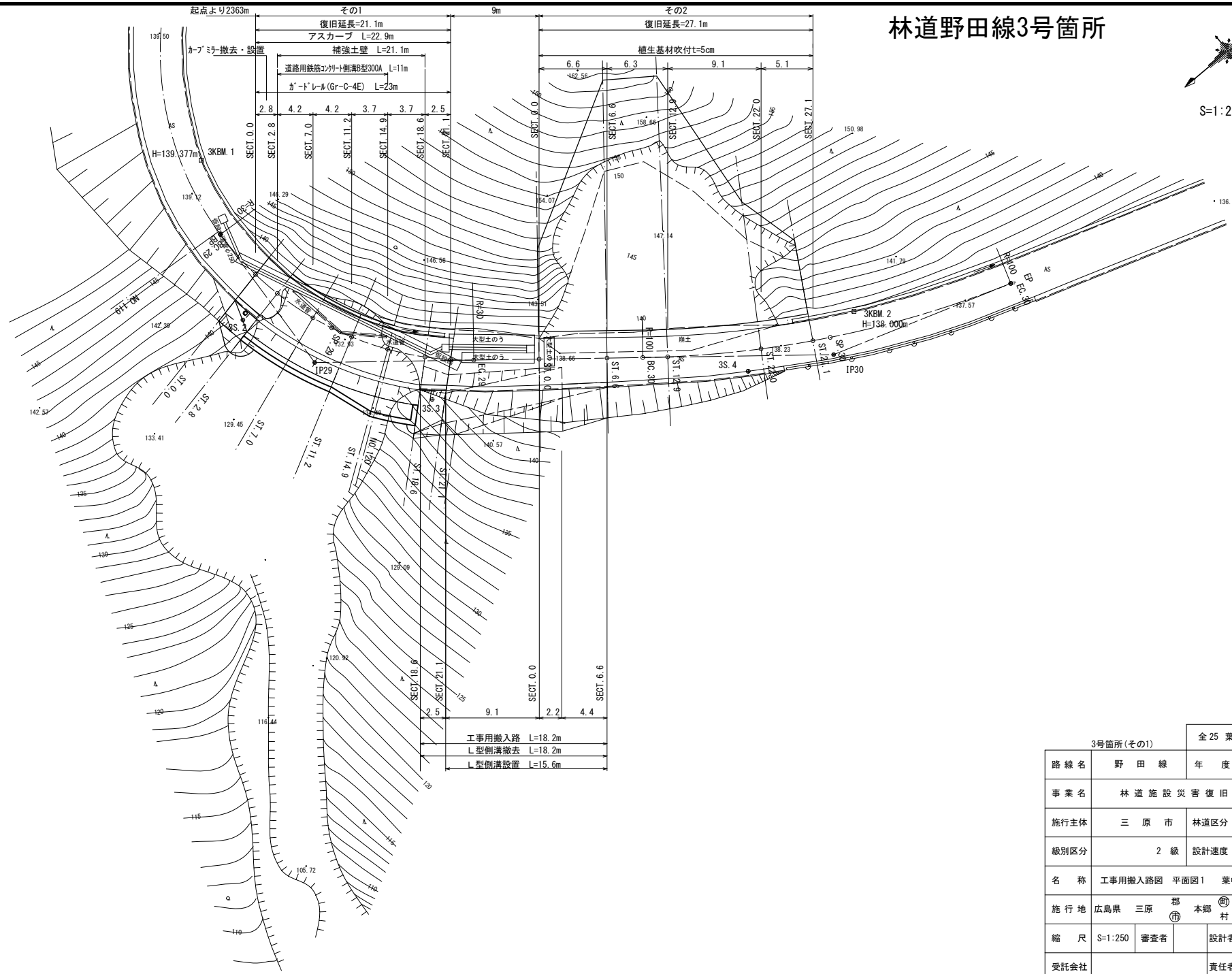
全 25 葉中 18 番

路線名	野田線	年度	平成 30 年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2 級	設計速度	20 km
名称	補強土壁工 構造図10 笠石コンクリート工配筋一般図 10葉中 10番		
施行地	広島県 三原 郡 本郷 村	大字	船木
縮尺	S=1:25	設計者	
受託会社		責任者	

林道野田線3号箇所

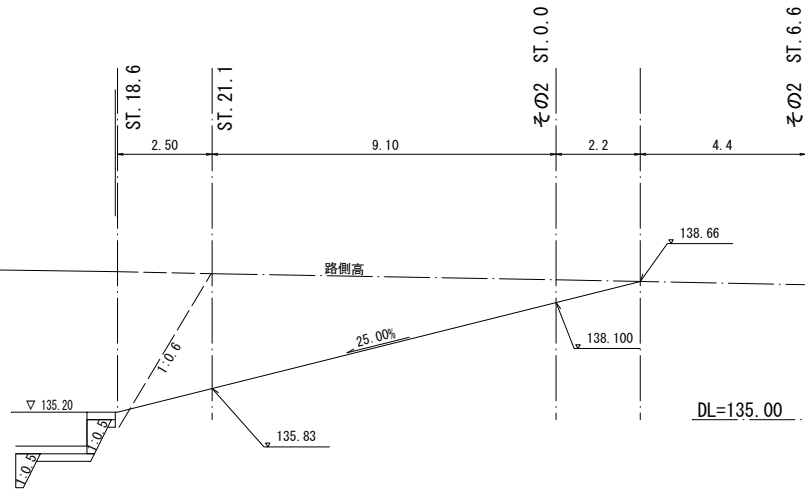


S=1:250

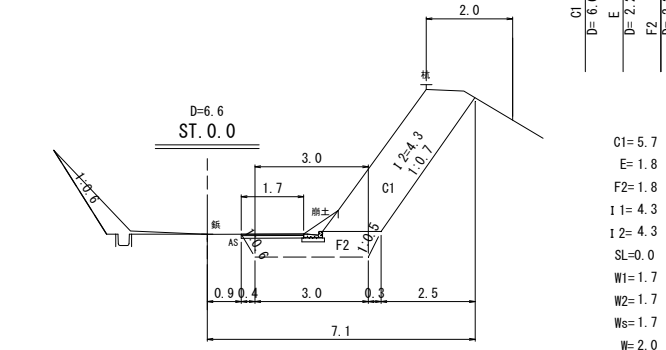
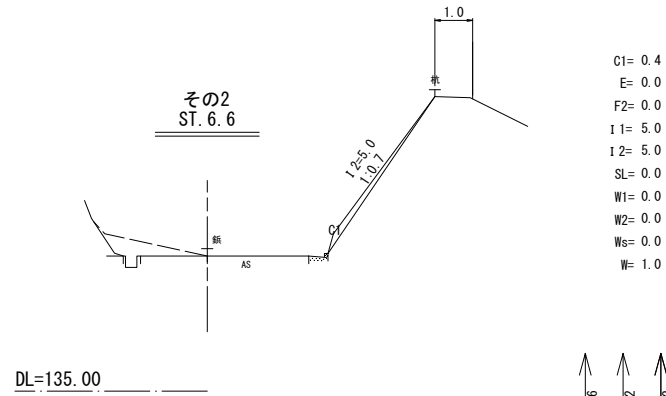


3号箇所(その1)		全 25 葉中 19 番	
路線名	野田線	年度	平成30年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2級	設計速度	20 km
名称	工事用搬入路図 平面図1 葉中 1 番		
施行地	広島県 三原 郡 本郷 村 大字 船木		
縮尺	S=1:250	審査者	設計者
受託会社			責任者

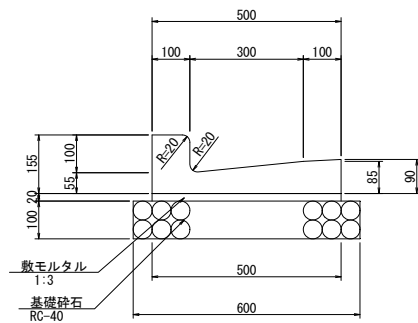
工事用搬入路縦断面図 S=1:100



工事用搬入路横断面図 S=1:100



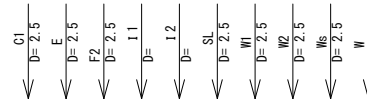
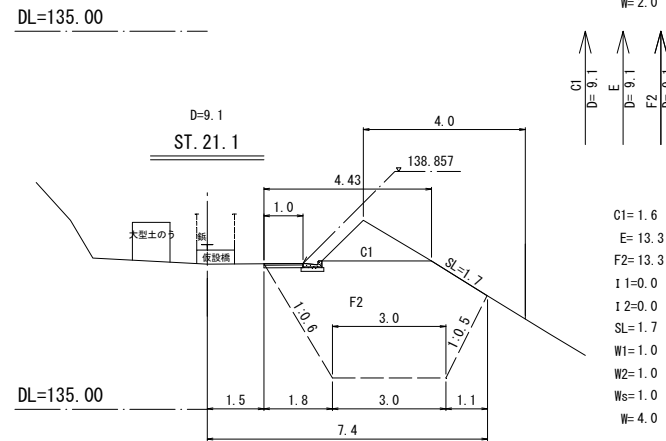
L型側溝断面図 S=1:10



材料表

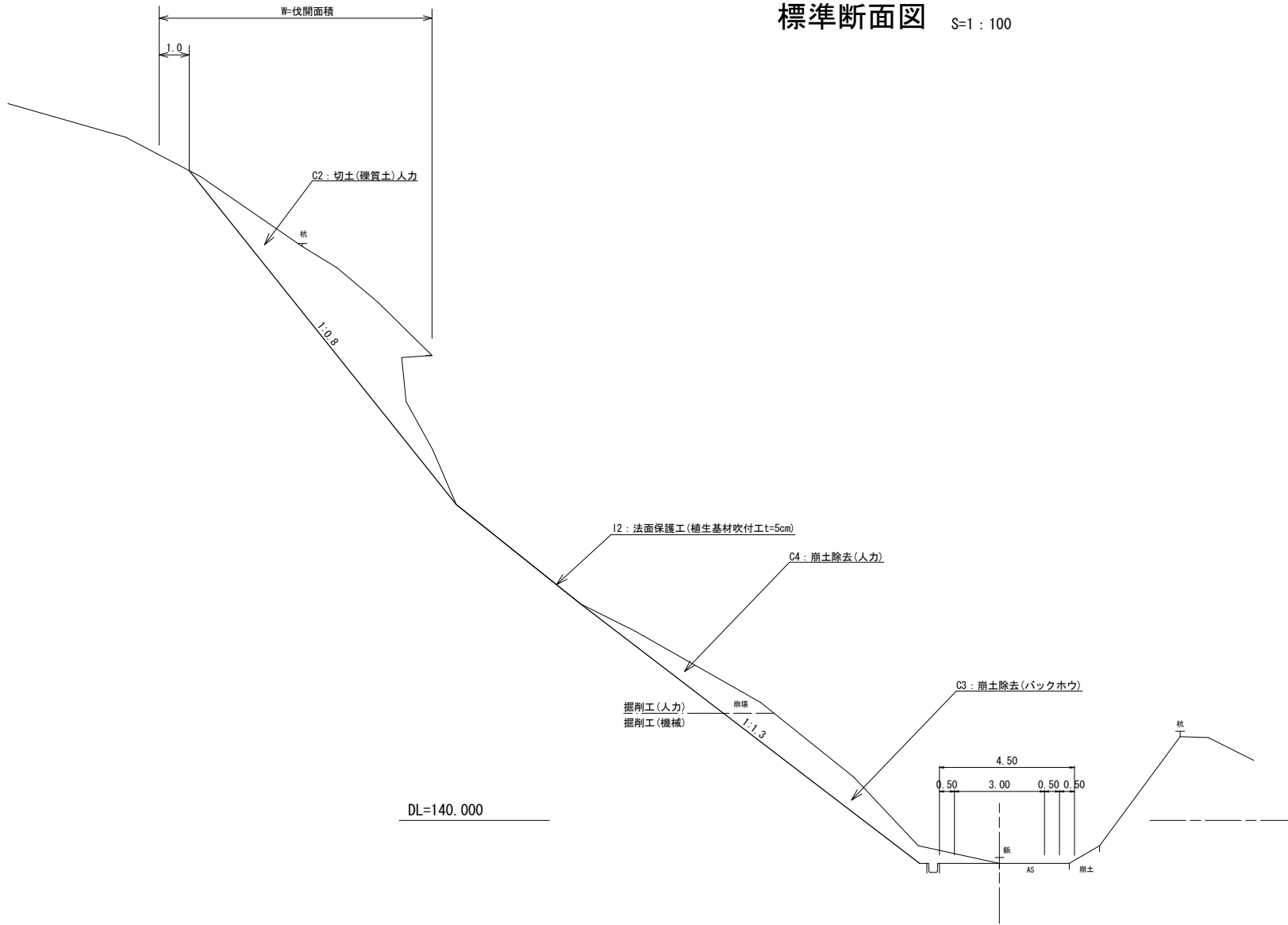
名称	規格	単位	数量	備考
基礎砕石	RC-40	m ²	6.000	t=100mm
敷モルタル	1:3	m ³	0.100	t=20mm

10m当り



3号箇所(その1)		全 25 葉中 20 番	
路線名	野田線	年度	平成30年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2級	設計速度	20 km
名称	工事用搬入路図 1 葉中 1 番 縦断面図 横断面図		
施行地	広島県 三原市 本郷村	大字	船木
縮尺	図示	審査者	設計者
受託会社			責任者

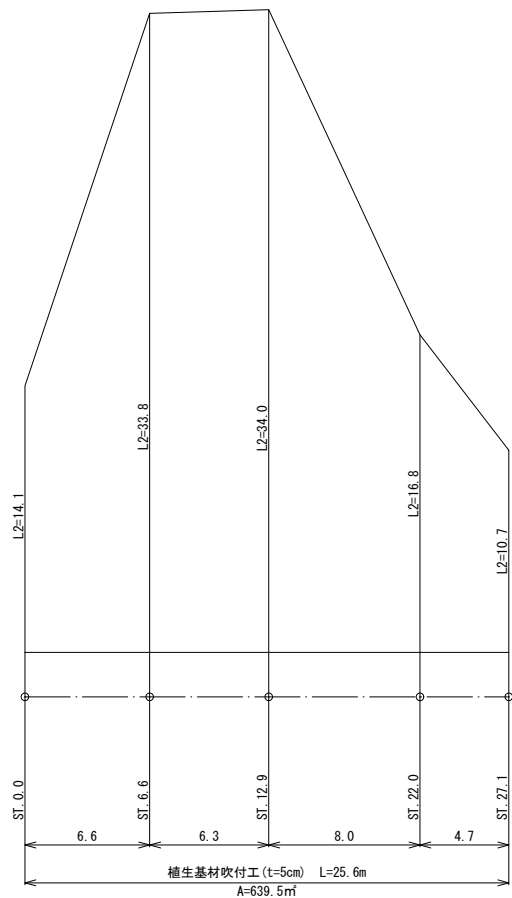
標準断面図 S=1:100



- C1: 切土(礫質土)バックホウ
- C2: 切土(礫質土)人力
- C3: 崩土除去(バックホウ)
- C4: 崩土除去(人力)
- I1: 法面整形
- I2: 法面保護工(植生基材吹付工)
- W: 伐開

3号箇所 その2		全 25 葉中 21 番	
路線名	野田線	年度	平成30年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2級	設計速度	20 km
名称	標準断面図	1 葉中	1 番
施行地	広島県 三原 郡 本郷 村 大字 船木		
縮尺	S=1:100	審査者	設計者
受託会社			責任者

展開図 S=1:200



3号箇所(その2) 全 25 葉中 25 番

路線名	野田線	年度	平成30年度
事業名	林道施設災害復旧事業		
施行主体	三原市	林道区分	
級別区分	2級	設計速度	20 km
名称	展開図・構造図 1 葉中 1 番		
施行地	広島県 三原 郡 本郷 村 大字 船木		
縮尺	S=1:200	審査者	設計者
受託会社			責任者

林道野田線

S=1:50,000

